Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

デジタルディスクレコーダー

品番 WJ-HD150 シリーズ

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-HD150/1、WJ-HD150/2の取扱説明書です。

保証書別添付

このたびは、デジタルディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（13～15ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機はカメラで監視している画像を録画・再生できるデジタルディスクレコーダーです。

デジタルディスクレコーダーは、ビデオテープの代わりにパソコンなどに使用されている記録装置であるハードディスクを内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がなく、上書きモードを使用すると、エンドレスで録画し続けることができます。

本機は4台までのカメラを直接接続し、録画することができます。複数のカメラの画像をモニターに表示したり、同時に録画、再生したりできます。

本機（WJ-HD150シリーズ）とは以下の機種の総称です。

- WJ-HD150/2　　：ハードディスク2台搭載
- WJ-HD150/1　　：ハードディスク1台搭載

JPEG圧縮による高画質録画

録画した画像はJPEG形式で保存されます。最大30 IPS（1秒あたりの録画枚数）の静止画に分けて録画できます。画質や1秒当たりの枚数は利用状況に応じてお客様がカスタマイズできます。

注　録画と再生を同時に行う（同時録画再生）と、最大録画レートは15 IPSになります。また、複数の機能を同時に使用すると、最大録画レートは7.5 IPSになることがあります。

長時間録画・信頼性の向上

WJ-HD150/2にはハードディスクが2台内蔵されています。通常、ハードディスクの台数を意識することなくご使用いただけます（あたかも1本のVTRを操作しているかのようにご使用いただけます）。

ハードディスクを2台内蔵することによって、従来のデジタルディスクレコーダー（WJ-HD100シリーズ）よりも長時間録画することができます。また、万が一、1台のハードディスクが故障しても、残りの1台で運用を継続できるように設計されています（ただし、故障の状況によっては1台の故障でも運用が完全に停止することがあります）。

負荷に応じて録画レートを自動調節する録画レート変動機能

複数の機能（多画面表示、録画・再生・リモート操作・アラーム機能・FTP定期送信機能）を同時に使用しても画像を再生できるように、自動的に録画レートを調節する録画レート変動機能を内蔵しています。

設定時、最大録画レートを設定しておくだけで、本機は動作状況に応じて自動的に録画レートを変更して録画します。本機は、録画するカメラの台数が多いほど、効率よく録画できるよう設計されています。

注　録画と再生を同時に行う（同時録画再生）と、最大録画レートは15 IPSになります。また、複数の機能を同時に使用すると、最大録画レートは7.5 IPSになることがあります。

アラームに対応した動作を設定できる（アラーム機能）

アラーム機能は本機に入力されたアラーム信号に連動して、以下の動作を行う機能です。

・アラームが入力されると、録画時のモード（画質、録画レート）を高画質に切り換えて録画したり（アラーム録画）、ブザーを鳴らしてお知らせすることができます。

本機は以下の2種類のアラームを入力できます。

・センサーなどの外部機器から送られてくるアラーム信号
・動き自動検出機能（VMD）によって生成されたアラーム信号

画像再生時の検索機能

録画した画像を再生するときに、見たい画像を検索して再生することができます。検索条件として以下の2つがあります。

・アラーム録画を検索して再生する
・指定した時刻の画像を検索して再生する

必要な画像を外部メディアにコピーする機能

本体内蔵カードスロットに挿入した外部メディアへ録画画像をコピーすることができます。コピーは録画画像の時間範囲を指定したり、画像の枚数を指定して行えます。

注　コピーと再生を同時に行うことはできません。また、録画レートによってコピーの速度は変動します。

ネットワークからのリモート操作

ネットワーク機能を内蔵しており、LAN（Local Area Network）やインターネットに接続されたパーソナルコンピューター（以下PC）から本機を操作することができます。

注　ネットワークに接続されたPCから本機を操作する場合、ネットワーク環境が整ったPCが必要です。
　　ネットワークから操作を行うと、最大録画レートは7.5 IPS～30 IPSの間で変動します。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..........1冊
保証書..........1式
録画モード設定ガイド..........1冊
基本操作ガイド..........1冊
基本接続・設定ガイド..........1冊

以下の付属品は取付工事に使用します。

電源コード..........1本
ラックマウント金具..........2個
ラックマウント金具取付ねじ..........4本
ラック取付ねじ（呼び径5タッピング）..........4本

本書について

本書の24ページ～108ページは、本機の前面にあるボタンで操作する方法について説明します。
109～124ページに記載されている、設置・接続方法の説明は工事業者向けですので、通常お客様はお読みになる必要はありません。
ネットワークから操作する場合は、125ページ以降のHTML操作編をお読みください。
また、本書の画面表示はWJ-HD150/2の場合を例に説明しています。

商標および登録商標について

・Microsoft®、Windows®、Windows® NT、Windows® XPは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・EthernetはXerox Corporationの登録商標です。

・Javaに関連するすべての商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

・その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損等
  ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動き検出等できないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
  ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体等によるプライバシー侵害等を理由とするいかなる賠償請求、クレーム等
  ⑦本商品の動き自動検出機能（VMD）の誤検出、または検出もれによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

用語・記号について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。

HDD：ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

スポット：1台のモニターに、カメラ1台の画像を連続して表示することです。スポットで表示するためのモニターをスポットモニターと呼びます。スポットモニターは、スポット出力（BNC）に接続されています。

多画面：1台のモニターに、複数のカメラ画像を同時に表示することです。多画面で表示するためのモニターを多画面モニターと呼びます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面と呼びます。多画面モニターは多画面出力（BNC）に接続されています。

シーケンス：スポットまたは4画面表示時、カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。

録画モード：HDDにカメラ画像を録画する際のモード（画質、1秒当たりの録画枚数、最大録画時間）のことです。

アラーム録画：アラーム発生時、専用の録画モードで録画することです。タイマー録画中とそれ以外の録画とでそれぞれ異なる録画モードでアラーム画像を録画できます。アラーム録画には、動き検出機能（VMD）による録画を含みます。

外部録画：本機は外部機器（スイッチ）をアラーム/リモート端子に接続し、スイッチをONにしている間、録画中の録画モードを変えて録画できます。外部機器から録画中の録画モードを変えて録画することを外部録画と呼びます。

録画レート（IPS）：1秒あたりの録画枚数の単位。数値が大きいほどなめらかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。録画レートは録画方法ごとに選択できます。

画質：本機はカメラ画像を録画するとき、フィールドごとにJPEG（Joint Photographic Experts Group）ファイルに変換します。JPEGファイルとは静止画像の画像圧縮技術の1つで、圧縮率が高いほど、ファイル容量が小さくなりますが、画質は粗くなります。
本機は圧縮率をSF/SF-A（最高画質）、FQ/FQ-A（高画質）、NQ/NQ-A（通常画質）、EX/EX-A（低画質）で表しており、録画方法ごとに選択できます（-Aは録音の有無を表しています）。
SP/SP-A（個別設定）では、録画間隔（IPS）と画質を任意に設定できます。

ネットワーク：本機後面パネルの10BASE-T/100BASE-TXコネクターで接続される、LANやインターネットなどの総称です。

：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。

：該当する機能を使用するにあたり、注意していただきたい事項が書かれています。

：使用上のヒントが書かれています。

：本機をネットワークに接続して使用する場合の説明が書かれています。

：多画面モニターで操作できる項目です。

：スポットモニターで操作できる項目です。

もくじ

商品概要 ……2
付属品をご確認ください ……3
本書について ……3
商標および登録商標について ……3
免責について ……4
個人情報の保護について ……4
用語・記号について ……5
安全上のご注意 ……13
取り扱い上のお願い ……16
ハードディスク録画の仕組み ……17
各部のなまえ（前面パネル部）……20
各部のなまえ（画面表示）……22
はじめてお使いになる場合 ……23

電源を入れる ……24
設定画面の基本操作 ……25
時計を合わせる ……27
セットアップする ……28
セットアップする（オプション）……39

操作編 ……69
録画する ……70
再生する ……71
画面操作 ……76
不正操作を防止する ……82
アラーム発生時の操作 ……84
録画画像をコピーする ……87
システム情報の確認 ……97
電源を切る ……99
ハードディスクのメンテナンス……100

設置上のお願い……109
設置工事について……111
各部のなまえ（後面パネル部）……114
接続のしかた……116
モードスイッチについて……123

HTML操作編……125
機能概要……126
使用前の準備……127
操作のしかた……131
画面詳細……133
設定メニュー……137
録画画像のダウンロード……161

故障かな!?……162
資　料……167
ダウンロード画像について……168
メール通知の内容……169
サーバー接続エラー情報の内容……171
設定画面構成……173
索　引……174
仕　様……176
保証とアフターサービス……177

詳細もくじ

ご使用前に

安全上のご注意（必ずお守りください）……………………13

取り扱い上のお願い ………………………………………16

ハードディスク録画の仕組み ……………………………17

録画の種類 ……………………………………………………17
録画モード（画質・録画レート）について ………………17
ディスクモードについて ……………………………………17
タイマー録画について ………………………………………18
書き込みエラー時の動作 ……………………………………18
ハードディスクが故障したとき ……………………………18
ハードディスク録画の概念 …………………………………19

各部のなまえ（前面パネル部）……………………………20

各部のなまえ（画面表示）…………………………………22

はじめてお使いになる場合 ………………………………23

セットアップ（基本設定項目）

電源を入れる ………………………………………………24

設定画面の基本操作 ………………………………………25

表示のしかた …………………………………………………25
終了のしかた …………………………………………………26

時計を合わせる ……………………………………………27

セットアップする …………………………………………28

録画方法を選択する …………………………………………28
マニュアル録画・連続録画・アラーム録画の
録画モードを設定する ………………………………………29
録画モードを設定する ………………………………………29
アラーム録画時の録画モードを設定する …………………31
アラーム発生直前の画像の録画時間（PRE ALM REC） ……………32
アラーム発生後の画像の録画時間（POST ALM REC） ……………33
アラーム発生時の録画方法（DYNAMIC REC） ……………………33
アラーム発生時の録画動作（TRIGGER ACTION SETUP） ………34
マニュアル録画・連続録画で録画するカメラを選択する
（CAM REC SETUP） …………………………………………35
タイマー録画を設定する（TIMER REC） ……………………36
はじめにお読みください ……………………………………36
プログラムを割り当てる ……………………………………36
プログラムを作成する（PROG1～4 SETUP） ……………………37

詳細もくじ

セットアップ
（オプション）

セットアップする（オプション）……………………………39

外部録画時の録画モードを設定する ……………………………………………39
モニター表示情報・各種ランプに関する設定（DISPLAY SETUP） …40
時計の表示形式を設定する（TIME&DATE DISP.） …………………40
時計表示位置の選択（TIME&DATE POSI.） ……………………………41
時刻埋め込みのON/OFF（TIME&DATE EMB.） ………………………41
状態表示のON/OFF（STATUS DISP.） ………………………………42
状態表示位置の選択（STATUS POSI.） ………………………………42
HDDランプの橙色点滅条件の設定（HDD FULL） ……………………43
ハードディスク状態チェックのON/OFF（HDD CHECK） ………43
カメラに名前を付ける（CAMERA TITLE） ……………………………44
システムの動作を変更する（SYSTEM SETUP） …………………………46
ロック機能で使用するパスワードを設定する（PASSWORD LOCK） ……46
ボタン操作時のブザー音ON/OFF（KEYLOCK BUZZ） …………48
アラーム履歴の改ページ数の選択（SKIP ALM-RECALL） ………48
同時録再機能のON/OFF（SIMUL REC&PLAY） ……………………49
改ざんチェック機能のON/OFF（ALTER DETECT） ………………49
上書き機能のSTOP／CONTINUE（DISK END MODE） …………50
ハードディスク終了時のブザー音ON/OFF（DISK END BUZZ） 50
再生優先順位を変更する（PLAY PRIORITY） …………………………51
時刻補正を行う（TIME ADJUST SETUP） ………………………………52
カードコピーロックで使用するパスワードを設定する
（CARD COPY LOCK） ……………………………………………53
解像度を変更する（RESOLUTION） ……………………………………54
ハードディスクセーフティモードを使用する（HDD SAFETY MODE） …54
アラーム発生時の動作を設定する（ALARM SETUP） ……………………55
アラーム発生時のブザー音ON/OFF（ALARM BUZZ） ……………55
カメラ故障・ケーブル断線検出機能のON/OFF（VIDEO LOSS） 56
アラーム発生時の画像の表示方法（MONITOR MODE） …………56
動き自動検出機能の設定（VMD SETUP） ………………………………57
ネットワークの設定（NETWORK SETUP） …………………………………59
通信速度を選択する（LINE SPEED） ……………………………………59
HTTPポート番号を設定する（HTTP PORT） ……………………………60
IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得する場合（DHCP） ……61
IPアドレスを直接入力する ………………………………………………62
画面操作の設定（SWITCHER SETUP） ……………………………………63
モニターの初期画面（START DISPLAY） ………………………………63
画像自動切り換えの設定（SEQUENCE SETUP） ………………………64
特定のカメラの画像を表示しないようにする（CAMERA VIEW SETUP） ……67
シークレットビューの設定（SECRET VIEW） …………………………67

操　作

録画する ……70

再生する ……71

通常再生 ……71

検索再生 ……72

　日時で検索して再生する ……72

　アラーム画像のみ検索して再生する（再生中のみ操作可能） ……72

　アラーム履歴から検索して再生する（ALARM RECALL） ……73

再生中の操作 ……75

　早送り/早戻し再生（再生中のみ操作可能） ……75

　コマ送り再生 ……75

画面操作 ……76

任意のカメラ画像を1画面で表示する ……76

多画面（4画）で表示する ……77

画像を拡大（ズーム）する ……77

画像を自動的に切り換える（シーケンス） ……79

　多画面モニターのシーケンス ……79

　スポットモニターのシーケンス ……80

カメラタイトル、時刻、状態を表示する ……81

不正操作を防止する ……82

ロックする ……82

ロックを解除する ……82

アラーム発生時の操作 ……84

アラームの種類 ……84

アラーム発生時の動作 ……84

アラーム動作の解除 ……86

アラーム動作を抑止する ……86

録画画像をコピーする ……87

外部メディアにコピーする ……87

　対応しているメディアについて ……87

　外部メディアを挿入する／取り出す ……87

　録画画像の時間範囲を指定してコピーする（時間指定コピー） ……88

　録画画像の枚数を指定してコピーする（枚数指定コピー） ……90

　不正コピーを防止する（CARD COPY LOCK） ……92

　ロックを解除する ……92

　自動的にコピーする（クイックコピー） ……92

　外部メディアをフォーマット（初期化）する ……94

録画画像をVTRにコピーする ……95

コピーした画像を再生する ……96

詳細もくじ

システム情報の確認 ……………………………………97
表示のしかた ……………………………………97
システムログの表示（SYSTEM LOG1）（SYSTEM LOG2） ……97
設定内容の初期化（DEFAULT） ……………………98
ハードディスク総容量（HDD CAPACITY） ……………98
累積稼働時間（HDD HOUR METER） ………………98
本機の内部温度（CURRENT TEMP.） ………………98
システムバージョン（SYSTEM VERSION） …………98
本機のシリアル番号（SERIAL NUMBER） ……………98

電源を切る ……………………………………99

ハードディスクのメンテナンス ……………………100
HDDランプが橙色点滅したときの操作（ディスクエンド） ……100
エラーランプが点滅したときの操作 ……………………101
ハードディスクの初期化 ……………………………101
DISK MENU画面の操作 ……………………………102
DISK MENU画面について ……………………………102
ハードディスクの状態について ……………………103
ハードディスク故障時の対処方法（ERR状態） ……103
ハードディスクの運用を切り換える（DISK MODE） ……104
ハードディスクを論理的に切り離す（REMOVE LINK） ……105
初期化のしかた（FORMAT） ……………………106
再起動のしかた（RESTART） ……………………108

工事説明

設置上のお願い ……………………………………109

設置工事について ……………………………………111
ハードディスクセーフティモードについて ……………111
初めてお使いになるときは …………………………111
メンテナンス（ハードディスクの交換や設置作業など）を行うときは 112

各部のなまえ（後面パネル部） ……………………114

接続のしかた ……………………………………116
基本的な接続例 ……………………………………116
ネットワークへの接続例（遠隔操作） ………………117
アラーム/リモート端子の使いかた ……………………118
ピン配列 ……………………………………118
アラームの接続 ……………………………………118
自動時刻補正を行う場合 ……………………………120
外部スイッチで録画する ……………………………121
その他の端子 ……………………………………121
ラックに取り付ける ……………………………………122

モードスイッチについて ……………………………123
HTMLコンテンツの初期化 ……………………………123
ネットワーク設定メニューの初期化 …………………123
お買い上げ時の状態に戻す …………………………124

HTML 操作編

機能概要……126

使用前の準備……127

PCの環境……127
接続のしかた……127
　本機を直接PCに接続する場合……127
　既存のネットワークに本機を組み込む場合……127
ネットワーク環境の設定……128
　本機の設定……128
　PCの設定……128
本機のネットワークセキュリティ……130
　本機に装備されているセキュリティ機能……130
　セキュリティ強化のために……130

操作のしかた……131

操作画面の表示方法……131
操作画面について……132

画面詳細……133

基本操作パネル……133
アラームリストタブ……134
レコーダー操作ボタン……135
状態表示……136

設定メニュー……137

内部タイマー設定ページ……138
　内部タイマー設定（マニュアル録画で録画する）……138
　内部タイマー設定（連続録画で録画する）……138
　内部タイマー設定ページ（タイマー録画で録画する）……139
　プログラム設定ページ……140
　トリガー動作設定ページ……141
　録画カメラ設定ページ……141
録画設定ページ……142
　トリガー動作設定ページ……143
外部録画設定ページ……143
表示設定ページ……144
　カメラタイトル設定ページ……145
システム設定ページ……145
アラーム設定ページ……147
　動き検出設定ページ……148
　動き検出エリア設定ページ……148
ネットワーク設定ページ……149
スイッチャー設定ページ……151
　多画面シーケンス設定ページ、スポットシーケンス設定ページ……152
　カメラ表示設定ページ……153

詳細もくじ

システム情報ページ ……………………………………153
障害情報ページ ……………………………………154
サーバー接続エラー情報ページ ……………………155
ユーザー設定ページ ……………………………………156
ホスト設定ページ ……………………………………157
FTPクライアント設定ページ …………………………158
メール設定ページ ……………………………………159
ブラウザー表示設定ページ ……………………………160

録画画像のダウンロード……………………161

その他

故障かな!?……………………………………162

ダウンロード画像について……………………168

メール通知の内容……………………………169

サーバー接続エラー情報の内容………………171

設定画面構成…………………………………173

索引……………………………………………174

仕様……………………………………………176

保証とアフターサービス………………………177

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない

禁止

落下によるけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠警告

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷のときは工事・配線しない

火災や感電の原因となります。

アースを確実に取り付ける

本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

● アース工事は販売店にご相談ください（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません）。

⚠注意

通風口をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

振動や強い衝撃を与えない

火災や感電、故障の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電、故障の原因になります。

リチウム電池は同一型名または同等品と交換する

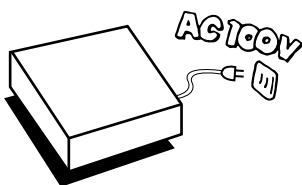
異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

- 交換は必ず販売店にご依頼ください。

取り扱い上のお願い

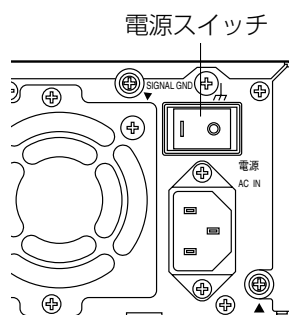
⚠警告 ⚠注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用電源は

AC100 Vです。
消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

使用温度範囲は

+5 ℃〜+45 ℃です。
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。
また、ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20 ℃〜+30 ℃以内で使用されることをおすすめします。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内蔵ハードディスクについて

- ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
  ①振動・衝撃はハードディスク故障の原因になります。
  ②電源を入れた時や電源を切った直後（約30秒間）は、ハードディスクが動作中ですので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
- ハードディスクは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する装置です。機器周囲温度+25 ℃の環境下で使用された場合、通電時間が20 000時間を超えた頃から、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30 000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命に至ります。大切なデータを破壊させないために機器周囲温度を+25 ℃以下に保ち、18 000時間を目安に交換することをおすすめします（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません）。
- ハードディスクに異常が発生した場合は、速やかにハードディスクを交換してください。ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。

結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。
結露が発生しやすい条件は
- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。
  そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を廃棄または譲渡される場合

HDD内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

ハードディスク録画の仕組み

本機は、最大4台までのカメラを直に接続してハードディスクに録画することができます。

録画の種類

本機は以下の方法で録画を開始できます。

録画方法	概　要
マニュアル録画	録画ボタンを押して録画を開始する方法です。録画停止ボタンを押すまで録画を続けます。
連続録画	電源をONにしたとき録画を開始する方法です。録画停止ボタンを押すまで録画を続けます。
タイマー録画	録画開始時刻と録画終了時刻を設定し、設定された時間、録画します。タイマー録画中は録画停止ボタンを押して録画を停止することはできません。
アラーム録画	アラーム録画には以下の2種類があります。 ・外部センサー動作時に録画を開始する ・本機の動き検出機能（VMD）が動作したときに録画を開始する

・アラーム録画は、タイマー録画中とそれ以外の状態で、異なる画質で録画できます。
・本機後面端子にスイッチ（外部スイッチ）を接続している場合は、接続した外部スイッチを録画中にONにしている間、録画モードを変更して録画できます（外部録画→5ページ）。

多画面モニターの1画面表示やスポットモニターに表示される画像は、実際に録画される画像よりも広い範囲を表示しています。ご使用前に一度録画を行い、その画像を再生して、録画される画像の範囲を確認してください。

録画モード（画質・録画レート）について

録画時の画質とハードディスクに何時間録画するか（録画時間モード）を選択することによって、画像の鮮明度、動きのなめらかさ（録画レート）が決まります。画質と録画レートを選択して、録画時間モードを自動的に計算させて使用することもできます。ただし、本機の録画レートは、操作状況によって変動します。録画モードは録画の開始方法ごとに設定できます。

本機は動作状況に応じて自動的に録画レートを変更して録画します（設定する録画レートは最大録画レートであり、実際に録画されるレートとは一致しない場合があります）。
・録画と再生を同時に行う場合、最大録画レートは15 IPSに制限されます。
・多画面表示、ネットワーク操作、プレアラーム録画、または動き自動検出機能を使用する場合、7.5 IPS～15 IPSの間で変動します。

ディスクモードについて

本機は、録画映像を1つのハードディスクに書き込む「SINGLE MODE」と、2つのハードディスクに同時に書き込む「DUAL MODE」の2種類を搭載しています（ハードディスク2台搭載モデルWJ-HD150/2のみ）。詳しくは104ページをお読みください。

ハードディスク録画の仕組み

ご使用前に

タイマー録画について

本機は、内蔵時計の時刻にしたがってタイマー録画を行うことができます。タイマー録画の特徴を以下に示します。

・週間タイマーです。4つまでプログラムを作成できます。

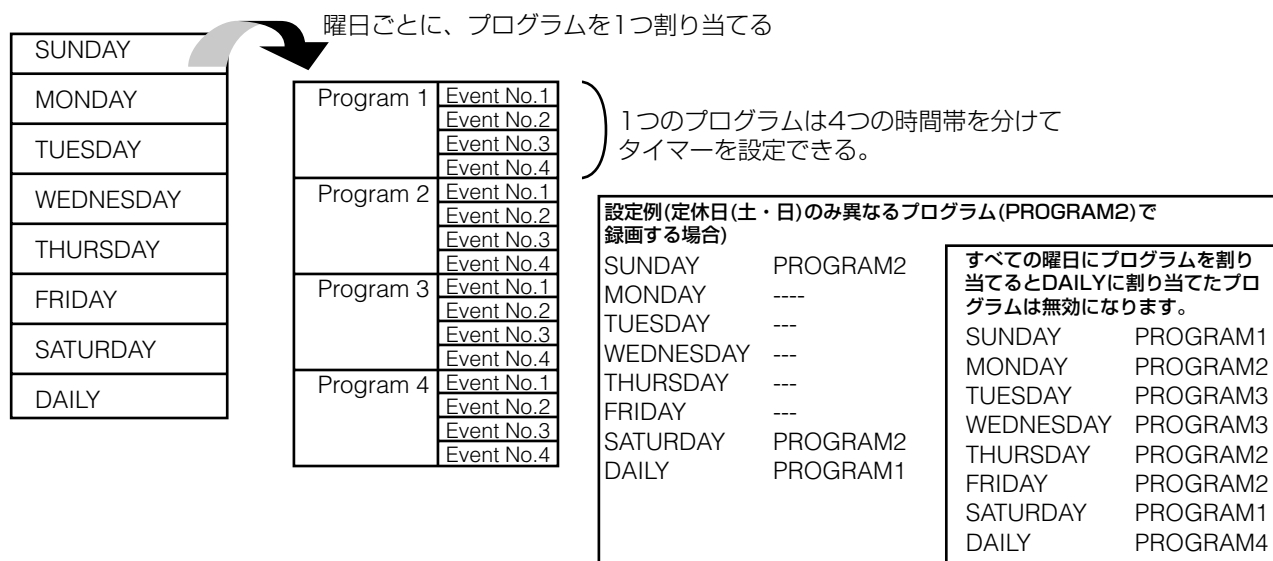
・1つのプログラムに4つまでのイベント（開始時刻・終了時刻）を割り当てることができます。

・基本は、毎日実行するプログラムを1つ作成し、DAILYに割り当てます。その後、異なるスケジュールで録画したい曜日に対し、残りの3つのプログラムから1つを選択して割り当てます。

設定例(定休日(土・日)のみ異なるプログラム(PROGRAM2)で録画する場合)

SUNDAY	PROGRAM2
MONDAY	----
TUESDAY	---
WEDNESDAY	---
THURSDAY	---
FRIDAY	---
SATURDAY	PROGRAM2
DAILY	PROGRAM1

すべての曜日にプログラムを割り当てるとDAILYに割り当てたプログラムは無効になります。

SUNDAY	PROGRAM1
MONDAY	PROGRAM2
TUESDAY	PROGRAM3
WEDNESDAY	PROGRAM3
THURSDAY	PROGRAM2
FRIDAY	PROGRAM2
SATURDAY	PROGRAM1
DAILY	PROGRAM4

・タイマー録画による録画中、録画停止ボタンで録画は停止できません。
・同時録再機能をONにしている場合、録画しながら再生することができます。

書き込みエラー時の動作

カメラ画像をハードディスクに書き込む際、エラーが発生すると自動的に再起動を行います。書き込みエラーが連続して発生すると、そのハードディスクは故障していると判断し使用しないように切り離しを行い、残り1台で運用を継続します（WJ-HD150/1など、残りのハードディスクが1台も存在しない場合は運用を継続しません）。このとき、本機の電源を入れ直すと多画面モニターにDISK MENU画面が表示されます（→102ページ）。DISK MENU画面は約1分間何も操作しないと自動的に消えて通常運用を開始します（故障したハードディスクを論理的に切り離す、または交換するまで、電源を入れ直すたびに表示されます）。

「SINGLE MODE」運用中に1台が切り離された場合、録画できる時間は約1/2になります。

ハードディスクが故障したとき

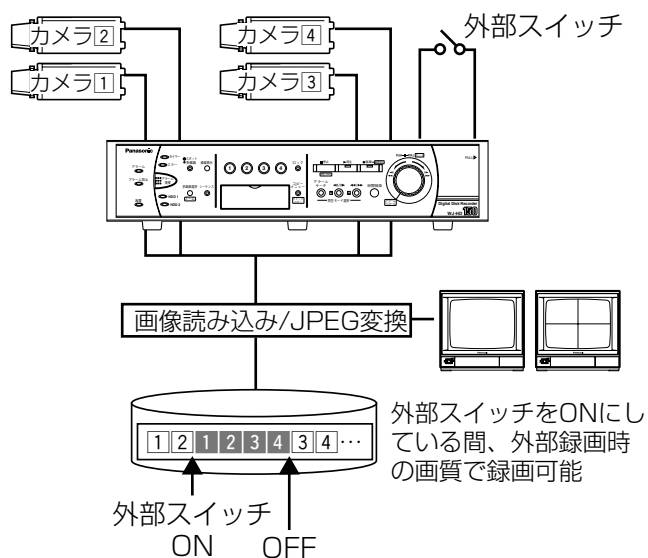
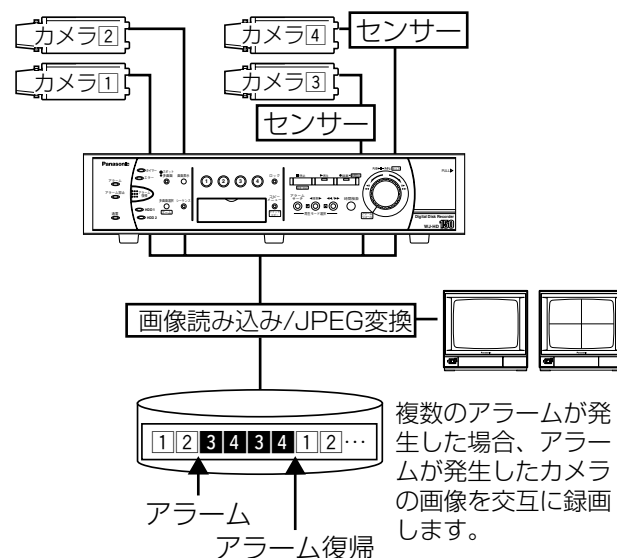
何らかの原因によってハードディスクが故障するとエラーランプを点滅してお知らせします。このとき、電源を入れ直すと多画面モニターにDISK MENU画面が表示されます。→102～108ページ

ハードディスク録画の概念

ここでは、ハードディスクに画像を録画するときの概念について説明します。

・マニュアル録画、連続録画、タイマー録画

・外部録画(外部スイッチで録画モード変更)

・アラーム録画(カメラ4でアラーム検出)

・アラーム発生時(カメラ3と4でアラーム検出)

アラーム発生時の録画動作は設定によって以下のように異なります。録画に関する設定は使用する録画モードの設定画面（REC SETUPまたはPROG NO.n SETUP）で設定します。

・DYNAMIC RECでALM-MULTIを選択した場合（→33ページ）は、複数のアラームが同時に発生すると、アラームが発生した場所の画像を順番に録画します。

・DYNAMIC RECでOFFを選択した場合は、アラーム発生時も通常録画と同様に接続されているカメラの画像をすべて録画します。

外部録画は、録画中のみ有効です。外部スイッチで録画を開始または停止することはできません。

各部のなまえ（前面パネル部）

画面操作（カメラ・再生）

（スポット／多画面ボタン）：操作するモニターを選択します。

（画面表示ボタン）：モニターに時刻やカメラタイトル、ハードディスクの空き容量などの情報を表示します。再度押すと非表示となります（非表示中はアラーム発生の有無も表示しません）。

（多画面選択（ズーム）ボタン）：画面分割またはズーム操作に使います。

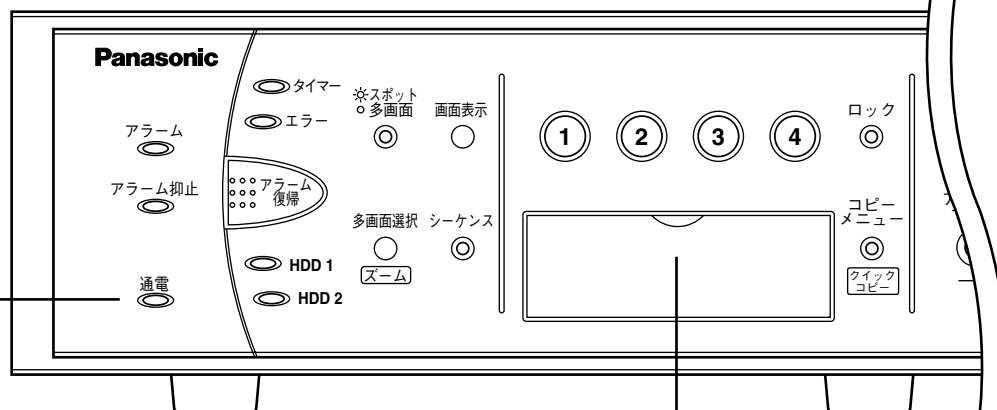
（シーケンスボタン）：カメラを自動的に切り換えて表示する（シーケンス）ときに押します。

（カメラ選択ボタン）：押した番号のカメラ画像を表示できます。パスワードの入力にも使います。（緑色: カメラ画像表示中、青色: 録画中のカメラ画像表示中、橙色: 録画中でカメラ画像表示なし）

ロック・コピー操作

（ロックボタン）：このボタンを押して、前面パネルからの操作を禁止できます。ロック中はボタンのランプが点灯します。ただし、コピーメニューボタンは操作できます。

（コピーメニューボタン）：カードスロットに挿入されている外部メディアに録画画像をコピーします。このボタンを押すと、COPY MENU画面が表示されます。
（クイックコピーボタン）：カードスロットに挿入した外部メディアにコピー情報（コピーしたいカメラ番号、開始時刻、時間範囲など）を記述したテキストデータが保存されている場合、このボタンを2秒以上押すと、コピー情報に基づいてコピーを開始します。

通電ランプ：
通電時点灯します。
本機の電源スイッチは後面にあります。

カードスロットカバー：SDメモリーカードなどの外部メディアを挿入します。

アラーム制御

（アラームランプ）：動き検出機能（VMD）または外部センサーが動作すると点滅してお知らせします。自動復帰または後面アラーム復帰入力ONで点灯、復帰（アラーム復帰ボタン、ネットワークによるアラームリセット操作）させると消灯します。

（アラーム抑止ランプ）：アラームを抑止（アラーム動作させない状態）しているときに点灯します。

（アラーム復帰ボタン）：このボタンを押すとアラームを解除（復帰）できます。

状態表示ランプ

（HDDランプ）：ハードディスクにアクセスしているときに緑色に点灯します。また、ハードディスクの残量が0 %になると録画できなくなり、橙色に点灯します。

（エラーランプ）：以下の場合に点滅します。
- ハードディスクの寿命が近づいたとき
  ハードディスクの自己管理報告機能（S.M.A.R.T.:Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology）が本機に使用限界を通知したとき（黄色点滅）
- ハードディスク故障・切り離し（赤色点滅／点灯）
- 温度異常（赤色点滅）
- システム異常（赤色点滅）

（タイマーランプ）：タイマー録画が設定されているときに点灯、録画中は点滅します。

再生・録画操作

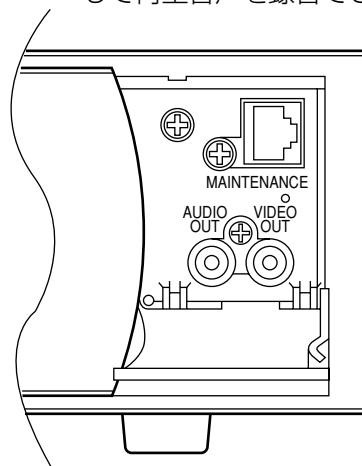
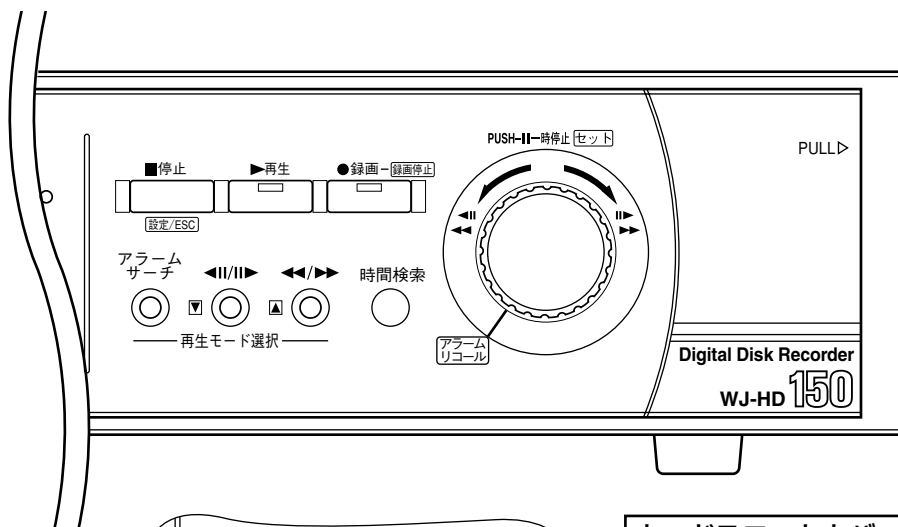
（再生ボタン）：このボタンを押すと再生を開始します。再生中、ボタンのランプが点灯します。一時停止中、早送り／早戻し中は点滅します。

（停止ボタン）：再生を停止し、カメラ画像を表示します。
（設定/ESCボタン）：押し続けると、本機を設定するためのSETUPメニューを表示および終了できます。

（録画ボタン）：このボタンを押すと録画を開始します。録画中、ボタンのランプが点灯します。
（録画停止ボタン）：このボタンを押し続けると、録画を停止します。

（ジョグダイヤル）：再生中に押すと一時停止、早送り/早戻しボタン、コマ送りボタンを押してから左または右に回すと早送り再生/早戻し再生/コマ送り／コマ戻し再生ができます。押し続けると、アラーム発生状況を一覧表示できます。設定中は設定値の変更に使います。

前面端子カバー内部

MAINTENANCEポート（ストレートケーブル用）：メンテナンス用です。触らないでください。
VIDEO OUT：外部機器を接続して再生画像を録画できます。
AUDIO OUT：外部機器を接続して再生音声を録音できます。

カードスロットカバー内部

取り出しスイッチ：スイッチを押すと外部メディアを取り出せます。
カードスロット：SDメモリーカードなどの外部メディアを挿入します。

再生・検索操作

（アラームサーチボタン）：アラーム録画で録画された画像を検索するときに使います。
→72ページ

（コマ送りボタン）：押すとコマ送り選択になります（緑点灯）。ジョグダイヤルを回すとコマ送り／コマ戻し再生できます。設定中はカーソル移動（下移動：▼ボタンと表記）に使います。

（早送り／早戻し再生ボタン）：押すと早送りまたは早戻し選択になります（緑点灯）。ジョグダイヤルを回すと、早送り／早戻し再生できます。設定中はカーソル移動（上移動：▲ボタンと表記）に使います。

（時間検索ボタン）：押すと時間検索画面が表示されます。時刻を入力して最も近い時間の画像から再生することができます。

各部のなまえ（画面表示）

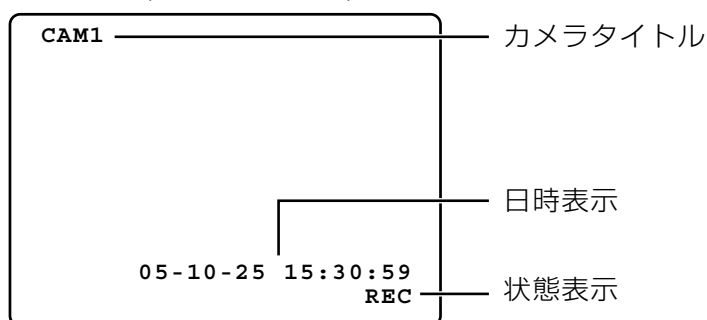
本機には、モニターを接続する端子が2種類あります。モニターを接続する端子によって表示できる画像が下表のように異なります。

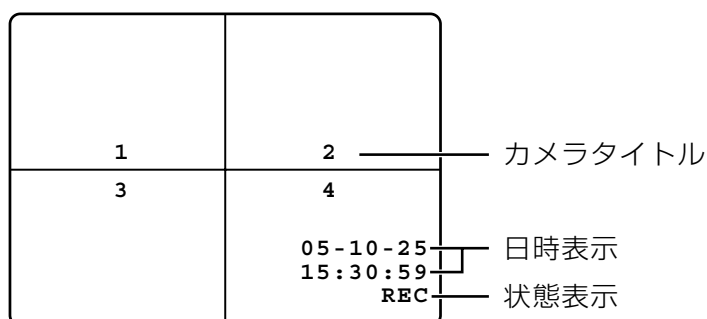
名称	接続端子	表示できる画像	設定画面
スポットモニター	スポット出力（BNC）	カメラ画像を1画面でのみ表示可能※1	表示不可
多画面モニター	多画面出力（BNC）	カメラ画像および再生画像を1、4画面で表示可能	表示可能

※1　スポットモニターにカメラ番号・カメラタイトル・日時は表示されません。

画面表示ボタンを押して、多画面モニターに以下の情報を表示できます。

1画面表示(多画面モニター)

4画面表示(多画面モニター)

状態表示に表示される内容

→PLAY　：再生中。「*」が付加されているときは録画レート変動中※2。2倍速再生中は→2PLAYと表示。
←PLAY　：逆再生中。「*」が付加されているときは録画レート変動中※2　2倍速逆再生中は←2PLAYと表示。
→mFF　：早送り再生中。mは再生速度(mは1～3までの数字)。
←mREW　：早戻し再生中。mは再生速度(mは1～3までの数字)。
X1/2　：1/2の速度で再生中(早送り/早戻し再生中)
REC　：録画中
STOP　：カメラ画像表示中
PAUSE　：再生一時停止中
COPY　：コピー中
RECy%　：yはハードディスクの残容量(上書き機能をSTOPにしている場合で、録画中にジョグダイヤルを回すと表示)

※2　設定されている録画レートより少ないレートで録画されていることを意味します。7.5 IPS以上の録画レートで録画中に以下のいずれかの機能を使用すると表示されます。
・多画面表示　・ネットワークアクセス
・プレアラーム録画　・動き検出機能

以下は状態表示欄に表示されます。
CAMnAL　：アラーム発生
CAMnLOSS　：カメラ故障またはケーブル切断（nはカメラ番号）

表示位置や表示形式、表示の有無は、設定画面のDISPLAY SETUP画面で設定できます。
→40～45ページ

はじめてお使いになる場合

初めてお使いになる場合は、以下の手順で本機のセットアップしてください。

No.	項目	セットアップ項目	参照ページ
1	電源を入れる	HDD SAFETY MODE	24 111
2	時計を合わせる(必ず行ってください)	MAIN MENU(DISPLAY SETUP) →DISPLAY SETUP(CLOCK)	27
3 セットアップ	必須項目／録画方法を選ぶ：タイマー録画の開始・終了時刻を設定する	MAIN MENU(TIMER INT) →TIMER REC(PROGn) →PROGn SETUP	28, 36
	必須項目／録画方法を選ぶ：起動直後、自動的に録画を開始する(連続録画)	MAIN MENU(TIMER EXT) →MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	28
	必須項目／録画方法を選ぶ：手動でのみ録画を開始する(マニュアル録画)	MAIN MENU(TIMER OFF) →MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	28
	必須項目：マニュアル録画/連続録画の画質を設定する	MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	29
	必要に応じてセットアップする項目：外部スイッチで録画モードを変える	MAIN MENU(EXT REC SETUP) →EXT REC SETUP	39
	必要に応じてセットアップする項目：モニター表示情報・ランプの点灯有無を変更する	MAIN MENU(DISPLAY SETUP) →DISPLAY SETUP	40
	必要に応じてセットアップする項目：システムの動作を変更する	MAIN MENU(SYSTEM SETUP) →SYSTEM SETUP	46
	必要に応じてセットアップする項目：アラーム発生時の動作を変更する 動き自動検出機能（VMD）を使う	MAIN MENU(ALARM SETUP) →ALARM SETUP	55
	必要に応じてセットアップする項目／通信設定：サーバーに画像を転送する/ウェブブラウザーから操作する/専用ソフトで録画画像を取得する	MAIN MENU(NETWORK SETUP) →NETWORK SETUP	59
	必要に応じてセットアップする項目／動作設定：モニターの初期画面、シーケンス動作を変更する	MAIN MENU(SWITCHER SETUP) →SWITCHER SETUP	63
	必要に応じてセットアップする項目／動作設定：シーケンス(カメラ自動切り換え)の順番を変更する	MAIN MENU(SWITCHER SETUP) →SWITCHER SETUP(SEQUENCE SETUP) →MULTI SEQ SETUP →SPOT SEQ SETUP	64
4	操作する		70
5	システム情報を確認する	MAIN MENU(SYSTEM INFORMATION) →SYSTEM INFORMATION	97
6	電源を切る		99

項目	セットアップ項目	参照ページ
ハードディスクに障害が発生した場合	DISK MENU	102

電源を入れる

ここでは、電源の入れかたについて説明します。

操作手順	状　態	備　考
1　電源プラグをAC100 Vの電源コンセントに差し込む		必ず、AC 100 V 50/60 Hzの電源に接続してください。
2　後面の電源スイッチを「I」にする 	通電ランプが点灯し、ハードディスクの状態を自動的に確認します。 	お買い上げ時はセーフティモードで起動します。(→111ページ) 通常起動時は、ハードディスクの状態確認中にモニターにメッセージが数秒表示されます。 起動画面表示後、START DISPLAY(→63ページ)で設定したカメラ画像が表示され、運用状態になります。
3　前面ボタンで操作します		ネットワークのセットアップが完了している場合、ウェブブラウザーから操作することもできます。

以下の場合、DISK MENU画面が表示されます。→102ページ

- ・ハードディスクに問題がある場合
- ・ハードディスクを交換または取り外した場合
- ・SYSTEM CHECK DONE! メッセージが表示されているときに、停止ボタンを押した場合

電源「I」時、自動的に録画を開始するように設定できます(連続録画)。→28ページ/138ページ

手動でDISK MENU画面を表示し、ハードディスクを初期化することもできます。→102ページ

基本設定項目

設定画面の基本操作

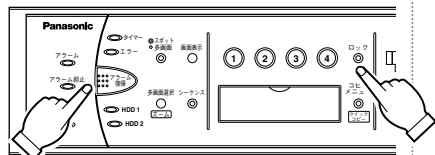
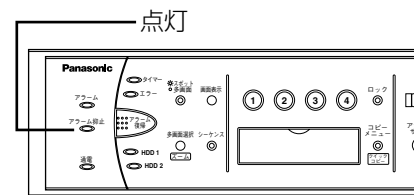
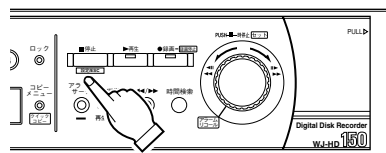
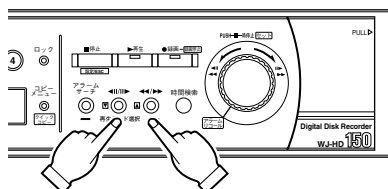
本機を初めて使用する場合、設定が必要です。
ここでは、設定画面の表示方法と基本的な操作方法について説明します。

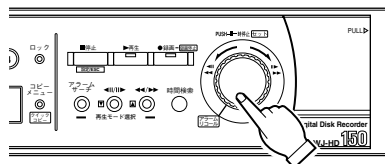
準備を始める前に、多画面出力端子にモニターが接続されていることを確認してください。設定画面はスポットモニターに表示できません。

前面ボタン操作がロックされているときは（ロックランプ点灯時）、ロックを解除する必要があります。→82ページ

基本設定項目

表示のしかた

操作手順	状　態	備　考
1　本機の電源を入れる →24ページ	通電ランプが点灯します。	再生しているときは停止ボタンを、録画しているときは、録画停止ボタンを押して、停止してから次の手順に進んでください。
2　アラーム動作より設定操作を優先する場合、アラーム復帰ボタンを押したままでロックボタンを押し、アラームを抑止する →86ページ 	アラーム抑止ランプが点灯します。 	アラームを抑止していない場合、設定中にアラームが発生すると設定操作が中断され、アラーム動作を行います。→84ページ
3　MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタン（設定/ESC）を押し続ける（約2秒） 	多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。 WJ-HD150 MAIN MENU TIMER　OFF REC SETUP EXT REC SETUP DISPLAY SETUP SYSTEM SETUP ALARM SETUP NETWORK SETUP SWITCHER SETUP SYSTEM INFORMATION	
4　▲ボタンまたは▼ボタンで設定したい項目にカーソルを合わせる 	カーソルを上下に動かし、SYSTEM INFORMATIONにカーソルを合わせてください。 WJ-HD150 MAIN MENU TIMER　OFF REC SETUP EXT REC SETUP DISPLAY SETUP SYSTEM SETUP ALARM SETUP NETWORK SETUP SWITCHER SETUP SYSTEM INFORMATION	◀II/II▶ ▼ を押すと下に移動 ◀◀/▶▶ ▲ を押すと上に移動

設定画面の基本操作

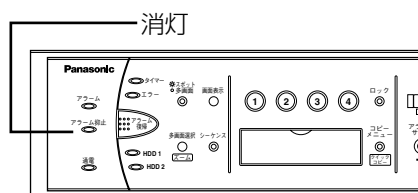
続き

操作手順	状　態	備　考
5　ジョグダイヤルを押す	設定画面（SYSTEM INFORMA-TION画面）が表示されます	設定値は、ジョグダイヤルを回して変更できます（SYSTEM INFORMATION 画面に値を変更できる項目はありません）。 →97ページ

```
SYSTEM INFORMATION

SYSTEM LOG1 ⤵
SYSTEM LOG2 ⤵
DEFAULT→          SET→

HDD CAPACITY      500GB
HDD1 HOUR METER 1234H
HDD2 HOUR METER 1234H
CURRENET TEMP.    39.5°C
SYSTEM VERSION    1.23
SERIAL NUMBER     ABC00001
```

⤵記号について：この記号が付いた項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押すと、詳細を設定するための設定画面が表示されます。

→記号について：この記号が付いた項目は、ジョグダイヤルを押すと変更できるようになります。

終了のしかた

操作手順	状　態	備　考
1　MAIN MENU画面に戻るまで、停止ボタン（設定／ESC）を押す		
2　MAIN MEN画面が消えるまで停止ボタンを押し続ける（約2秒）	モニターにカメラ画像が表示されます。	ネットワークや解像度、ハードディスクセーフティモードの設定を変更すると、設定を終了したとき、自動的に再起動が行われます。ネットワークの設定は再起動後から有効になります。
3　アラーム動作を再開するときは、再度、アラーム復帰ボタンを押したままでロックボタンを押す	アラーム抑止ランプが消灯します。	

消灯

時計を合わせる

本機を初めてお使いになるときは、以下の手順で本機の時計を現在時刻に合わせてください。時計は定期的に確認し、現在時刻と一致していないときは再設定してください。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのDISPLAY SETUPにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	DISPLAY SETUP画面が表示されます。	DISPLAY SETUP画面の詳細→40ページ
2　CLOCKにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	カーソルが年に移動します。 **CLOCK→05- 1- 1　15：05**	
3　ジョグダイヤルを回して、年を合わせる	05（2005年）～35（2035年）まで選択できます。	時計方向に回すと数値が大きく、反時計方向に回すと数値が小さくなります。
4　ジョグダイヤルを押す	カーソルが月に移動します。 **CLOCK→05- 9-20　15：05**	
5　手順3と4の操作を繰り返して、月、日、時、分を設定する	設定例 **CLOCK→05- 10- 25　19：00**	秒は設定できません。
6　設定が完了したら停止ボタンを押す	設定例 **CLOCK→05- 10- 25　19：00**	停止ボタンを押したときに、設定した時刻の0秒に時計の時刻を合わせます。
7　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

時計表示する/しないに関係なく、時刻は必ず合わせてください。年月日時分のいずれかの項目にカーソルを移動した場合は、時刻変更をしていなくても、停止ボタンを押すことにより本機の時計は0秒に設定されます。

一度時刻を合わせた後、本機の時計で他の機器の時刻を合わせたり、他の機器（親時計）の時刻で本機の時刻を合わせることができます。→52ページ/145～146ページ

録画方法を選択する

本機で録画を行う場合、はじめに録画開始方法を選択します。
録画開始方法は、タイマー録画、連続録画、マニュアル録画があります。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのTIMERにカーソルを合わせる	TIMER　　　OFF	
2　ジョグダイヤルを回して、録画方法を選択する	以下から選択できます。 OFF：マニュアル録画 INT⇣：タイマー録画 EXT：連続録画	マニュアル録画と連続録画は同じ録画モードで録画されます。 タイマー録画を行う場合も、タイマー録画時間外に録画ボタンを押して録画できます。この場合、マニュアル録画の録画モードとなります。
3　録画モードを設定する	該当するページを参照し、録画モードを設定してください。 マニュアル録画→29～35ページ タイマー録画→36～38ページ 連続録画→29～35ページ	
4　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

マニュアル録画・連続録画・アラーム録画の録画モードを設定する

マニュアル録画と連続録画時は録画開始方法が異なるだけで、同じ録画モードで録画されます。また、タイマー録画を選択しても、録画停止中に録画ボタンを押す（マニュアル録画）とマニュアル録画の録画モードで録画できます。これらの録画モードは、MAIN MENUのREC SETUPで設定します。設定時、マニュアル録画または連続録画中にアラームが発生した場合の録画モード（アラーム録画の録画モード）を設定できます。

- **録画時間モード/録画可能時間について**

  画質および解像度によって選択できる時間は異なります。この時間は、録画時間の目安としてお考えください（実際に録画できる時間ではありません）。

  SPまたはSP-A選択時に表示される録画可能時間は、録画時間の目安としてお考えください（実際に録画できる時間ではありません）。

- **録画レートについて**

  録画レートに7.5 IPSより大きなレートを指定した場合、多画面表示、プレアラーム録画、ネットワークの操作、または自動動き検出機能のいずれかと組み合わせて使用すると、指定した録画レートより少ないレートで録画されることがあります。同時録再機能をONにすると、録画レート（REC RATE）の最大値は自動的に15 IPSに変更されます。

録画モードを設定する

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIMERをOFFまたはEXTに設定する	WJ-HD150 MAIN MENU TIMER　OFF REC SETUP ⤵	タイマー録画（TIMER INT⤵）→36〜38ページ
2　REC SETUP⤵にカーソルを合わせる	WJ-HD150 MAIN MENU TIMER　OFF REC SETUP ⤵	
3　ジョグダイヤルを押す	REC SETUP画面が表示されます。 REC SETUP REC MODE→　SF-180H REC RATE　15IPS REC QUALITY　SUPER FINE ALM REC MODE→　SF-180H REC RATE　15IPS REC QUALITY　SUPER FINE PRE　ALM REC　0SEC POST ALM REC　10SEC DYNAMIC REC　OFF TRIGGER ACTION SETUP ⤵ CAM REC SETUP ⤵	
4　REC MODE→にカーソルを合わせる	REC MODE→　SF- 96H REC RATE　30IPS REC QUALITY　SUPER FINE	

つづく

セットアップする

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
5　ジョグダイヤルを押す	録画モードにカーソルが移動します。 **REC MODE→　SF-　180H**	
6　ジョグダイヤルを回して、録画モードを選択する	以下から選択できます。 SF/SF-A：最高画質 FQ/FQ-A：高画質 NQ/NQ-A：標準画質 EX/EX-A：低画質 SP/SP-A：個別設定	画質および解像度によって自動的に録画時間が計算され表示されます。 画像と音声を同時に録画するときは、SF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aを選択してください。
7　ジョグダイヤルを押す	録画時間モードにカーソルが移動します。 **REC MODE→　FQ-　240H**	
8　ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	選択できる時間は、録画モードによって異なります。選択できる時間は、別冊「録画モード設定ガイド」をお読みください。	なお、録画時間は目安であり、実際に録画できる時間は異なります。 録画時間を選択すると、録画レート（REC RATE）または録画時間（SP/SP-A選択時のみ）が自動計算されて表示されます。詳しくは、別冊「録画モード設定ガイド」をお読みください。
9　REC RATEにカーソルを合わせる（SP/SP-A選択時のみ移動可能）	**REC MODE→　SP-　394H** **REC RATE　7.5IPS** **REC QUALITY　SUPER FINE**	
10　ジョグダイヤルを回して最大録画レートを選択する	30 IPS（同時録再を行う場合は15 IPS）まで選択できます。	数値が大きいほどなめらかな動きで録画できますが、録画時間が短くなります。 選択した録画レートを基に録画可能時間が自動計算され、SP/SP-Aの右に表示されます。

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
11 REC QUALITYにカーソルを合わせる（SP/SP-A選択時のみ移動可能）	REC MODE→ SP-394H REC RATE 7.5IPS REC QUALITY SUPER FINE	
12 ジョグダイヤルを回して、画質を選択する	以下から選択できます。 SUPER FINE：最高画質 FINE：高画質 NORMAL：標準画質 EXTENDED：低画質（長時間録画）	低画質より高画質の方が画質は良くなりますが、録画可能時間が短くなります。 選択した画質を基に録画時間が自動計算され、SP/SP-Aの右に表示されます。
13 停止ボタンを押す	REC MODEにカーソルが戻ります。 REC MODE→ SP-394H	引き続き、タイマー録画中以外のアラーム録画に対する録画モードを設定してください。
14 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

録画レートが小さい値になるような設定をすると、アラーム画像または日時検索で検索結果が表示されるまで、数10秒かかることがあります。

アラーム録画時の録画モードを設定する

タイマー録画で録画しているとき以外の状態でアラームが発生したときの録画モードを設定します。

タイマー録画を行うときは、TIMER REC画面で設定したアラーム録画の録画モードで録画されます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1 ALM REC MODEにカーソルを合わせる	ALM REC MODE→ SF-180H REC RATE 15IPS REC QUALITY SUPER FINE	
2 ジョグダイヤルを押す	録画モードにカーソルが移動します。 ALM REC MODE→ SF-180H	

つづく

基本設定項目

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
3　REC MODEと同じ手順で各項目を設定する	**ALM REC MODE→　SF-180H** **REC RATE　15IPS** **REC QUALITY　SUPER FINE**	
4　停止ボタンを押す	ALM REC MODEにカーソルに戻ります。 **ALM REC MODE→　SF-180H**	関連設定項目 ・PRE ALM REC→32ページ ・POST ALM REC→33ページ
5　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム発生直前の画像の録画時間（PRE ALM REC）

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　PRE ALM RECにカーソルを合わせる	**PRE　ALM REC　0SEC**	お買い上げ時は0SEC（0秒）に設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	0SEC（録画しない）～5SEC（秒）まで1秒単位で選択できます。	
5　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

PRE ALARM RECの録画レートは以下のようになります。

・同時録再機能OFF時

カメラを1台のみ接続して録画する場合：最大30 IPS

カメラを複数台接続している場合：カメラ1台あたりの録画レートはおよそ「30÷接続カメラ数」

・同時録再機能ON時

カメラを1台のみ接続して録画する場合：最大15 IPS

カメラを複数台接続している場合：カメラ1台あたりの録画レートはおよそ「15÷接続カメラ数」

アラーム発生後の画像の録画時間（POST ALM REC）

アラーム発生後の画像を録画できます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　POST ALM RECにカーソルを合わせる	POST ALM REC　10SEC	お買い上げ時は10SEC（10秒）に設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	以下から選択できます。 5SEC（秒）、10SEC、20SEC、30SEC、1MIN（分）、1.5MIN、2MIN、3MIN、6MIN：選択した時間、アラーム録画時の画質で録画します。 MANUAL：センサーが動作している間（アラーム信号が入力されている間）、アラーム録画時の画質で録画します。 CONTINUE：アラーム復帰ボタンを押すまでアラーム録画時の画質で録画します。	時間を選択した場合、センサーが動作終了後、選択した時間が経過すると自動的にアラームが解除されます（アラーム自動復帰）。自動復帰すると、ALARMランプの点滅が点灯に変わります。 MANUALを選択した場合、最短録画時間は10秒です。
3　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム発生時の録画方法（DYNAMIC REC）

アラーム発生時、接続されているすべてのカメラの画像を録画するか、アラーム番号に該当するカメラの画像を録画するか選択します。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DYNAMIC RECにカーソルを合わせる	DYNAMIC REC　OFF	お買い上げ時はOFFに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して録画方法を選択する	OFF：接続されているすべてのカメラの画像を録画します。 ALM-MULTI：アラーム番号に対応したカメラの画像を録画します。	アラーム入力1～4は映像入力1～4に対応しています。
3　セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

基本設定項目

アラーム発生時の録画動作（TRIGGER ACTION SETUP⤵）

カメラごとに、アラーム発生時の動作を選択できます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TRIGGER ACTION SETUP ⤵にカーソルを合わせる	TRIGGER ACTION SETUP⤵	
2　ジョグダイヤルを押す	TRIGGER ACTION SETUP画面が表示されます。 TRIGGER ACTION SETUP CAM　MODE 1　REC&ALM 2　REC&ALM 3　REC&ALM 4　REC&ALM	お買い上げ時は、左図のように設定されています。 カメラ入力1から順番にアラーム入力1～4に対応しています。
3　変更したいカメラのMODE欄にカーソルを移動する	CAM　MODE 1　REC&ALM ：	
4　ジョグダイヤルを回して動作を選択する	以下から選択できます。 OFF：アラーム動作、アラーム録画は行いません。 REC&ALM：アラーム動作、アラーム録画を行います。 REC：録画のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。	アラーム動作→84～85ページ

5　手順3～4を繰り返して、他のカメラを設定する

6　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

マニュアル録画・連続録画で録画するカメラを選択する（CAM REC SETUP"↓）

マニュアル録画または連続録画で録画するカメラを選択します（タイマー録画中以外に発生したアラーム録画も含む）。

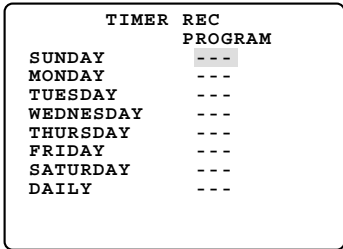
・アラーム発生時にのみ録画するカメラとすべての状態で録画するカメラとを、切り分けて設計されているシステムの場合にのみ設定してください。設定を誤ると必要なカメラ画像が録画されないことがありますので注意してください。
・多画面表示、動き自動検出、またはネットワークアクセスを行う場合で、できるだけなめらかな動きで録画したいときは、接続されているすべてのカメラをREC（お買い上げ時の状態）にすることをお勧めします。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　CAM REC SETUP"↓にカーソルを合わせる	CAM REC SETUP "↓	
2　ジョグダイヤルを押す	CAM REC SETUP画面が表示されます。 CAM REC SETUP CAM　MODE 1　REC 2　REC 3　REC 4　REC	
3　設定を変更したいカメラにカーソルを合わせる	CAM　MODE 1　REC	お買い上げ時は、すべてRECに設定されています。
4　ジョグダイヤルを回して録画するかしないかを選択する	以下から選択できます。 REC：アラームを含むすべての状態で録画します。 ALM-ONLY：アラーム発生時にのみ録画します。	
5　停止ボタンを押す	REC SETUP画面に戻ります。	
6　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

基本設定項目

タイマー録画を設定する（TIMER REC）

はじめにお読みください

1. 本機は4つまで録画スケジュールをプログラムすることができます。
   曜日ごとに、実行したいプログラム（PROG1～PROG4の中からひとつ）を割り当てます。
2. 1つのプログラムは1日に該当します。
   1つのプログラムは、1日を4つの時間帯に分けて、それぞれに異なる録画モードを設定できます。
   例えば、夜間、早朝、お客様の多い時間帯、お客様の少ない時間帯などに分けて、その時間帯に適した録画レートで録画するよう設定できます。
   アラーム録画の録画モードは時間帯ごとに異なる録画モードで録画するよう設定できます。
3. 毎日同じスケジュールでタイマー録画を行うこともできます。
   DAILYにのみプログラムを割り当てると、毎日同じスケジュールでタイマー録画を行うことができます。
   DAILYと特定の曜日にだけプログラムを割り当てると、プログラムを割り当てていない曜日はDAILYに割り当てられているプログラムでタイマー録画を行います。
4. タイマー録画を設定しても録画を停止している間（タイマー録画時刻外）は、マニュアル録画で録画できます。
   また、タイマー録画が停止しているときにアラームが発生すると、マニュアル録画に設定されているアラーム録画の録画モードで録画されます。

・DAILYにプログラムを割り当てないと、プログラムが割り当てられてない曜日はタイマー録画を行いません。
・すべての曜日にプログラムを割り当てると、DAILYに割り当てられているプログラムは無効になります。

プログラムを割り当てる

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIMERをINT↴に設定する	WJ-HD150 MAIN MENU TIMER　　INT ↴ REC SETUP ↴	マニュアル録画または連続録画→29～35ページ
2　ジョグダイヤルを押す	TIMER REC画面が表示されます。 TIMER REC PROGRAM SUNDAY --- MONDAY --- TUESDAY --- WEDNESDAY --- THURSDAY --- FRIDAY --- SATURDAY --- DAILY ---	
3　プログラムを割り当てる曜日にカーソルを移動する	SATURDAY --- DAILY ---	
4　ジョグダイヤルを回して、実行するプログラムを選択する	以下から選択できます。 PROG1↴～PROG4↴ ---：タイマー録画OFF	初めてお使いになる場合は、プログラムを作成してください。→次ページ

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

プログラムを作成する（PROG1～4 SETUP）

TIMER REC画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIMER REC画面を表示する		
2　プログラムを割り当てる曜日にカーソルを移動し、実行するプログラムを選択する	SATURDAY　--- DAILY　PROG1	DAILYにPROG1を割り当てる場合を例に説明します。
3　ジョグダイヤルを押す	PROG1 SETUP画面が表示されます。 PROG1 SETUP NO. START END MODE 1→ --:-- --:-- - 2→ --:-- --:-- - 3→ --:-- --:-- - 4→ --:-- --:-- -	NO.1から順番に設定してください。 同じプログラム内で、録画時間が重なるような設定はできません。また、時刻が早い順番に設定する必要があります。
4　タイマーを設定するイベント番号（1～4）にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	1→ --：-- --：-- -	
5　録画開始時刻（START）にカーソルが移動します	1→ --：-- --：-- -	
6　ジョグダイヤルを回して、開始時間を設定する	1→ 0：00 0：00 SET 0～23時まで選択できます。	タイマーを設定するときは、開始時刻を--以外に設定してください。
7　▲ボタンを押して、分にカーソルを移動する	1→ 10：00 10：00 SET 00～59分まで選択できます。	
8　手順5～6を繰り返して録画終了時刻を設定する	1→ 10：05 11：00 SET 0時00分～24時00分まで選択できます。	終了時刻（END）に、開始時刻より前の時間は設定できません。
9　ジョグダイヤルを押す	SETにカーソルが移動します。 1→ 10：00 18：30 SET	

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
10 プログラムを作成または変更するときは、ジョグダイヤルを押す	PROG1 NO.1 のSETUP画面が表示されます。 ```PROG1 NO.1 SETUP REC MODE→ SF-180H REC RATE 15FPS REC QUALITY SUPER FINE ALM REC MODE→ SF-180H REC RATE 15FPS REC QUALITY SUPER FINE PRE ALM REC 0SEC POST ALM REC 10SEC DYNAMIC REC OFF TRIGGER ACTION SETUP CAM REC SETUP```	PROG1 NO.1 SETUP画面の設定方法は、REC SETUP画面と同じです。→29〜35ページ
11 設定が完了したら停止ボタンを押す	PROG1 NO.1 SETUP画面に戻ります。	
12 停止ボタンを2回押す	TIMER REC画面に戻ります。	手順3〜12を繰り返して、他のNO.2〜NO.4を設定します。
13 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

- 24時間連続して録画する場合は、START 00：00　END 24：00と指定します。
- タイマー設定でSTARTとENDに同じ時間を設定するとタイマー録画は行いません。
- 曜日をまたがって録画する場合は、以下のように指定します（月曜日から火曜日にかけて連続して録画する場合）。
  月曜日：最終の録画終了時刻（END）に24：00を指定する。
  火曜日：最初の録画開始時刻（START）に00：00を指定する。
- タイマーが設定されているとタイマーランプが橙点灯します。
- タイマー録画中はタイマーランプが橙点滅します。

セットアップする（オプション）

本章では必要に応じてセットアップする項目を説明しています。

外部録画時の録画モードを設定する

この設定は、本機に外部スイッチを接続して、録画中の録画モードを変更したい場合にのみ設定してください。なお、外部スイッチで、録画を開始することはできません。

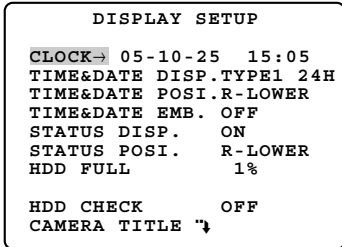
MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのEXT REC SETUPにカーソルを合わせる	**EXT REC SETUP**	
2　ジョグダイヤルを押す	EXT REC SETUP画面が表示されます。 EXT REC SETUP REC MODE→　SF-180H REC RATE　15IPS REC QUALITY　SUPER FINE	
3　外部録画時の録画モードを設定する	外部録画の録画モード（REC MODE, REC RATE, REC QUALITY）の設定方法は、REC SETUP画面と同じです。→29ページ	
4　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

外部録画で録画中にアラームが発生した場合、録画時のアラーム録画モードで録画されます。

オプション

モニター表示情報・各種ランプに関する設定（DISPLAY SETUP）

モニターに表示する情報と各種ランプの点灯の有無を設定します。

時計の設定方法→27ページ

時計の表示形式を設定する（TIME&DATE DISP.）

本機は、時計の表示（表示する／表示しない）、時計の表示形式（1行表示または2行表示）および、時刻の単位（12時間/24時間）を選択できます。

映像の録画時、合わせて時刻表示も録画するように設定している場合は、この設定で指定した形式で時計表示が録画されます（→次ページ）。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのDISPLAY SETUP にカーソルを合わせる	DISPLAY SETUP	
2　ジョグダイヤルを押す	DISPLAY SETUP画面が表示されます。 DISPLAY SETUP CLOCK→ 05-10-25 15:05 TIME&DATE DISP.TYPE1 24H TIME&DATE POSI.R-LOWER TIME&DATE EMB. OFF STATUS DISP. ON STATUS POSI. R-LOWER HDD FULL 1% HDD CHECK OFF CAMERA TITLE	
3　TIME&DATE DISP.にカーソルを合わせる	TIME&DATE DISP. TYPE1 24H	お買い上げ時は、TYPE1 24Hに設定されています。
4　ジョグダイヤルを回して、表示形式と時刻の単位を選択する	以下から選択できます。 **TYPE1 24H**：1行表示、24時間制 **TYPE1 12H**：1行表示、12時間制 **TYPE2 24H**：2行表示、24時間制 **TYPE2 12H**：2行表示、12時間制 **OFF**：表示しない	表示例 TYPE1 24H 05-10-25　19：00：00 TYPE2 12H 05-10-25 7：00：00P
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・TYPE1 12HまたはTYPE2 12Hを選択した場合、午前のときは「A」が、午後のときは「P」が時刻の後に表示されます。

・運用画面以外では24時間制で表示されます。

時計表示位置の選択（TIME&DATE POSI.）

動作状態やカメラの名前などのモニター表示項目と重ならないように表示位置を選択できます。映像の録画時、合わせて時計表示も録画するように設定している場合は、この設定で指定した位置に時計表示が録画されます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIME&DATE POSI.にカーソルを合わせる	**TIME&DATE POSI.R-LOWER**	お買い上げ時は、R-LOWERに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER：画面右下 L-LOWER：画面左下 R-UPPER：画面右上 L-UPPER：画面左上	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

時刻埋め込みのON/OFF（TIME&DATE EMB.）

録画時、時計表示も合わせて録画するかどうかを選択します。時計表示の形式と録画される位置は、それぞれTIME&DATE DISP.、TIME&DATE POSI.の設定に従います。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIME&DATE EMB.にカーソルを合わせる	**TIME&DATE EMB. OFF**	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、時刻埋め込みのON/OFFを選択する	以下から選択できます。 ON：時計表示も合わせて録画する OFF：時計表示は録画しない	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・時計表示も合わせて録画する設定にし、TIME&DATE DISP.でOFFを選択する場合、時計表示の形式はTYPE1 24Hとなります。

・時計表示も合わせて録画する設定にしている場合、1画面表示で再生すると再生時の時刻は表示されません（埋め込まれた時刻のみ表示します）。

セットアップする（オプション）

状態表示のON/OFF（STATUS DISP.）

画面表示ボタンを操作したとき、本機の状態をモニターに表示するかしないかを選択します。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　STATUS DISP.にカーソルを合わせせる	**STATUS DISP.　ON**	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、表示する/しないを選択する	以下から選択できます。 ON：表示する OFF：表示しない	画面表示 →22ページ
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスクの残容量は、DISK END MODEの設定がSTOPのとき、カメラ画像表示中にジョグダイヤルを回すと表示されます。

状態表示位置の選択（STATUS POSI.）

時計やカメラタイトルなどのモニター表示などと重ならないように表示位置を選択できます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　STATUS POSI.にカーソルを合わせる	**STATUS POSI.　R-LOWER**	お買い上げ時は、R-LOWERに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER：画面右下 L-LOWER：画面左下 R-UPPER：画面右上 L-UPPER：画面左上	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

HDDランプの橙色点滅条件の設定（HDD FULL）

ハードディスクの空き容量が設定した割合（%）以下になったとき、HDDランプが橙色に点滅してお知らせします。橙色に点滅する割合を設定します。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　HDD FULLにカーソルを合わせる	HDD FULL　1%	お買い上げ時は、1 %に設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、HDDランプが橙色に点滅する残容量を設定する	設定範囲 1%〜99%	設定した値以下になると橙色に点滅します。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

モニターに表示されるパーセントは残容量の比率です（ハードディスクの使用率ではありません）。モニターに表示される数値が小さくなると残容量が少なくなっていることを示していますので、ご注意ください。

HDDランプはDISK END MODEの設定がSTOPのときのみ橙色に点滅または点灯します。

本機は、ハードディスクの残容量が0 %になるとブザーが鳴るように設定されています。残容量が0 %になってもブザーをならさないように設定することもできます。→50ページ/145ページ

ハードディスク状態チェックのON/OFF（HDD CHECK）

本機には、自己管理報告機能（S.M.A.R.T.）付きのハードディスクが内蔵されています。HDD CHECKをONにすると、本機は毎日設定した時間にハードディスクの状態を確認し、交換が必要なときはエラーランプを点滅（黄色）してお知らせします。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　HDD CHECKにカーソルを合わせる	HDD CHECK　OFF	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して、状態をチェックする時刻を選択する	以下から選択できます。 OFF：状態をチェックしない 0：00〜23：00：状態をチェックする。チェックする時刻を選択する（時間単位）	分は指定できません。指定した時刻の0分にハードディスクに状態を問い合わせます。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスクのチェックには約1秒かかります。その間、録画（アラーム録画も含みます）は中断されます。

カメラに名前を付ける（CAMERA TITLE）

モニターに映している画像を識別しやすくするために、カメラごとに名前（カメラタイトル）を付けることができます。設定したカメラタイトルは、カメラごとに表示のON/OFFおよび表示位置を選択できます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備 考
1 CAMERA TITLEにカーソルを合わせる	CAMERA TITLE	
2 ジョグダイヤルを押す	CAMERA TITLE画面が表示されます。 CAMERA TITLE CAM TITLE POSI. 1 ON→ 1•••• R-LOWER 2 ON→ 2•••• R-LOWER 3 ON→ 3•••• R-UPPER 4 ON→ 4•••• R-UPPER	CAM欄の1～4は映像入力端子1～4に対応しています。
3 設定したいカメラの行にカーソルを合わせる	1 ON→ 1•••• R-LOWER	ここでは、1番のカメラの設定を例に説明します。
4 ジョグダイヤルを回して、カメラタイトルの表示ON/OFFを選択する	以下から選択できます。 **ON**：表示する **OFF**：表示しない	お買い上げ時は、全カメラ、ONに設定されています。OFFにすると、カメラタイトルは表示されません。
5 ジョグダイヤルを押す	名前入力エリアにカーソルが移動し、名前を編集できます。 1 ON→ 1•••• R-LOWER	
6 名前を編集する（5文字まで入力できます）	以下の操作で必要な文字を入力します。 **文字の選択**：ジョグダイヤルを回すと文字を選べます。 **移動**：▲ボタンで右移動、▼ボタンで左移動。 **削除**：空白で上書きしてください。	お買い上げ時は、各カメラが接続されている入力端子の番号が設定されています。 文字は以下の中から選べます。 0～9、A～Z、！、%、&、(、)、＊、－、/、：、.（ピリオド）、?、←、→、↑、↓、•（空白）
7 ▲ボタンを押してPOSI.欄にカーソルを合わせる	1 ON→ 1F••• R-LOWER	

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
8　ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER　：画面右下 L-LOWER　：画面左下 R-UPPER　：画面右上 L-UPPER　：画面左上	お買い上げ時は、以下のように設定されています。 1, 2番カメラ：R-LOWER 3, 4番カメラ：R-UPPER
9　手順3～8を繰り返して、他のカメラを設定する		
10 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

カメラタイトルを編集するときは、カメラタイトル表示をONにしてください（手順4）。
カメラタイトル編集中に停止ボタンを押すと、カメラタイトル表示ON/OFFの選択に戻ります。

システムの動作を変更する（SYSTEM SETUP）

本機の基本的な動作に関する設定を変更できます。

・ロック機能で使用するパスワードを設定する →82ページ
・ボタン操作時のブザー音ON/OFF（キーロック時のみ）
・アラーム履歴の改ページ数
・同時録再機能ON/OFF
・改ざんチェック機能のON/OFF
・上書き機能（ディスク・エンド・モード）のSTOP/CONTINUE
・ハードディスク容量をすべて使い切ったときのブザー音のON/OFF
・再生優先順位を変更する
・自動時刻補正を行う
・カードコピーロックで使用するパスワードを設定する
・解像度を変更する
・ハードディスクセーフティモードを使用する

ロック機能で使用するパスワードを設定する（PASSWORD LOCK）

パスワードには「ALL」と「OPERATION」の2種類があります。

ALL：管理者用のパスワードです。本機の設定と各種操作ができます。
OPERATION：オペレーター用のパスワードです。再生・録画操作はできますが、設定は変更できません。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1 SYSTEM SETUP にカーソルを合わせる	SYSTEM SETUP	
2 ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP（1/2）画面が表示されます。カーソルをDISK END BUZZに合わせ、▼ボタンを押すと、SYSTEM SETUP（2/2）を表示できます。	
3 PASSWORD LOCKにカーソルを合わせる	PASSWORD LOCK　OFF	
4 ジョグダイヤルを回して、パスワード保護する（ON）を選択する	PASSWORD LOCK　ON 以下から選択できます。 **OFF**：自動ロックしません。 **ON**：起動時および5分以上何も操作しない状態が継続したとき、自動的にロックします。	お買い上げ時は、OFFに設定されています。

```
SYSTEM SETUP    (1/2)

PASSWORD LOCK    OFF
  ALL→           *****
  OPERATION→     *****
KEYLOCK BUZZ     ON
SKIP ALM-RECALL   1PAGE
SIMUL REC&PLAY   ON
ALTER DETECT     OFF
DISK END MODE    CONTINUE
DISK END BUZZ    ON
```

```
SYSTEM SETUP    (2/2)

PLAY PRIORITY    LOCAL
TIME ADJUST SETUP

CARD COPY LOCK   OFF
 PASSWORD→       *****

RESOLUTION→      NORMAL→

HDD SAFETY MODE OFF
```


つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
5　管理者用パスワードを登録する場合、ALLにカーソルを合わせる オペレーター用パスワードを登録するときはOPERATIONにカーソルを合わせる	PASSWORD LOCK　ON ALL→　***** OPERATION→　*****	お買い上げ時、パスワードは12345に設定されています（ALL、OPERATION共通）。
6　ジョグダイヤルを押す	パスワード入力エリアにカーソルが移動します（設定されているパスワードが表示されます）。 PASSWORD LOCK　ON ALL→　12345 OPERATION→　*****	管理者用のパスワードを例に説明します。
7　ジョグダイヤルを回して、パスワードを入力する ジョグダイヤルを押すとカーソルを次のけたに移動できます	設定範囲：各けた0～9、5けた入力してください。 PASSWORD LOCK　ON ALL→　82345 OPERATION→　*****	カメラ選択ボタン1～4でパスワードを入力することもできます。
8　パスワードの入力を終了するときは停止ボタンを押す	ALLまたはOPERATIONにカーソルが戻ります。	
9　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

第3者による不正使用を防止するため、パスワード保護はONにしてください。また、お買い上げ時設定されているパスワードは必ず変更してください。変更後のパスワードは忘れないよう記録し保管してください。

手順6でパスワード入力エリアにカーソル移動すると、設定されているパスワードが表示されます。

オプション

セットアップする（オプション）

ボタン操作時のブザー音ON/OFF（KEYLOCK BUZZ）

ロック中にパスワードを入力しないで操作しようとすると、ブザーが鳴ります。ブザーを鳴らさないように設定できます。

SYSTEM SETUP（1/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　KEYLOCK BUZZにカーソルを合わせる	**KEYLOCK BUZZ　　　　　ON**	
2　ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する	以下から選択できます。 ON：ブザーを鳴らします。 OFF：ブザーを鳴らしません。	お買い上げ時は、ONに設定されています。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム履歴の改ページ数の選択（SKIP ALM-RECALL）

アラーム履歴を表示しているとき、ジョグダイヤルで改ページする枚数を選択します。

SYSTEM SETUP（1/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　SKIP ALM-RECALLにカーソルを合わせる	**SKIP ALM-RECALL　　1PAGE**	お買い上げ時は、1 PAGEに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して改ページ数を選択する	1、5、10、20、50PAGEから選択できます。	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

同時録再機能のON/OFF（SIMUL REC&PLAY）

録画と再生を同時に行いたい場合、ONにします。

OFFにすると、録画中に再生するには録画を停止する必要があります。再生中、ネットワーク再生中、またはFTP/HTTPによる画像取得中に録画を開始すると、再生またはFTP/HTTPによる画像取得が停止します。

- 同時録再機能をONにすると、最大録画レートが15 IPSに制限されます。既に15 IPSより大きい値が指定されているときは、自動的に15 IPSに変更されます（すべての録画に関する録画レートが変更されます）。ただし、ネットワークからアクセスしたり多画面表示に切り換えたりすると最大録画レートは7.5 IPSになります。
- 録画中に再生すると、現在録画中の時間に対して約7秒（15 IPS録画時）〜20分前（0.1 IPS録画時）に一時停止します。

SYSTEM SETUP（1/2）から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　SIMUL REC&PLAYにカーソルを合わせる	**SIMUL REC&PLAY　ON**	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回しON/OFFを選択する	ON（録画中再生可能）/OFF（録画中再生不可）から選択できます。	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

改ざんチェック機能のON/OFF（ALTER DETECT）

本機で録画した画像データをネットワーク経由で配信したり、カードへコピーする場合、画像が改ざんされていないかどうか確認するためのチェックコードを埋め込むことができます。

画像が改ざんされていないかどうか、確認が必要な場合は販売店にご相談ください。

SYSTEM SETUP（1/2）から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　ALTER DETECTにカーソルを合わせる	**ALTER DETECT　OFF**	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回しON/OFFを選択する	ON（チェック用コードを埋め込む）/OFF（しない）から選択できます。	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする（オプション）

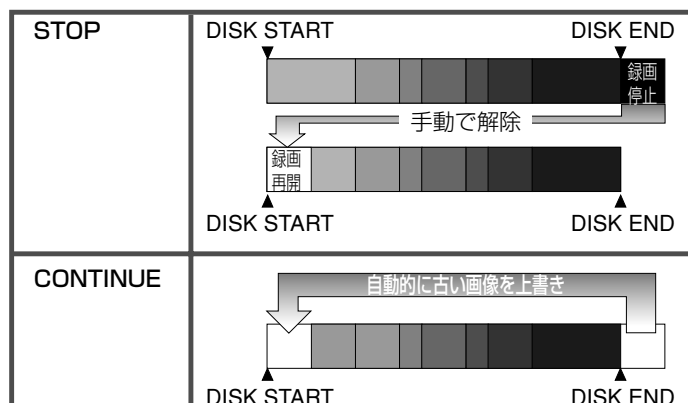
上書き機能のSTOP/CONTINUE（DISK END MODE）

ハードディスクの容量をすべて使い切ったとき、古い画像から順番に上書きして録画を継続するよう設定できます。

上書き機能は、つぎの2つから選択できます。お買い上げ時は、CONTINUEに設定されています。

STOP：ハードディスクを使い切ると、録画を停止します（ディスクエンドになります）。手動でディスクエンドを解除するまで録画できません。
→100ページ

CONTINUE：ハードディスクの残容量がなくなると古い画像から順に上書きして録画します。

SYSTEM SETUP（1/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DISK END MODEにカーソルを合わせる	**DISK END MODE　　CONTINUE**	お買い上げ時は、CONTINUEに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して上書き方法を選択する	**STOP**、**CONTINUE**から選択できます。	STOP選択時、ハードディスクの残容量はライブ画面でジョグダイヤルを回すと表示できます。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスク終了時のブザー音ON/OFF（DISK END BUZZ）

お買い上げ時、ハードディスクを使い切り、カメラ画像を録画できなくなるとブザーを鳴らすように設定されています。遠隔地に本機を置いて使用する場合などブザーを鳴らさないようすることができます。

SYSTEM SETUP（1/2）画面から説明します。

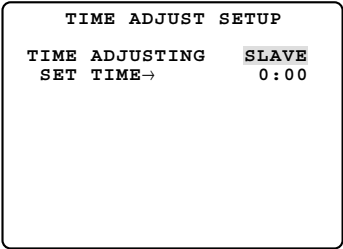
操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DISK END BUZZにカーソルを合わせる	**DISK END BUZZ　　ON**	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する	以下から選択できます。 **ON**：ブザーを鳴らします。 **OFF**：ブザーを鳴らしません。	ブザーはDISK END MODEの設定がSTOPのときのみ鳴ります。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

再生優先順位を変更する（PLAY PRIORITY）

本機は再生、画像の取得を同時にできません。お買い上げ時は、本機のボタン操作による再生を優先するように設定されています。優先されている方法で再生している間、他の方法で再生することはできません。

LOCAL：本機からの再生操作を優先
NET PLAY：ウェブブラウザーによる再生操作を優先する
FTP GET：専用ソフトウェア（WV-AS20）で本機に録画されている画像取得操作を優先する
NONE：優先順位は設定しません（後優先）。この場合、ウェブブラウザーで再生中に本体操作で再生操作を行うと、ウェブブラウザーへの画像の配信が中止されます。

SYSTEM SETUP（1/2）画面から説明します。

	操作手順	状態・設定範囲	備　考
1	DISK END BUZZにカーソルを合わせ、▼ボタンを押す	SYSTEM SETUP （2/2）が表示されます。	
2	PLAY PRIORITYにカーソルを合わせる	PLAY PRIORITY　LOCAL	お買い上げ時は、LOCALに設定されています。
3	ジョグダイヤルを回して再生優先順位を選択する	LOCAL、NET PLAY、FTP GET、NONEから選択できます。	上記参照
4	MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

時刻補正を行う（TIME ADJUST SETUP ▼）

この設定は、以下の場合に設定します。

・親時計や他の機器の時計で本機の時刻を補正するとき
・本機の時計で他の機器の時刻を補正するとき

SYSTEM SETUP（2/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　TIME ADJUST SETUP ▼にカーソルを合わせる	**TIME ADJUST SETUP ▼**	
2　ジョグダイヤルを押す	TIME ADJUST SETUP画面が表示されます。 TIME ADJUST SETUP TIME ADJUSTING　SLAVE SET TIME→　0:00	現在時刻が設定時刻に対して±15分の範囲にある場合に、時刻は補正できます。
3　TIME ADJUSTINGにカーソルを合わせる	**TIME ADJUSTING　SLAVE**	お買い上げ時は、SLAVEに設定されています。
4　ジョグダイヤルを回して主従関係を選択する	以下から選択できます。 SLAVE：他の機器で本機の時刻を補正します。 MASTER：本機で他の機器の時刻を補正します。	MASTERを選択したときだけ、手順5〜7を行ってください。
5　SET TIMEにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	**SET TIME→　0：00**	お買い上げ時は、0：00に設定されています。
6　ジョグダイヤルを回して補正時刻を選択する	0〜23時まで選択できます。	分は指定できません。
7　停止ボタンを押す	SET TIMEにカーソルが戻ります。	
8　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

カードコピーロックで使用するパスワードを設定する（CARD COPY LOCK）

外部メディアへ録画画像をコピーできないようにロックするためのパスワード（コピーパスワード）を設定します。
コピーパスワードはPASSWORD LOCKで設定するALL、OPERATIONのパスワードとは別に設定します。
また、本機前面パネルからのボタン操作禁止（ロック機能）に設定していても（→82ページ）、外部メディアへのコピー操作は行えます。

SYSTEM SETUP（2/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　CARD COPY LOCKにカーソルを合わせる	CARD COPY LOCK　OFF PASSWORD→　*****	
2　ジョグダイヤルを回して、ON／OFFを選択する	以下から選択できます。 ON：コピーロックをかけます。コピーを行うにはコピーパスワードの入力が必要です。 OFF：コピーロックをかけません。	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
3　手順2でONに設定した場合、PASSWORDにカーソルを合わせる	CARD COPY LOCK　ON PASSWORD→　*****	お買い上げ時、パスワードは12345に設定されています。
4　ジョグダイヤルを押す	パスワード入力エリアにカーソルが移動します（設定されているパスワードが表示されます）。 CARD COPY LOCK　ON PASSWORD→　12345	カーソル位置に、設定されている数字が表示されます。
5　ジョグダイヤルを回してパスワードを入力する ジョグダイヤルを押すとカーソルを次のけたに移動できます	設定範囲：各けた0～9、5けた入力してください。 CARD COPY LOCK　ON PASSWORD→　82345	カメラ選択ボタン1～4でパスワードを入力することもできます。
6　パスワードの入力を終了するときは停止ボタンを押す	PASSWORDにカーソルが戻ります。	
7　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

第3者による不正使用を防止するため、パスワード保護はONにしてください。また、お買い上げ時設定されているパスワードは必ず変更してください。変更後のパスワードは忘れないよう記録し保管してください。

解像度を変更する（RESOLUTION）

録画する画像の解像度を変更します。

・解像度を変更すると、それまで録画していたデータは削除されます。本機の使用を開始する前に変更することをお勧めします。
・解像度を変更した場合、MAIN MENU画面から通常画面に戻ると、自動的に再起動します。変更内容は、再起動後から有効になります。
・解像度を変更した場合、再度元の解像度に戻しても、削除されたデータは元に戻りません。

SYSTEM SETUP（2/2）画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　RESOLUTION→にカーソルを合わせる	**RESOLUTION→**　NORMAL→	お買い上げ時は、NORMALに設定されています。
2　ジョグダイヤルを押す	パスワードが入力できるようになります。 PASSWORD→　-----	
3　ジョグダイヤルを回して、管理者用（ALL）パスワードを入力する	正しいパスワードを入力すると、解像度選択に変わります。 PASSWORD→　***** ↓ RESOLUTION→　**NORMAL→**	カメラ選択ボタン1～4でパスワードを入力することもできます。
4　ジョグダイヤルを回して解像度を選択する	以下から選択できます。 NORMAL：標準解像度 SIF：低解像度	解像度を変更せずにジョグダイヤルを押すと、設定はキャンセルされ手順1の画面に戻ります。
5　ジョグダイヤルを押す	確認画面に変わります。 ERASE?　NO	
6　YESを選択しジョグダイヤルを押す	録画データを削除し設定を変更します。 終了後、手順1の画面に戻ります。	削除中はNOW ERASINGが表示されます（数秒間で終了します）。
7　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスクセーフティモードを使用する（HDD SAFETY MODE）

本機の電源を入れた状態で本機をラックに設置する場合、または、電源を入れた状態で本機を移動させる場合など衝撃によりハードディスクが故障しないように、ハードディスクが起動しないモードに変更することができます。

このモードを使用する場合は、設置工事について（→111ページ）をお読みください。

・ 通常運用で使用することはありません。
・ お買い上げ時はONに設定されています（セーフティモードで起動します）。

アラーム発生時の動作を設定する（ALARM SETUP）

本機にセンサーなどの外部機器を接続した場合、センサーが動作するとともに設定された録画モードで録画を開始します（マニュアル録画・連続録画時はREC SETUPのALM REC MODE、タイマー録画時はプログラムの各イベントごとに設定したALM REC MODEの録画モード）。録画を行う以外にアラーム動作を行うよう設定することができます（アラーム動作の詳細→84〜86ページ）。

・アラーム発生時のブザー音をON/OFFする
・カメラの故障またはケーブル切断を検出する
・アラーム発生時、モニターの画像を発生場所の画像に自動的に切り換える
・動き自動検知機能を使用する

アラーム発生時のブザー音ON/OFF（ALARM BUZZ）

お買い上げ時の設定では、アラームが発生するとブザーが鳴ります。ブザーを鳴らさないようにも設定できます。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのALARM SETUP にカーソルを合わせる	ALARM SETUP	
2　ジョグダイヤルを押す	ALARM SETUP画面が表示されます。 ALARM SETUP ALARM BUZZ　ON VIDEO LOSS　ON MONITOR MODE MULTI OUT　SPOT SPOT OUT　SPOT VMD SETUP	
3　ALARM BUZZにカーソルを合わせる	ALARM BUZZ　ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
4　ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する	以下から選択できます。 **ON**：ブザーを鳴らします。 **OFF**：ブザーを鳴らしません。	
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

オプション

カメラ故障・ケーブル断線検出機能のON/OFF（VIDEO LOSS）

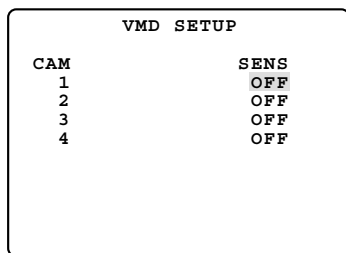
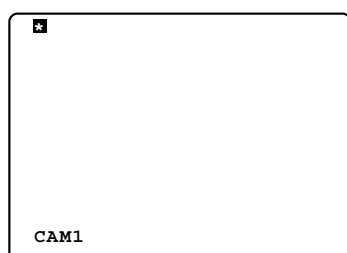
カメラの故障、またはケーブルが断線したなどの原因でカメラからの画像が途切れたとき、アラーム動作を行います。

ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　VIDEO LOSSにカーソルを合わせる	**VIDEO LOSS　ON**	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して検出する/しないを選択する	以下から選択できます。 ON：検出する OFF：検出しない	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

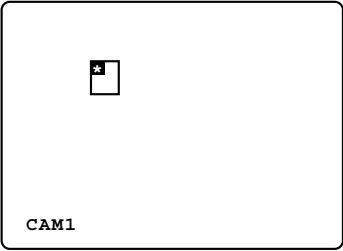
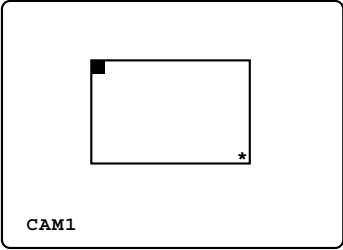
アラーム発生時の画像の表示方法（MONITOR MODE）

アラームが発生すると、アラーム発生画像に切り換え、1画面で表示するように設定されています。アラームが発生してもアラーム発生画像に切り換えたくないときはOFFにします。多画面モニターとスポットモニターそれぞれに設定できます。

・アラーム1～4は、カメラ1～4の順に対応しています。アラーム入力ごとに対応しているカメラの画像を録画する/しないは、使用する録画モード設定画面のTRIGGER ACTION SETUP画面で設定できます。
・VIDEO LOSSは録画しません。

ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MULTI OUTまたはSPOT OUTにカーソルを合わせる	**MONITOR MODE** **MULTI OUT　SPOT** **SPOT OUT　SPOT**	MULTI OUT：多画面モニターの設定 SPOT OUT：スポットモニターの設定 お買い上げ時は、どちらもSPOTに設定されています。
2　ジョグダイヤルを回して表示方法を選択する	以下から選択できます。 SPOT：アラーム発生画像をスポット表示します。 OFF：現在表示されている画像を表示し続けます。	
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

動き自動検出機能の設定（VMD SETUP）

監視映像の動きを自動的に検出し、アラーム録画を行うことができます。画面中で輝度の変化を検出することによって、動きを検出します（VMD：Video Motion Detector）。VMD SETUPで、カメラごとに動きを検出するエリアを設定できます。

ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　VMD SETUPにカーソルを合わせる	VMD SETUP	
2　ジョグダイヤルを押す	VMD SETUP画面が表示されます。 VMD SETUP CAM　SENS 1　OFF 2　OFF 3　OFF 4　OFF	お買い上げ時はOFFに設定されています。
3　VMDを設定するカメラにカーソルを移動する	CAM　SENS 1　OFF	
4　ジョグダイヤルを回して感度を選択する	以下から選択できます。 OFF　：VMDは使用しません。 LOW　：弱 MID　：中 HIGH　：強	LOW/MID/HIGHを選択すると、選択したカメラの画像に対してVMDがONになります。 OFFを選択した場合、手順12にお進みください。
5　ジョグダイヤルを押す	エリア設定画面が表示されます。 ＊ CAM1	カーソルは＊で表示されます。 背景に選択したカメラの画像が表示されています。エリア設定画面を表示すると、実行中のシーケンスは中断されます。

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
6　カーソルを設定したいエリアの左上に移動する	ジョグダイヤルを回すと左右に移動します。 ▲ボタンまたは▼ボタンで上下に移動します。 	エリア設定中、設定したエリア内で輝度の変化を検出すると「ピピッ」と音がなります。（ALARM BUZZ ON設定のときのみ→55ページ） 画面に表示されるエリアは、検出範囲の目安です。設定時は、「ピピッ」という音を確認しながら設定してください。
7　ジョグダイヤルを押す	開始位置が設定されます。	
8　カーソルを設定したいエリアの右下に移動する		
9　ジョグダイヤルを押す	エリアが設定されます。設定されたエリアは四角の枠で表示されます。	エリアを削除するときは、削除したいエリアの左上にカーソルを移動し、ジョグダイヤルを押してください。
10　同じカメラに複数のエリアを設定するときは手順6〜9を繰り返す		カメラ1台につき4エリアまで設定できます。
12　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

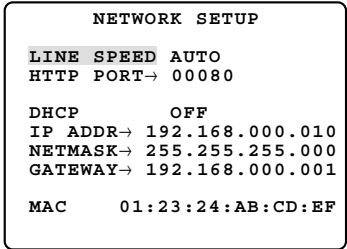
・本機のVMD機能は、輝度の変化によって動きを検出しています。このため、設定したエリア内で動きがあっても、輝度の変化が少ない場合、動きを検出できないことがあります。

・コンビネーションカメラ等の回転台付カメラを接続したチャンネルに対して、VMDは使用しないでください（OFFにしてください）。VMDを使用するとカメラが旋回するたびにアラーム録画が行われます。

・時刻埋め込み（TIME&DATE EMB.）をONに設定している場合、時刻表示エリア付近は輝度の変化を検知しません。時刻表示エリア付近の動きを検出したい場合は、TIME&DATE EMB.をOFFに設定してください。→41ページ

ネットワークの設定（NETWORK SETUP）

本機をLANなどのネットワークに接続し、ネットワークに接続されたPCで本機を操作するとき、ネットワークのアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を設定する必要があります。DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーまたはDHCPサーバー機能付きのルーターをご使用の場合、ネットワーク接続に必要なアドレスをDHCPから自動取得できます。

- アドレスを手入力する場合、接続するネットワークのルールに合わせて設定する必要があります。本機に設定されたアドレスがネットワークのルールに一致していない場合、PCから本機を操作することはできません。
- ネットワークから操作を行うと、最大録画レートは7.5 IPS～30 IPSの間で変動します。
- ネットワークの設定を変更した場合、SETUP MENU画面から通常画面に戻ると、自動的に再起動されます。変更内容は、再起動後から有効になります。

IP（Internet Protocol）アドレス：インターネットや構内LANなどのIPネットワークに接続されたコンピューター1台1台に割り振られた識別番号のことです。ネットワーク内の住所にあたります。本機はピリオドで4つに区切られた0～255の数字で表します。

サブネットマスク：通常、ネットワークの規模が大きくなると、複数の小さなネットワーク（サブネット）に分割して管理します。サブネットマスクで、IPアドレスのうち、何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義します。IPアドレスと同様にピリオドで4つに区切られた0～255の数字で表します。

ゲートウェイ：ネットワーク上で、異なる機種間で通信を可能とするための機器（例：ルーター）のことです。

通信速度を選択する（LINE SPEED）

本機は自動で通信速度を認識することができます。必要に応じて、通信速度を自分で選択することもできます。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのNETWORK SETUP⤵にカーソルを合わせる	**NETWORK SETUP ⤵**	
2　ジョグダイヤルを押す	NETWORK SETUP画面が表示されます。 NETWORK SETUP LINE SPEED AUTO HTTP PORT→ 00080 DHCP OFF IP ADDR→ 192.168.000.010 NETMASK→ 255.255.255.000 GATEWAY→ 192.168.000.001 MAC 01:23:24:AB:CD:EF	
3　LINE SPEEDにカーソルを合わせる	**LINE SPEED AUTO**	

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
4　ジョグダイヤルを回して通信速度を選択する	以下から選択できます。 AUTO　：自動認識 100M_FULL：100 Mbps全二重 100M_HALF：100 Mbps半二重 10M_FULL　：10 Mbps全二重 10M_HALF　：10 Mbps半二重	
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

HTTPポート番号を設定する（HTTP PORT）

本機が画像を配信するときに使用するHTTPポート番号を設定します。通常変更する必要はありません。変更が必要な場合はネットワーク管理者に利用可能なHTTPポートの番号を確認してください。

NETWORK SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　HTTP PORTにカーソルを合わせる	HTTP PORT→ 00080	
2　ジョグダイヤルを押す	ポート番号の先頭にカーソルが移動します。 HTTP PORT→ 00080	ジョグダイヤルを回して数字を選択します。ジョグダイヤルを押すと、次のけたに移動します。
3　停止ボタンを押す	HTTP PORTにカーソルが戻ります。	
4　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得する場合（DHCP）

IPアドレス（IP ADDR）、サブネットマスク（NETMASK）、ゲートウェイアドレス（GATEWAY）をDHCPサーバーから取得する場合の設定方法について説明します。

IPアドレスを手入力で設定する場合は、次ページをお読みください。

NETWORK SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DHCPにカーソルを合わせる	**DHCP　　OFF** **IP ADDR→ 192.168.000.010** **NETMASK→ 255.255.255.000** **GATEWAY→ 192.168.000.001**	各アドレスには、現在設定されているアドレスが表示されます（左記設定はお買い上げ時のアドレス）。
2　ジョグダイヤルを回し、ONを選択する	**DHCP　　ON** **IP ADDR→ ---.---.---.---** **NETMASK→ ---.---.---.---** **GATEWAY→ ---.---.---.---**	お買い上げ時はOFFに設定されています。 ONにする場合、DHCPサーバーまたはDHCPサーバー機能付きルーターが必要です。
3　停止ボタンを押してSETUP MENU画面に戻った後、SETUP MENU画面が消えるまで停止ボタンを押し続ける	自動的に再起動されます。	再起動後、IPアドレスが取得されるまで、GETTING IP ADDRESSが表示されます。数分経過しても消えないときはDHCPサーバーが使用可能な環境か確認してください。
4　NETWORK SETUP画面を表示し、IPアドレスを確認する	DHCPサーバーから取得したアドレスが表示されます。 **DHCP　　ON** **IP ADDR→ 192.168.000.010** **NETMASK→ 255.255.255.000** **GATEWAY→ 192.168.000.001**	IPアドレス（IP ADDR）は、PCから本機にアクセスする際に必要となります。必要に応じて利用者にお知らせください。 取得中の場合、---が表示されます。
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

DHCPをONに設定後、手動でIPアドレスを設定するときは、DHCPをOFFに設定し再起動するまで、IPアドレスは変更できません。

IPアドレスを直接入力する

IPアドレス（IP ADDR）、サブネットマスク（NETMASK）、ゲートウェイアドレス（GATEWAY）を直接入力で設定する方法について説明します。設定を始める前に、以下の項目をネットワーク管理者にお問い合わせください。

・IPアドレス（IP ADDR）
・サブネットマスク（NETMASK）
・ゲートウェイアドレス（GATEWAY）

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DHCPがOFFに設定されていることを確認する	**DHCP　　OFF** **IP ADDR→ 192.168.000.010** **NETMASK→ 255.255.255.000** **GATEWAY→ 192.168.000.001**	お買い上げ時はOFFに設定されています。 DHCPがONに設定されているときは、OFFに設定後、セットアップを終了し、再起動してください。
2　IP ADDRにカーソルを合わせる	**IP ADDR→ 192.168.000.010**	
3　ジョグダイヤルを押す	アドレスを入力できます。 **IP ADDR→ 010.050.100.210**	数字選択：ジョグダイヤルを回す。 カーソル移動：ジョグダイヤルを押す（▼，▲ボタンで任意の桁を変更することもできます）。
4　すべてのけたを入力したら、停止ボタンを押す	IP ADDRにカーソルが戻ります。	IPアドレス（IP ADDR）は、PCから本機にアクセスする際に必要となります。必要に応じて利用者にお知らせください。
5　手順2～手順4と同様の操作でNETMASK、GATEWAYを設定する	**IP ADDR→ 010.050.100.210** **NETMASK→ 255.255.255.000** **GATEWAY→ 010.050.100.001**	
6　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

画面操作の設定（SWITCHER SETUP）

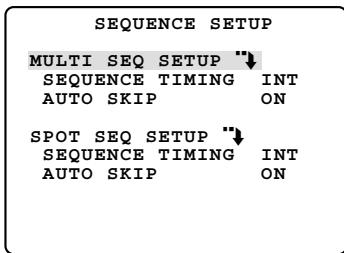
以下の項目を設定できます。

・電源を入れたとき、または、セットアップを終了したとき、多画面モニター／スポットモニターに表示するそれぞれの画像
・シーケンスボタンで画像を切り換えるときの、切り換え順序と切り換え時間
・特定のカメラ画像を表示しないようにする
・シークレットビューの設定

・スポットモニターはカメラの画像表示専用です。画面を分割表示することはできません。

モニターの初期画面（START DISPLAY）

電源投入時など、最初に表示する画像を選択できます。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MAIN MENUのSWITCHER SETUP にカーソルを合わせる	SWITCHER SETUP	
2　ジョグダイヤルを押す	SWITCHER SETUP画面が表示されます。 SWITCHER SETUP START DISPLAY MULTI OUT　QUAD SPOT OUT　CAM1 SEQUENCE SETUP CAMERA VIEW SETUP SECRET VIEW　OFF	
3　MULTI OUTまたはSPOT OUTにカーソルを合わせる	MULTI OUT　QUAD SPOT OUT　CAM1	お買い上げ時は、以下に設定されています。 MULTI OUT　：QUAD SPOT OUT　：CAM1
4　ジョグダイヤルを回して表示方法を選択する	以下から選択できます。カメラが接続されていないチャンネルは黒画で表示されます。 **CAMn**：選択したカメラの画像を1画で表示します（nはカメラ番号）。 **SPOT SEQ**：SPOT SEQ SETUP画面（→65～66ページ）で設定した順番にカメラを切り換えて表示します（SPOT OUTのみ）。 **QUAD**：CAM1～CAM4のカメラを4画で表示します（MULTI OUTのみ）。 **MULTI SEQ**：MULTI SEQ SETUP画面（→65～66ページ）で設定した順番にカメラを切り換えて表示します（MULTI OUTのみ）。	
5　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

画像自動切り換えの設定（SEQUENCE SETUP⤵）

シーケンスボタンを押したときの画像切り換え順序を設定します。多画面モニター／スポットモニターの画像を別々に切り換えることができます。また、画像切り換え順序、切り換え間隔、オートスキップON/OFFはモニターごとに設定できます。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　SEQUENCE SETUP⤵にカーソルを合わせる	SEQUENCE SETUP ⤵	
2　ジョグダイヤルを押す	SEQUENCE SETUP画面が表示されます。 SEQUENCE SETUP MULTI SEQ SETUP ⤵ SEQUENCE TIMING　INT AUTO SKIP　ON SPOT SEQ SETUP ⤵ SEQUENCE TIMING　INT AUTO SKIP　ON	
3　設定したいシーケンスにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	**MULTI SEQ SETUP ⤵**：MULTI SEQ SETUP画面を表示します。多画面モニターでシーケンスを実行するときの切り換え順序、切り換え間隔を設定できます。 **SPOT SEQ SETUP ⤵**：SPOT SEQ SETUP画面を表示します。スポットモニターでシーケンスを実行するときの切り換え順序、切り換え間隔を設定できます。 詳しくは次ページをお読みください。	
4　SEQUENCE TIMINGにカーソルを合わせる	SEQUENCE TIMING　INT	MULTI/SPOT両方同じ手順で選択できます。 お買い上げ時は、INTに設定されています。
5　ジョグダイヤルを回して画像の切り換え方法を選択する	以下から選択できます。 **INT**：MULTIまたはSPOT SEQ SETUP画面で設定した時間で画像を切り換えます。 **EXT**：外部機器からの信号で画像を切り換えます。	EXTは、シーケンス信号を出力する外部機器が本機に接続されている場合にのみ使用できます。

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
6　AUTO SKIPにカーソルを合わせる	**AUTO SKIP　　　ON**	MULTI/SPOT両方同じ手順で選択できます。 お買い上げ時は、ONに設定されています。
7　ジョグダイヤルを回して画像の切り換え方法を選択する	以下から選択できます。 ON：画像の自動切り換え中、カメラが接続されていないチャンネルは表示しません。 OFF：画像の自動切り換え中、 カメラが接続されていないチャンネルは黒画で表示します。	
8　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・画像自動切り換え順序・切り換え間隔（MULTI SEQ SETUP⇣/SPOT SEQ SETUP⇣）

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　MULTI SEQ SETUP⇣またはSPOT SEQ SETUP⇣にカーソルを合わせる	**MULTI SEQ SETUP ⇣** ： **SPOT SEQ SETUP ⇣**	
2　ジョグダイヤルを押す	MULTI SEQ SETUP画面またはSPOT SEQ SETUP画面が表示されます。	左図は、MULTI SEQ SETUP⇣を選択した場合です。 お買い上げ時は、左図のように設定されています。 STEP1から順番にCAMに設定されたカメラの画像が、SECに指定された時間、モニターに表示されます。

```
      MULTI SEQ SETUP

STEP        CAM        SEC
 1 →         1          2S
 2 →         2          2S
 3 →         3          2S
 4 →         4          2S
```

```
      SPOT SEQ SETUP

STEP        CAM        SEC
 1 →         1          2S
 2 →         2          2S
 3 →         3          2S
 4 →         4          2S
```

続き

操作手順	状態・設定範囲	備　考
3　変更したいステップ（STEP欄）にカーソルを移動する	STEP　CAM　SEC 1 →　1　2S ⋮	
4　ジョグダイヤルを押す	CAM欄にカーソルが移動し、選択したステップを修正できるようになります。 STEP　CAM　SEC 1 →　1　2S ⋮	
5　ジョグダイヤルを回してそのステップで表示するカメラを選択する	以下から選択できます。 **1〜4**：選択したカメラの画像を1画で表示します。 **QUAD**：CAM1〜CAM4のカメラ画像を4画で表示します。 **ー**：ステップを無効にします。または次のステップにスキップします。	「ー」を選択すると、そのステップは実行されずに、次のステップに移ります。 SPOT SEQ SETUPは、CAM1〜CAM4、ーの選択のみとなります。
6　ジョグダイヤルを押す	SEC欄にカーソルが移動します。 STEP　CAM　SEC 1 →　2　2S	
7　ジョグダイヤルを回して表示時間を選択する	以下から選択できます。 **2〜30S**：表示時間を秒単位で選択できます。	
8　停止ボタンを押す	STEP欄にカーソルが戻ります。	

9　手順3〜8を繰り返して、必要なステップを修正する

10　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

特定のカメラの画像を表示しないようにする（CAMERA VIEW SETUP"↓）

カメラの画像をスポットモニターおよび多画面モニターに表示しないよう設定することができます。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　CAMERA VIEW SETUP"↓にカーソルを合わせる	CAMERA VIEW SETUP "↓	
2　ジョグダイヤルを押す	CAMERA VIEW SETUP画面が表示されます。	
3　設定を変更するカメラを選択する	CAM　MODE 1　ON ⋮	お買い上げ時はONに設定されています。
4　ジョグダイヤルを回して表示する、または表示しないを選択する	以下から選択できます。 ON：カメラ画像を表示します。 OFF：カメラ画像を表示しません。	OFFを選択したカメラは黒画で表示されます。OFFにしても録画時はカメラ画像が録画されます。
5　手順3～4を繰り返して、他のカメラを設定する		
6　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

シークレットビューの設定（SECRET VIEW）

シークレットビュー機能は、多画面モニターで1画面表示しているカメラ映像をスポットモニターに表示しない（黒画表示する）機能です。

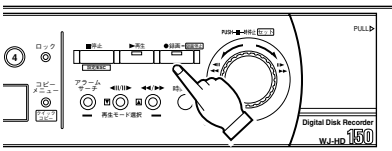
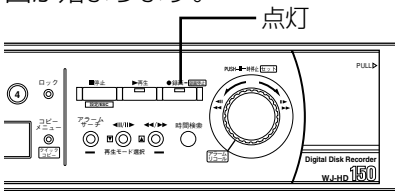
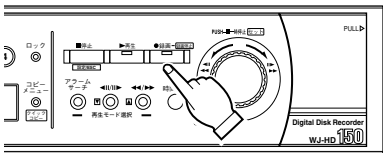
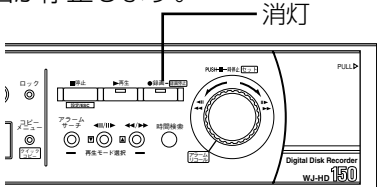
SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　SECRET VIEWにカーソルを合わせる	SECRET VIEW　OFF	
2　ジョグダイヤルを回してシークレットビュー機能を使用する/しないを選択する	以下から選択できます。 ON：シークレットビュー機能を使用する OFF：シークレットビュー機能を使用しない	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
3　MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

操作編

ここでは、本機前面のボタンで操作する方法について説明します。本機をネットワークに接続し、PCのウェブブラウザーで本機を操作するときは、HTML操作編をお読みください。

録画する

本機は、設定画面の設定にしたがって自動録画を行います。必要に応じ、録画ボタンを押して手動で録画することができます。

操作手順	状　態	備　考
1　録画ボタンを押す	録画ボタンのランプが点灯し、録画が始まります。	
2　録画を終了するときは、録画ボタンを約2秒押す	録画ボタンのランプが消灯し、録画が停止します。	

同時録画再生機能をOFFに設定している場合、再生中に録画すると、再生を停止し録画を開始します。

録画時の画質を変更する：REC SETUP画面で変更できます。→29～35ページ

電源を入れたとき、自動的に録画を開始する（連続録画）：MAIN MENU画面－TIMERをEXTに設定してください。→28ページ

タイマー録画を行う：MAIN MENU画面－TIMERをINTに設定し、録画開始曜日・時刻を設定してください。→36～38ページ

アラーム発生時に録画を開始する：REC SETUP画面で設定してください。→31～35ページ

動きを検出したら録画を開始する：ALARM SETUP画面－VMD SETUPを設定してください。→57ページ

カメラ選択ボタンについて：カメラ選択ボタン1～4のランプの色で録画状態とモニター表示状態を確認できます。

ランプの色	モニター表示	録画の有無
緑	表示中	未録画
青	表示中	録画中
橙	非表示	録画中
消灯	非表示	未録画

操作

再生する

ここでは、再生の方法について説明します。再生のしかたには、以下の2つの方法があります。

・再生ボタンを押して、再生する（通常再生）

・見たい画像を検索してから再生する（検索再生）

・同時録画再生機能をONにしている場合

同時録画再生機能をONにすると、録画中に再生できます。ただし、再生している画像が録画によって上書きされたとき一時停止状態になります。また、最大録画レートが15 IPSに制限されます。

・同時録画再生機能をOFFにしている場合

録画中は再生できません。いったん録画を停止してから再生してください。

・再生画像は、多画面モニターにのみ表示できます。

・録画レートが設定値から変動しているときは、画面上に「＊」が表示されます。

・再生を行うと自動的に多画面モニターの選択に切り換わります。

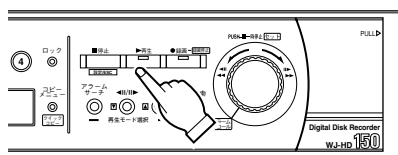
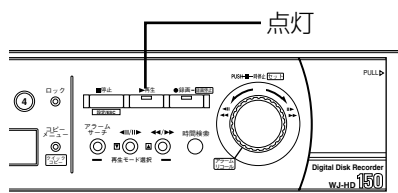
・外部メディアにコピーした画像を再生することはできません。外部メディアへのコピーについては87ページをお読みください。

・外部メディアにコピー中は再生できません。

再生中、画面の表示方法を選択できます。

・カメラ選択ボタンで、任意のチャンネルを1画面で表示できます。→76ページ

・多画面選択ボタンで画面の分割数を4画（1～4チャンネル）に切り換えて表示できます。→77ページ

・画像を拡大して表示できます（1画面表示の時のみ）。→77ページ

操作

通常再生

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　再生ボタンを押す 	再生ボタンのランプが点灯します。 	再生画像が表示されます。 多画面選択ボタンを押すと、4画面に切り換わります。 カメラ選択ボタン1～4を押して、選択したカメラの再生画像を1画面で表示できます。
2　停止ボタンを押す	再生ボタンのランプが消灯し、停止します。	ライブ画像が表示されます。

・逆再生中にジョグダイヤルを2秒押し続けると、録画画像の先頭に移動できます（頭出し）。

・再生中にジョグダイヤルを2秒以上押し続けると、最新の録画画像へ移動できます。

・電源を入れた直後に再生すると、最新の録画画像を再生します。

再生する

検索再生

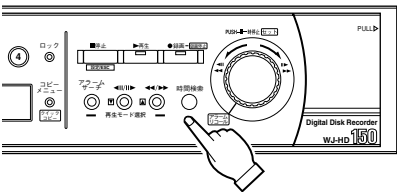
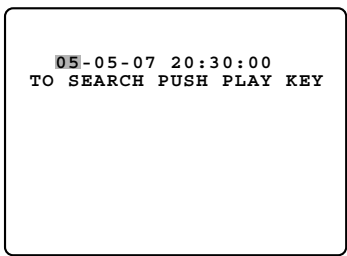
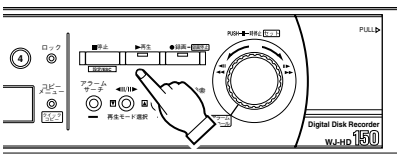
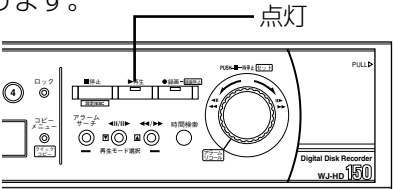
見たい画像を検索してから再生することができます。検索のしかたには、次の3つの方法があります。

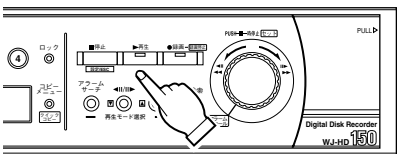
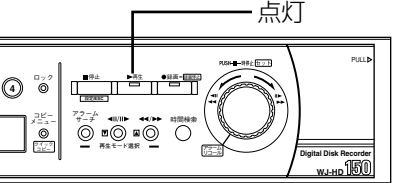
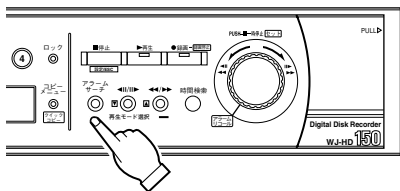
・日時で検索して再生する

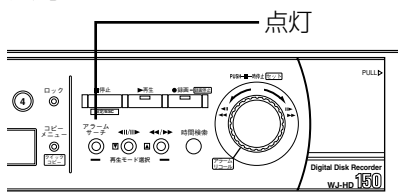
・アラーム画像のみ検索して再生する

・アラーム履歴から検索して再生する

・同時録画再生機能をOFFにしている場合、録画中に本機能は使用できません。いったん録画を停止するか、同時録画再生機能をONにしてから使用してください。（→49ページ）

日時で検索して再生する

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　時間検索ボタンを押す 		時間検索画面が表示されます。 05-05-07 20:30:00 TO SEARCH PUSH PLAY KEY
2　日時を入力する	日時は、ジョグダイヤルを回して選択します。 カーソルは▲ボタンまたは▼ボタンで移動します。	検索を中止するときは、時間検索ボタンを押してください。
3　再生ボタンを押す 	検索が始まり、再生ボタンのランプが点滅します。再生が始まると再生ボタンのランプは点灯に変わります。 	検索中は、「NOW SEARCHING」メッセージが表示されます。検索後、入力した日時に最も近い画像が再生されます。

アラーム画像のみ検索して再生する（再生中のみ操作可能）

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　再生ボタンを押す	再生ボタンのランプが点灯します。 	再生画像が表示されます。 多画面選択ボタンを押すと、4画面に切り換わります。 カメラ選択ボタン1～4を押して、選択したカメラの再生画像を1画面で表示できます。

操作

2　アラームサーチボタンを押す

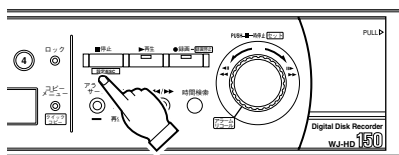
アラームサーチボタンのランプが点灯します。

3　ジョグダイヤルを回す

左に回すと現在再生している画像から前に発生したアラーム画像を検索します。

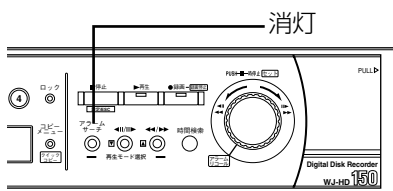
右に回すと現在再生している画像から後に発生したアラーム画像を検索します。

一番近いアラーム画像の先頭に移動し、一時停止します。

画像が静止画で表示されます。

4　アラームサーチを終了するときは停止ボタンを押す

アラームサーチボタンのランプが消灯します。

ライブ映像が表示されます。

操作

アラーム履歴から検索して再生する（ALARM RECALL）

アラーム履歴画面を表示し、アラーム発生日時から再生する画像を選択することができます。

アラーム履歴画面について

アラーム履歴（ALARM RECALL）画面は、ライブ映像表示中や再生一時停止中にジョグダイヤルを約2秒押し続けると表示できます。

```
   ALARM RECALL  YEAR05
 NO.  DATE  TIME    ALM
 2000 06-14 20:30:00 T1
 1999 06-14 15:30:12 T3
 1998 06-14 12:15:04 T4
 1997 06-14 12:15:02 V2
 1996 06-14 10:07:05 V2
 1995 06-14 10:07:04 T2
 1994 06-14 10:06:55 T1
 1993 06-14 09:58:32 V4
(TOTAL  2000EVENTS)
 TO SEARCH PUSH T&D KEY
```

YEAR　：カーソル位置のアラーム発生日時の年が表示されます。

NO.　：通し番号です。9 999件を超えると古い履歴から消去されます（消去された履歴は、検索・再生できません）。

DATE TIME　：アラーム発生日時が表示されます。

ALM　：アラームの種類が表示されます。

T　：アラーム/リモート端子にアラームが入力されました。数字はアラーム入力の番号です。

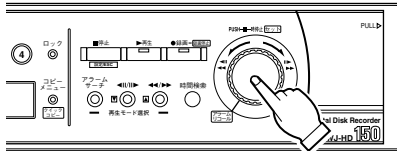
V　：動き検出機能が動きを検出しました。数字は、カメラが接続されている映像入力端子の番号です。

カメラ選択ボタン（1～4）を押すと、押した番号に対応するアラームのみ表示できます。多画面選択ボタンを押すと一覧表示に戻ります。ディスクエンド時（→100ページ）に、発生したアラームは履歴に記録されません。

再生する

操作方法

操作手順	状　態	多画面モニターの状態

1　ALARM RECALL（アラーム履歴）画面が表示されるまで、ジョグダイヤルを押し続ける（約2秒）

ALARM RECALL画面が表示されます。検索を中止するときは、再度ジョグダイヤルを押し続けてください（約2秒）。

```
     ALARM RECALL  YEAR05
 NO.  DATE   TIME     ALM
 2000 06-14 20:30:00  T1
 1999 06-14 15:30:12  T3
 1998 06-14 12:15:04  T4
 1997 06-14 12:15:02  V2
 1996 06-14 10:07:05  V2
 1995 06-14 10:07:04  T2
 1994 06-14 10:06:55  T1
 1993 06-14 09:58:32  V4
(TOTAL   2000EVENTS)
 TO SEARCH PUSH T&D KEY
```

2　履歴から再生したいアラーム発生日時を選択する

・カーソルを一番下（または上）に移動後、下ボタン（または上ボタン）を押すと次ページ（または前ページ）に移動します。

・カメラ選択ボタンと、アラームの種類に表示される番号が対応しています。カメラ選択ボタンで絞り込みたい番号を押して、画面に表示する履歴を絞り込むことができます。

・ジョグダイヤルを回すと、改ページできます。改ページ数は、設定によって異なります（アラーム履歴の改ページ数の選択→48ページ）

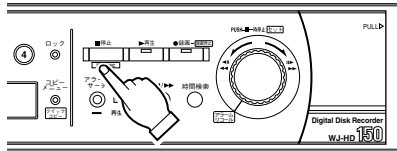
・アラーム履歴を日時で検索して、指定した日時に最も近い行にカーソルを移動できます。

（1）時間検索ボタンを押し、日時を指定する。

（2）再生ボタンを押す。

指定した日時に最も近い履歴にカーソルが移動します。

```
 1997 06-14 12:15:02  T2
 1996 06-14 10:07:05  T2
 1995 06-14 10:07:04  T2
 1994 06-14 10:06:55  T1
 1993 06-14 09:58:32  T4
(TOTAL   2000EVENTS)
SEARCH→03-06-10 23:58
```

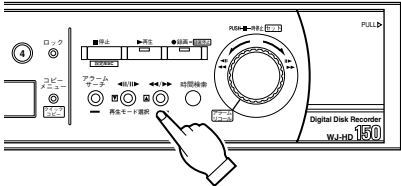
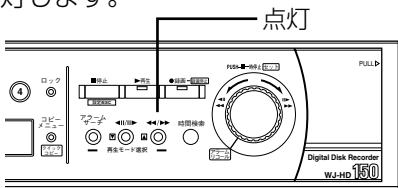
3　再生ボタンを押す

検索中は、「NOW SEARCHING」メッセージが表示されます。

モニターの表示（1画）は、DYNAMIC RECの設定（OFF/ALM-MULTI）によって異なります。

検索を中止するときは、停止ボタンを押してください。

こんなこともできます

改ページ枚数は：SYSTEM SETUP画面のSKIP ALM-RECALLで選択できます。→48ページ

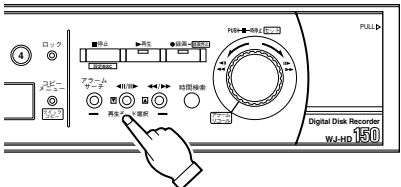
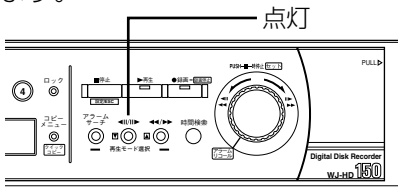
履歴を消去するときは：「PUSH JOG→DATA CLEAR（1レコード目の下に表示されます）」にカーソルを移動し、ジョグダイヤルでYESを選択後、ジョグダイヤルを押してください。

```
     ALARM RECALL  YEAR05
 NO.  DATE   TIME     ALM
 0002 05-25 07:59:34  T2
 0001 05-25 07:59:30  T1
  PUSH JOG→DATA CLEAR
```

操作

再生中の操作

ここでは、早送り/早戻し、コマ送り再生の方法について説明します。画面に表示する項目は→22ページ

早送り/早戻し再生（再生中のみ操作可能）

再生中にジョグダイヤルを回すと早送りまたは早戻し再生ができます。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　早送り/早戻しボタンを押す 	早送り/早戻しボタンのランプが点灯します。 	
2　ジョグダイヤルを右または左に回す 右に回す：早送り再生 左に回す：早戻し再生	早送り/早戻し再生ができます。 早送り：→ X1/2, →2PLAY,1FF〜3FF 早戻し：← X1/2, ←2PLAY, 1REW〜3REW	状態表示欄に再生速度が表示されます。 1FF〜3FF：早送り再生中 1REW〜3REW：早戻し再生中

4画面表示のときに、上記操作を行うとモニターに表示されているすべての画像が早送り/早戻し再生となります。1FFから3FF、または1REWから3REWの速さで再生するとコマ落とし再生になります（表示されない画像があります）。

コマ送り再生

再生中に、ジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　コマ送りボタンを押す 	コマ送りボタンのランプが点灯します。 	
2　ジョグダイヤルを右または左に回す	右に回す：1コマ進めた後、一時停止。 左に回す：1コマ戻した後、一時停止。	1コマ再生後、一時停止状態になります。

4画面表示のときに上記操作を行うと、モニターに表示されているすべての画像がコマ送り再生となります。

操作

画面操作

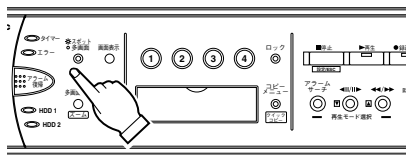
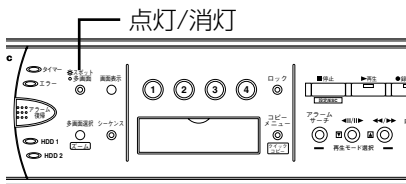
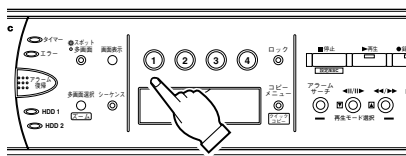
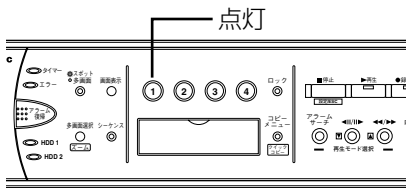
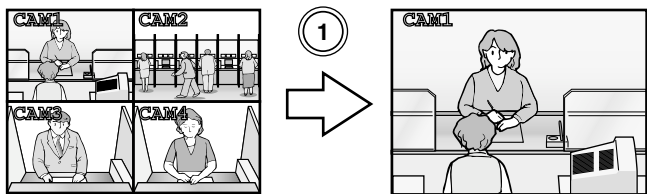
カメラ画像表示中または再生中、モニターの表示方法を以下のように変更できます。選択されているモニターによって操作できる機能が異なります。

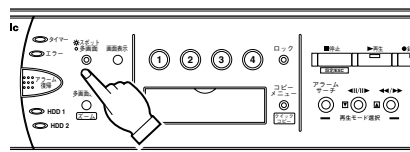
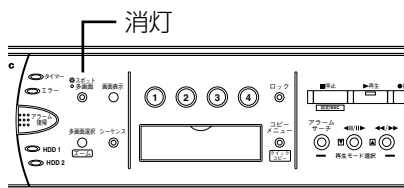
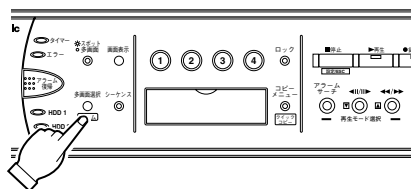
機能	スポットモニター	多画面モニター
任意のカメラ画像を1画面で表示する	○	○
多画面（4画面）で表示する	×	○
画像を拡大する（ズーム）	×	○
カメラを自動的に切り換えて表示する（シーケンス）	○	○
カメラタイトル、時刻、動作状態を表示する	×	○

凡例　○：操作可　×：操作不可

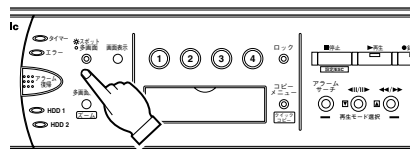
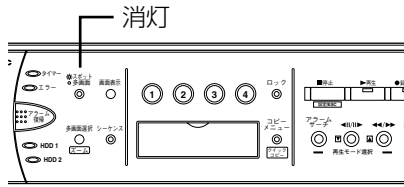
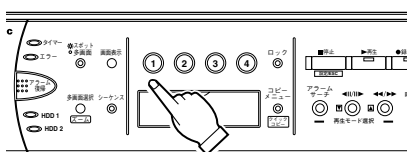
任意のカメラ画像を1画面で表示する

カメラ選択ボタンを押すと押した番号のカメラの画像または再生画像を1画面で表示できます。

操作手順	状　態	モニターの状態
1　スポット/多画面ボタンで操作するモニターを選択する 	点灯：スポットモニターの操作 消灯：多画面モニターの操作 	
2　1画面で表示したいカメラの番号を押す 	選択したカメラが録画していない場合はボタンのランプが緑点灯します。録画している場合は橙点灯から青点灯に変わります。 	選択した画像が1画面で表示されます。 下図は、多画面モニターを選択した場合です。

多画面（4画）で表示する

多画面選択ボタンを押すと、4画面表示に変更できます。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　スポット/多画面ボタンで、操作するモニターとして多画面モニターを選択する 	消灯していることを確認してください。 	
2　多画面選択ボタンを押す 	すべてのカメラ選択ボタンのランプが点灯します（録画中のカメラは青に、録画していないカメラは緑にそれぞれ点灯します）。	

画像を拡大（ズーム）する

1画面表示にすれば、カメラ画像または再生画像を4倍まで拡大して表示できます。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　スポット/多画面ボタンで、操作するモニターとして多画面モニターを選択する 	消灯していることを確認してください。 	
2　カメラ選択ボタン1～4を押して1画面表示にする 	選択したカメラが録画していない場合はボタンのランプが緑点灯します。録画している場合は橙点灯から青点灯に変わります。 	選択した画像が1画面で表示されます。

操作

つづく

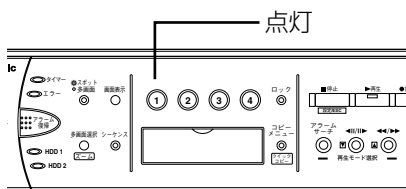
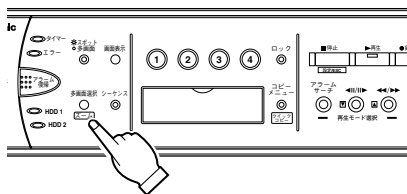
続き

操作手順	状　態	多画面モニターの状態

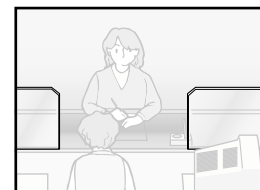
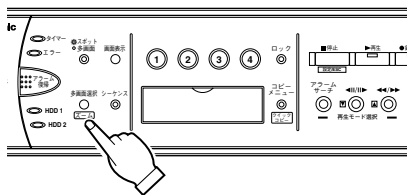
3　多画面選択（ズーム）ボタンを押し続ける（約2秒）

画像を拡大して表示します（2倍）。

4　ジョグダイヤルを押して倍率を選択する

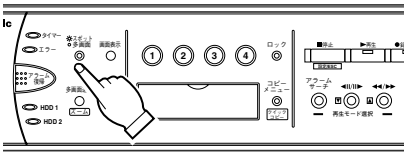
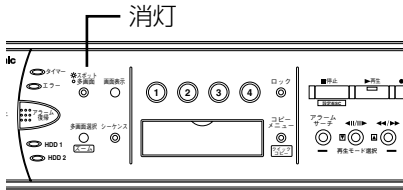
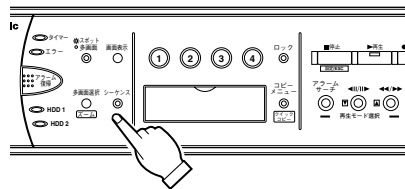
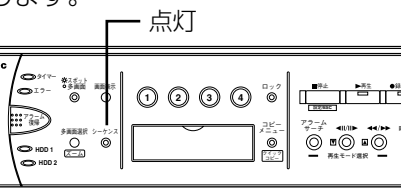
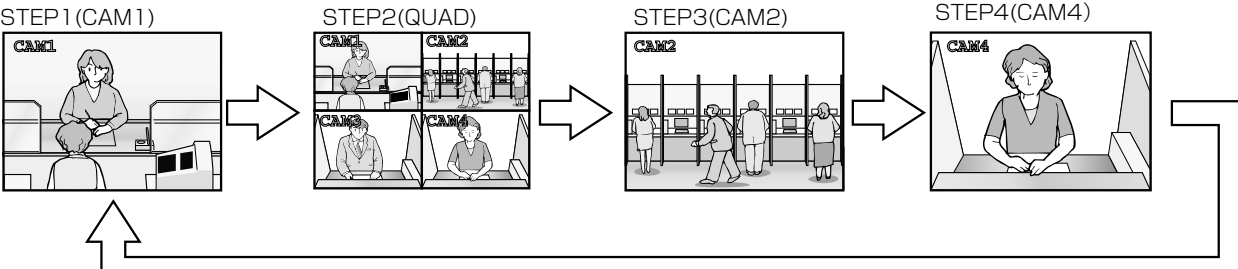
ジョグダイヤルを押すたびに、2倍→4倍→2倍→4倍と繰り返して倍率が変化します。

▲ボタンまたは▼ボタン、ジョクダイヤルでカメラのズーム位置を移動できます（パン／チルト操作）。

5　拡大表示を終了するときは、多画面選択（ズーム）ボタンを押し続ける（約2秒）

手順1の状態に戻ります

・SYSTEM SETUPのRESOLUTIONでSIFに設定している場合、4倍は選択できません。
・カメラ画像を拡大表示中に再生ボタンを押すと、拡大表示を終了し、通常再生（1倍）になります。再生画像を拡大中に停止ボタンを押すと拡大表示を終了し、カメラ画像を表示します。
・その他のボタンを操作する場合は、拡大表示を終了してください。
・パン／チルト操作について
画像拡大表示中はズーム位置の移動が行えます。
パン：ジョグダイヤルを回して、ズーム位置を水平方向に移動します。
チルト：▲ボタンまたは▼ボタンを押して、ズーム位置を垂直方向に移動します。

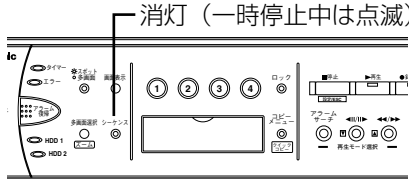
・ SYSTEM SETUPのRESOLUTIONをSIFに設定している場合、画面が上下に揺れるように見えます。画質を重視したい場合は、解像度をNORMALに設定してください。

画像を自動的に切り換える（シーケンス）

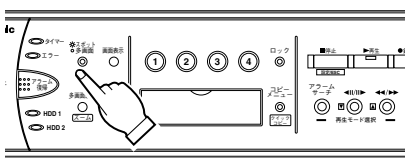
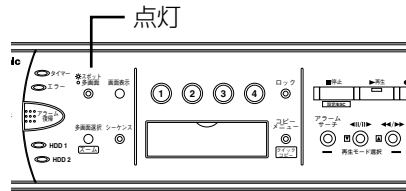
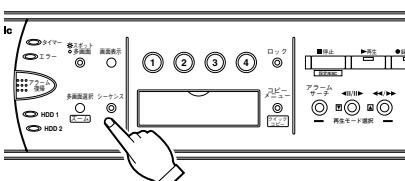
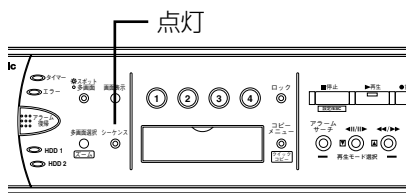
多画面モニターとスポットモニターを別々にシーケンスさせることができます。シーケンスは、カメラ画像を表示しているときのみできます（再生画像のシーケンスはできません）。

・多画面モニターの画像を自動的に切り換える

MULTI SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます（→65ページ）。

・スポットモニターの画像を自動的に切り換える

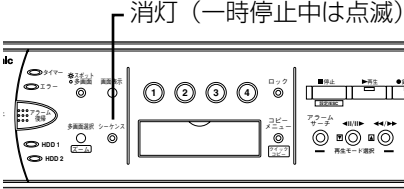
SPOT SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます。（→65ページ）。

多画面モニターのシーケンス

操作手順	状　態	モニターの状態
1　スポット/多画面ボタンで多画面モニターを選択する 	消灯していることを確認してください。 	
2　シーケンスボタンを押す 	シーケンスボタンのランプが点灯します。 	MULTI SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます。

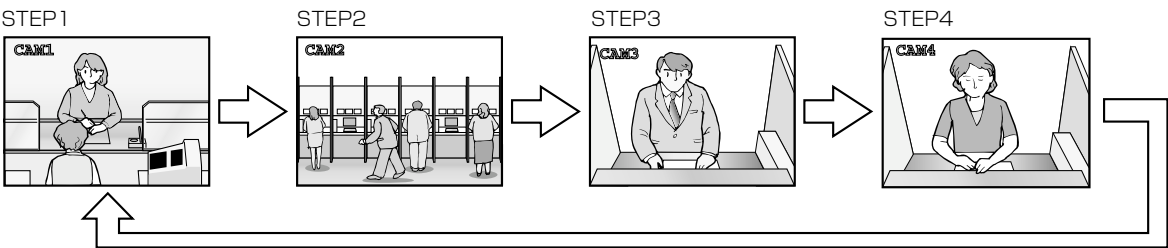
つづく

操作

続き

操作手順	状　態	モニターの状態
3　シーケンスを終了するときは、カメラ選択ボタンを押す （スポット／多画面ボタンでスポットモニターが選択されている場合は、多画面モニターを選択してからカメラ選択ボタンを押してください）	シーケンスボタンのランプが消灯します。 消灯（一時停止中は点滅）	カメラ選択時は選択したカメラの画像が表示されます。 シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止できます。一時停止を解除するときは、再度シーケンスボタンを押します。

スポットモニターのシーケンス

操作手順	状　態	モニターの状態
1　スポット/多画面ボタンでスポットモニターを選択する 	点灯していることを確認してください。 点灯 	
2　シーケンスボタンを押す 	シーケンスボタンのランプが点灯します。 点灯 	SPOT SEQ SETUPで設定された順番に画像が切り換えられます。

つづく

続き

操作手順	状　態	モニターの状態
3　シーケンスを終了するときは、カメラ選択ボタンを押す （スポット／多画面ボタンで多画面モニターが選択されている場合は、スポットモニターを選択してからカメラ選択ボタンを押してください）	シーケンスボタンのランプが消灯します。	カメラ選択時は選択したカメラの画像が表示されます。 シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止できます。一時停止を解除するときは再度シーケンスボタンを押します。

こんなこともできます

多画面（スポット）モニターのシーケンス中に、スポット／多画面ボタンでスポット（多画面）を選択してシーケンスボタンを押すと、それぞれのモニターで別々にシーケンスを実行できます。

カメラタイトル、時刻、状態を表示する

画面表示ボタンを押すと、カメラタイトルおよび時刻、状態を同時に表示/消去できます（表示内容→22ページ）。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　画面表示ボタンを押す		押すたびに多画面モニターにカメラタイトルおよび時刻、状態を表示/消去を切り換えることができます。**消去すると、CAMn AL/CAMn LOSSメッセージも表示しません。**

こんなこともできます

表示位置や表示形式、表示の有無は、設定画面のDISPLAY SETUP画面で設定できます。
→40～42ページ

不正操作を防止する

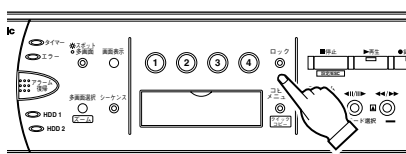
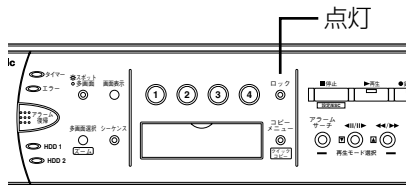
本機は、ロックボタンで前面パネルのボタンによる操作を禁止できます（ロック機能）。ロックするとパスワードを入力して解除するまで、前面パネルによる操作を禁止できます。ロックを解除するためのパスワードは以下の2つがあります。解除時に入力したパスワードで操作できる範囲を制限することができます。

管理者用（ALL）パスワード：すべての操作を許可する。
OPERATIONパスワード：設定操作はできません。録画や再生など、設定以外は操作できます。

・ロック機能を使用する場合、SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKで、パスワードを変更してください。→46ページ
・ロック機能を設定していても、外部メディアへのコピー操作（→87ページ）は行えます。

ロックする

ロックボタンを押すと、前面ボタンによる操作を禁止できます（アラーム復帰ボタンは除きます）。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　ロックボタンを約2秒押し続ける	ブザーが「ピピッ」と鳴り、ロックボタンのランプが点灯します。	以下のメッセージが、画面中央に表示されます。 **KEY LOCK DONE!** メッセージは約2秒表示されます。

点灯

ロックすると、前面のボタン（アラーム復帰ボタン以外）から操作できなくなります。ロックを解除するまで、録画ボタンを押して録画することもできませんので注意してください。

SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKをONにすると、起動時および何も操作しない状態が5分以上継続したとき、自動的にロックできます。→46ページ
ボタンがロックされているとき操作しても、ブザーを鳴らさない設定にすることもできます。→48ページ

ロックを解除する

ロックがかかっているときに操作しようとすると多画面モニターにパスワード入力を要求するメッセージが表示されます。ALLまたはOPERATIONのパスワードを入力してロックを解除します。CARD COPY LOCKのロックを解除する場合は、CARD COPY LOCKのパスワードを入力します。（→53ページ）

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　前面ボタンを押す（アラーム復帰ボタン以外） （コピーロック時はコピーボタンを押す）	ブザーが「ピー」と鳴ります。	パスワード入力メッセージが、画面中央に表示されます **NOW KEY LOCKED!** 2秒後↓ **PASSWORD >-----**

つづく

続き

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
2　ジョグダイヤルを回してパスワードを入力する（5けた）。ジョグダイヤルを押すとカーソルを次のけたに移動できます。 お買い上げ時は、12345に設定されています。 	正しいパスワードを入力すると、ブザーが「ピピー」と鳴り、ロックが解除されます。 管理者用（ALL）パスワードを入力するとロックボタンのランプが消灯します。オペレーター用（OPERATION）パスワードを入力した場合は、ロックランプは点灯したままです。 消灯 （コピーロック時はCARD COPY LOCKのパスワードを入力してロックを解除すると、COPY MENUが表示されます）	カメラ選択ボタン1～4でパスワードを入力することもできます。正しいパスワードを入力すると、ロック解除メッセージが表示されます。 **PASSWORD >***** KEY UNLOCKED!** 入力したけたは「－」から「*」に変わります。

パスワードはSYSTEM SETUP画面で定期的に変更することをお勧めします。→46ページ
パスワードを忘れたときは、お買い上げ時の状態に戻してください。→124ページ

- パスワード入力メッセージ表示後、約5秒パスワードを入力せずに放置するとメッセージが消え、ロック状態に戻ります。
- パスワードを間違えると、ブザーが「ピピッ」と鳴り、多画面モニターにエラーメッセージ（PASSWORD ERROR!）が表示されます。エラーメッセージ表示後、2秒経過すると、パスワード入力メッセージが表示されます（手順1）。
- SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKをONにすると、何も操作しない状態が5分以上継続したとき、または本機の電源を入れ直すと自動的にロックできます。→46ページ

アラーム発生時の操作

ここでは、アラームが発生したときの操作方法を説明しています

アラームの種類

本機が認識するアラームには以下の3種類があります。

・外部機器（センサーなど）から送られてくるアラーム

本機後面のアラーム入力端子に接続されたセンサーなどの外部機器からのアラームです

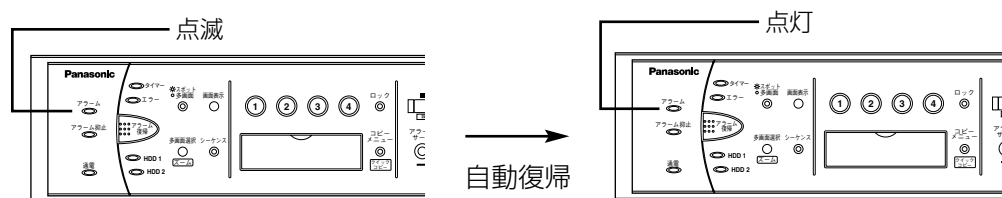
・動き自動検出機能（VMD）（→57ページ）によるアラーム

・カメラケーブル断線またはカメラの故障（CAMn LOSS, nはカメラ番号）

動き自動検出機能（VMD）を使用する場合、ALARM SETUP画面のVMD SETUPでOFF以外を選択し、検出エリアを設定してください。→57ページ

アラーム発生時の動作

アラームが発生し、本機がアラームを認識するとALARM SETUP画面の設定に従って以下の一連の動作を行います。これらの動作を行うことをアラーム動作と呼びます。

・アラームランプを点滅（アラーム発生）/点灯（自動復帰）する

自動復帰とは、アラームが発生してから一定時間経過後、自動的にアラーム動作を終了することです。本機は、REC SETUP画面のPOST ALM RECに設定された時間が経過すると自動復帰し、アラーム発生前の状態に戻ります（自動復帰）。後面のアラーム復帰入力端子をONにした場合も同様です。→33ページ

アラーム復帰ボタンを押すと、アラームランプを消灯できます。ウェブブラウザーを表示して「アラームリセット」を選択した場合も同様です。

・アラーム発生日時、アラームの種類をアラーム履歴に記録する（→73ページ）

・多画面モニターの状態表示エリアにCAMn ALメッセージ（nはカメラ番号）を表示し、アラーム発生場所のカメラの画像に切り換える。

・録画モード設定時、TRIGGER ACTION SETUP画面でカメラごとにアラーム動作の有無を設定できます。→34ページ

・ALARM SETUP画面のMONITOR MODEで画像切り換えの有無を選択できます。→56ページ

操作

・REC SETUP画面のALM REC MODEに設定されている録画モードで、自動的に録画を開始する（アラーム録画）（CAMn LOSSは除く）→31～35ページ

・POST ALM RECに設定されている時間、自動的に録画します。

・PRE ALM RECに時間が設定されているとき、設定されている時間さかのぼって自動的に録画します。

・アラーム入力時にブザーを鳴らす（アラームブザー）

ALARM SETUP画面のALARM BUZZでONを選択しているとき、POST ALM RECに設定されている時間、ブザーが鳴ります。OFFを選択すると、ブザーは鳴りません。

・接続しているシステム機器へアラームが発生したことを知らせる（アラーム出力）

後面パネルのアラーム出力（→118ページ）から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。
POST ALM RECに設定されている時間、出力します。

・カメラケーブル切断またはカメラ故障時は、CAMn LOSSメッセージを表示する

カメラケーブルが断線またはカメラが故障したとき、多画面モニターにCAMn LOSSメッセージを表示するとともに、後面パネルのアラーム端子から信号を出力します。

・アラーム発生をメールで通知

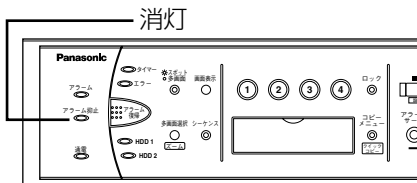
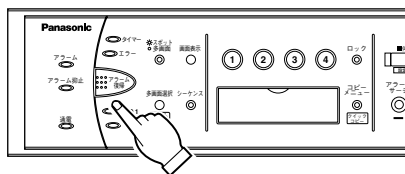
メール設定でメールアドレスを登録すると、アラーム発生時、登録したメールアドレスにメールを送信して通知することができます。アラーム発生時の画像を1枚添付してメールを送信することもできます。

なお、メール設定は、PCのウェブブラウザーで行うことができます。→159ページ

アラーム発生時の操作

アラーム動作の解除

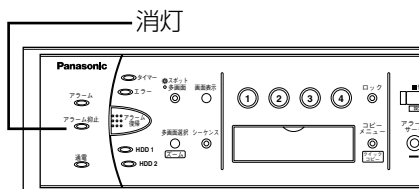
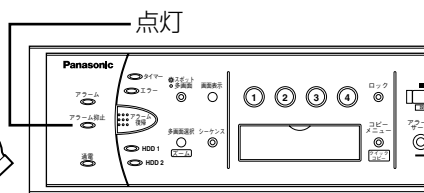
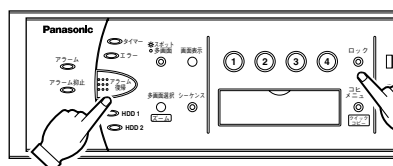
アラームが入力されると、本機はアラーム動作を開始します。アラーム動作は、POST ALM RECに設定されている時間が経過すると自動的に解除されます（自動復帰）。手動で解除したいときは、以下の操作を行ってください。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　アラーム復帰ボタンを押す	アラームランプが消灯します。	アラーム発生前の画像が表示されます。

アラーム動作を抑止する

アラームが発生してもアラーム動作を行わないようにすることができます。ある期間（例えば設定作業中など）だけ、アラーム動作を停止したいときに使用します。

アラームを抑止しても、アラーム録画による自動録画、アラーム履歴への記録は行われます。

操作手順	状　態	備　考
1　アラーム復帰ボタンを押したままでロックボタンを押し、アラームを抑止する	アラーム抑止ランプが点灯します。	
2　アラーム動作を再開するときは、再度、アラーム復帰ボタンを押したままでロックボタンを押す	アラーム抑止ランプが消灯します。	

操作

録画画像をコピーする

本機に録画された画像は、外部メディアまたはVTRにコピーできます。

外部メディアにコピーする

本機前面にあるカードスロットに外部メディアを挿入して、本機に録画された画像を外部メディアにコピーします。

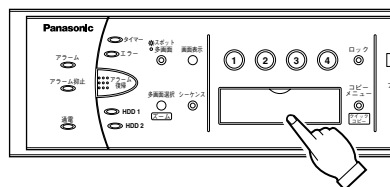
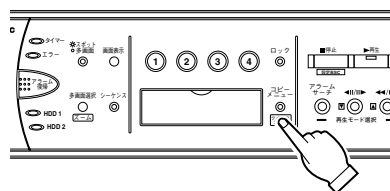
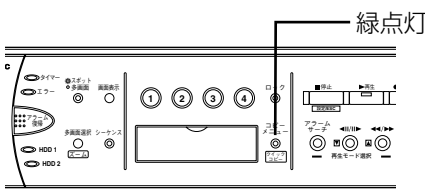
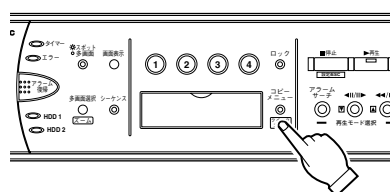
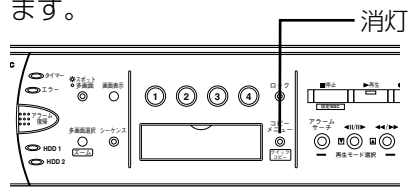
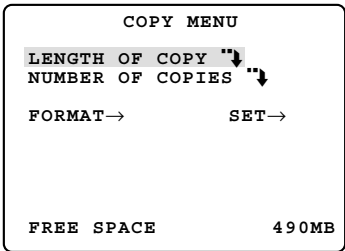
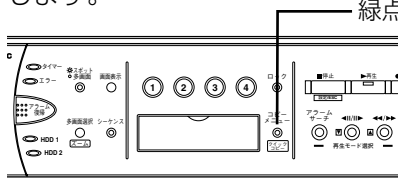
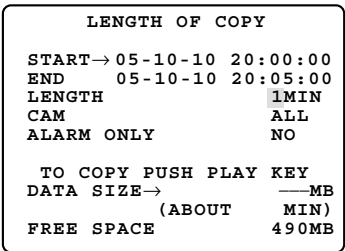
・コピー中は録画画像の再生やFTPサーバーへ画像の転送、設定変更は行えません。
・録画画像の再生中やFTPサーバーへ画像の転送中にコピーを実行すると、再生や転送の動作を中断します。コピー終了後、再度、操作し直してください。
・カメラ画像の録画中でもコピーは行えます。ただし、録画レートによってコピーの速度は変動します。

音声データはコピーできません。コピーできるのは画像データのみです。

対応しているメディアについて

対応しているSDメモリーカードやカードアダプターについては、別冊「録画モード設定ガイド」内の使用できる外部メディア一覧をお読みください。

外部メディアを挿入する／取り出す

操作手順	状　態	備　考
1　カードスロットカバーを開け、外部メディアを挿入する 		外部メディアの挿入する方向に注意して、カードスロットに挿入します。
2　コピーメニューボタンを押す 	コピーメニューのランプが緑点灯し、多画面モニターにCOPY MENUが表示されます。この時点で挿入した外部メディアが認識され、コピーできる状態になります。 緑点灯 	以下のエラーの場合、コピーメニューランプが橙点滅し、多画面モニターにエラーメッセージが表示されます。 ・未対応カード ・未フォーマット ・カードが正しく挿入されていない ・カードのロックスイッチをオンにしている
3　外部メディアを取り出すには、コピーメニューボタンを押す 	COPY MENUが終了し、外部メディアがアンマウントされます。コピーメニューのランプが消灯します。 消灯 	

つづく

続き

操作手順	状　態	備　考
4　取り出しスイッチを押して、外部メディアを取り出す 		

録画画像の時間範囲を指定してコピーする（時間指定コピー）

コピーしたい録画画像の時間範囲とカメラ番号を指定してコピーします。

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
1　コピーメニューボタンを押す	COPY MENU画面が表示されます。 COPY MENU LENGTH OF COPY NUMBER OF COPIES FORMAT→ SET→ FREE SPACE 490MB	コピーメニューのランプが緑点灯します。 緑点灯 容量の大きいメディアを使用すると、COPY MENU表示に時間がかかることがあります。
2　LENGTH OF COPYにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	LENGTH OF COPY画面が表示されます。 LENGTH OF COPY START→ 05-10-10 20:00:00 END 05-10-10 20:05:00 LENGTH 1MIN CAM ALL ALARM ONLY NO TO COPY PUSH PLAY KEY DATA SIZE→ ---MB (ABOUT MIN) FREE SPACE 490MB	
3　START→にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	STARTの年の欄にカーソルが移動します。 START→ 05-10-10 20：00：00	
4　ジョグダイヤルを回して、コピーしたい録画画像の時間範囲の開始日時を設定する ジョグダイヤルを押すとカーソルを右に移動できます。	START→ 05-12-10 14：00：00	

つづく

続き

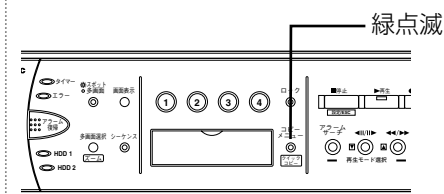
操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
5　停止ボタンを押す	**START→ 05-12-10 14：00：00**	
6　カーソルをLENGTHに合わせる	時間範囲を設定できます。 **LENGTH 1MIN**	
7　ジョグダイヤルを回して、コピーしたい時間範囲（開始日時からコピーする時間範囲（分））を選択する	以下から選択できます。 設定範囲：1、5、10、15、30、60、120、180、240、300、360、ENDLESS（外部メディアの残容量がなくなるまでコピーします）	お買い上げ時は1MINに設定されています。 ENDには、LENGTHで設定した時間範囲を反映した終了日時が自動表示されます。ENDにカーソルを移動し、直接終了日時を設定することはできません。
8　カーソルをCAMに合わせる	カメラ番号を設定できます。 **CAM 1**	
9　ジョグダイヤルを回して、コピーしたい録画画像のカメラ番号を選択する	以下から選択できます。 1～4　：選択したカメラ番号のみコピーします。 ALL　：すべてのカメラ番号をコピーします。	お買い上げ時はALLに設定されています。
10 カーソルをALARM ONLYに合わせる	ALARM ONLYを設定できます。 **ALARM ONLY NO**	
11 ジョグダイヤルを回して、録画画像のうち、アラーム画像のみをコピーするかどうかを選択する	以下から選択できます。 YES：アラーム画像のみをコピーします。 NO：設定した時間範囲内のすべての録画画像をコピーします。	お買い上げ時はNOに設定されています。
12 カーソルをDATA SIZEに合わせ、ジョグダイヤルを押す	コピーするデータサイズのチェックを開始します。 チェックが完了すると、データサイズとコピー時間が表示されます。 **DATA SIZE→ 10MB** **(ABOUT 2MIN)**	LENGTHをENDLESS、ALARM ONLYをYESに設定している場合、DATA SIZEにカーソルは移動できません。

・算出されたデータサイズとコピー時間は目安です。実際とは異なります。

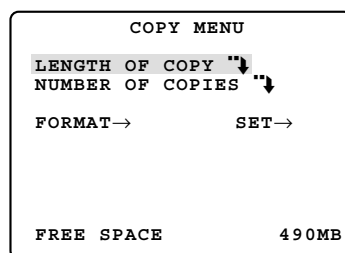
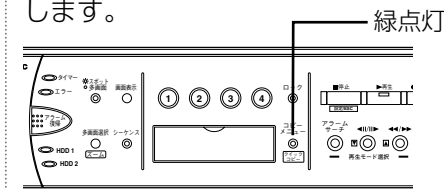
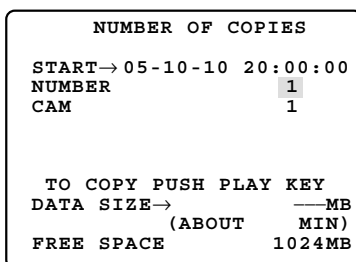
操作

録画画像をコピーする

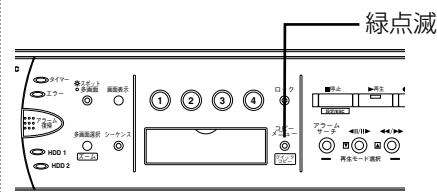
続き

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
13 再生ボタンを押す コピーを中断したい場合は、コピーメニューボタンを2秒以上押す	コピーが開始され、運用画面に戻ります。状態表示にはCOPYが表示されます。	コピーが開始されると、コピーメニューのランプが緑点滅します。 緑点滅
14 コピーが終了したら、取り出しスイッチを押して、外部メディアを取り出す	コピーが終了すると、状態表示がRECまたはSTOPに戻ります。 多画面モニターに「COPY DONE!」が表示され「ピピッ」と音が鳴ります。	コピーが終了すると、コピーメニューのランプが消灯します。

録画画像の枚数を指定してコピーする（枚数指定コピー）

コピーしたい録画画像の開始日時とその開始日時からの録画画像の枚数、カメラ番号を指定してコピーします。

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
1　コピーメニューボタンを押す	COPY MENU画面が表示されます。	コピーメニューのランプが緑点灯します。

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
2　NUMBER OF COPIESにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	NUMBER OF COPIES画面が表示されます。 NUMBER OF COPIES START→05-10-10 20:00:00 NUMBER 1 CAM 1 TO COPY PUSH PLAY KEY DATA SIZE→ ---MB (ABOUT MIN) FREE SPACE 1024MB	
3　START→にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	STARTの年の欄にカーソルが移動します。 START→ 05-10-10 20：00：00	

つづく

続き

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
4　ジョグダイヤルを回してコピーしたい録画画像の開始日時を設定する ジョグダイヤルを押すとカーソルを右に移動できます。	**START→　05-12-10　14：00：00**	
5　停止ボタンを押す	**START→　05-12-10　14：00：00**	
6　カーソルをNUMBERに合わせる	コピーする枚数を設定できます。 **NUMBER　　　　　　1**	
7　ジョグダイヤルを回して、録画画像の開始日時からコピーしたい画像の枚数を選択する	以下から選択できます。 設定範囲：1、5、10、50、100、200	お買い上げ時は1に設定されています。
8　カーソルをCAMに合わせる	カメラ番号を設定できます。 **CAM　　　　　　　1**	
9　ジョグダイヤルを回して、コピーしたい録画画像のカメラ番号を選択する	以下から選択できます。 1～4　：選択したカメラ番号のみコピーします。 ALL　：すべてのカメラ番号をコピーします。	お買い上げ時は1に設定されています。
10　カーソルをDATA SIZEに合わせ、ジョグダイヤルを押す	コピーするデータサイズのチェックを開始します。 チェックが完了すると、データサイズとコピー時間が表示されます。 **DATA SIZE→　　　　10MB** **(ABOUT　2MIN)**	
11　再生ボタンを押す コピーを中断したい場合は、コピーメニューボタンを2秒以上押す	コピーが開始され、運用画面に戻ります。状態表示にはCOPYが表示されます。 コピーが終了すると、状態表示がRECまたはSTOPに戻ります。	コピーが開始されると、コピーメニューのランプが緑点滅します。 緑点滅
12　コピーが終了したら、取り出しスイッチを押して、外部メディアを取り出す	コピーが終了すると、状態表示がRECまたはSTOPに戻ります。 多画面モニターに「COPY DONE!」が表示され「ピピッ」と音が鳴ります。	コピーが終了すると、コピーメニューのランプが消灯します。

録画画像をコピーする

不正コピーを防止する（CARD COPY LOCK）

パスワードを設定して録画画像を外部メディアへ不正にコピーできないようにすることができます（→53ページ）。
CARD COPY LOCKをONに設定すると、コピーするために毎回パスワードの入力が必要になります。

CARD COPY LOCKの設定のしかたについては53ページをお読みください。

・CARD COPY LOCKのパスワードを入力しても前面パネルのロックは解除されません。また、前面パネルのロックを解除してもCARD COPY LOCKは解除されません。

ロックを解除する

ロックがかかっているときに操作しようとすると、多画面モニターにパスワード入力を要求するメッセージが表示されます。CARD COPY LOCKのパスワードを入力してロックを解除します。解除のしかたについて82ページをお読みください。また、CARD COPY LOCKのパスワードについては53ページをお読みください。
正しいパスワードを入力してロックを解除すると、COPY MENUが表示されます。

自動的にコピーする（クイックコピー）

コピー先の外部メディアに、あらかじめコピーしたい録画画像の開始日時、コピー範囲、カメラ番号などを記述したテキストデータ（copylist.txt）を保存している場合、コピーメニューボタンを2秒以上押すと、記述してあるテキストデータの内容に従って、自動的にコピーが開始されます。
また、クイックコピーの結果がログ（copylist.log）として保存されます。

コピーリストの記述フォーマットについて

コピーリストはカメラ番号、開始日時、コピー範囲、アラーム画像のみなどの情報をテキストデータで作成します。
最大21行記述できます。

録画方法␣カメラ番号␣年/月/日␣時：分：秒␣時間または枚数（数字3桁）　※␣は半角スペースです。
↑
L＝時間指定コピー
N＝枚数指定コピー

形式　：テキストデータ（半角文字）
ファイル名　：copylist.txt
文字コード　：ASCIIコード（改行コードはCR＋LFコードを使用してください）

例）すべてのカメラ番号の2005年3月22日10時00分00秒から20分間の画像データをコピーしたい場合

L 1 05/03/22 10：00：00 020
L 2 05/03/22 10：00：00 020
L 3 05/03/22 10：00：00 020
L 4 05/03/22 10：00：00 020

例）アラーム画像のみコピーしたい場合、時間の後に「␣A」を記述します（時間指定コピーでのみ使用できます）。
L 1 05/03/22 10：00：00 020 A

例）コピーパスワードが設定してある場合、最初の行に以下のようにパスワードを記述します。
P 12345
パスワードは必ず1行目に記述します。

操作

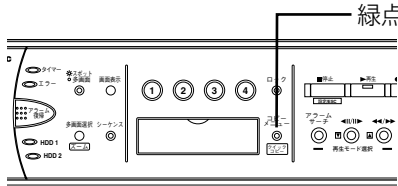
コピーリストの保存先について

コピーリストは、ドライブ名：¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PSS¥HDRに保存してください。

本機でカードをフォーマットすると、自動的にフォルダが作成されます（→94ページ）。

コピーログについて

copylist.txtと同じフォルダにコピー結果がcopylist.logとして保存されます。途中でコピーを中断した場合は、実行した行までの情報のみ記述されます。

OK：コピー成功
NG：スクリプトエラー
（記述が間違っている場合に記述されます。コピーは実行されません。記述を見直してください）
−−：画像データが無い
FF ：カードがいっぱいでコピーが完了できなかった（途中まではコピーされます）

例）全カメラ番号の録画画像のうち、2005年3月22日10時00分00秒から2005年3月22日10時20分00秒のコピーリストを作成しクイックコピーを実行したが、カメラ番号3のみ該当する録画画像が無かった場合

OK L 1 05/03/22 10：00：00 020
OK L 2 05/03/22 10：00：00 020
-- L 3 05/03/22 10：00：00 020
OK L 4 05/03/22 10：00：00 020

操作手順	多画面モニターの状態・設定範囲	備　考
1　カードスロットカバーを開け、コピーリスト（copylist.txt）が入っている外部メディアを挿入する		外部メディアの挿入する方向に注意して、カードスロットに挿入します。
2　コピーメニューボタンを2秒以上押す コピーを中断したい場合は、コピーメニューボタンを2秒以上押す	多画面モニターの状態表示がCOPYになり、保存されているテキストデータの内容に従って自動的にコピーが開始されます。 コピーが終了すると、状態表示がRECまたはSTOPに戻ります。また、コピーログが作成され、外部メディアがアンマウントされます。	コピーが開始されると、コピーメニューのランプが緑点滅します。
3　コピーが終了したら、取り出しボタンを押して、外部メディアを取り出す	コピーが終了すると、状態表示がRECまたはSTOPに戻ります。 多画面モニターに「COPY DONE!」が表示され「ピピッ」と音が鳴ります。	コピーが終了すると、コピーメニューのランプが消灯します。

操作

録画画像をコピーする

・クイックコピーを実行すると、数秒時計が止まることがありますが故障ではありません（内部時計は止まっていません）。

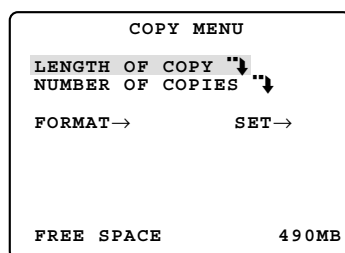
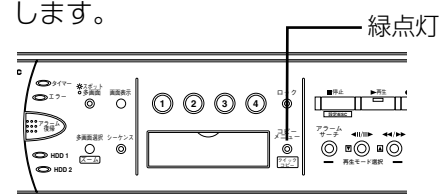
・コピーリスト、コピーログで使用できる日付表示形式はYY/MM/DDです。また時刻表示形式は24時間制です。

・コピーの途中でスクリプトエラーや対象データ無しが生じても、コピーリストの最後まで実行されます。スクリプトエラーが発生した場合、すべてのコピーリスト実行後、「SCRIPT ERROR」が表示され、本機のコピーボタンが緑と橙に交互に点灯します。

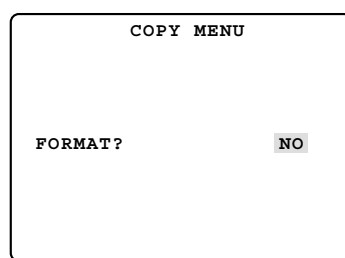
・コピー終了前（コピーメニューのランプが緑点灯または緑点滅中）に外部メディアを取り出すと、コピーデータの異常や外部メディアを破損することがあります。必ずコピーを終了してから、外部メディアを取り出してください。

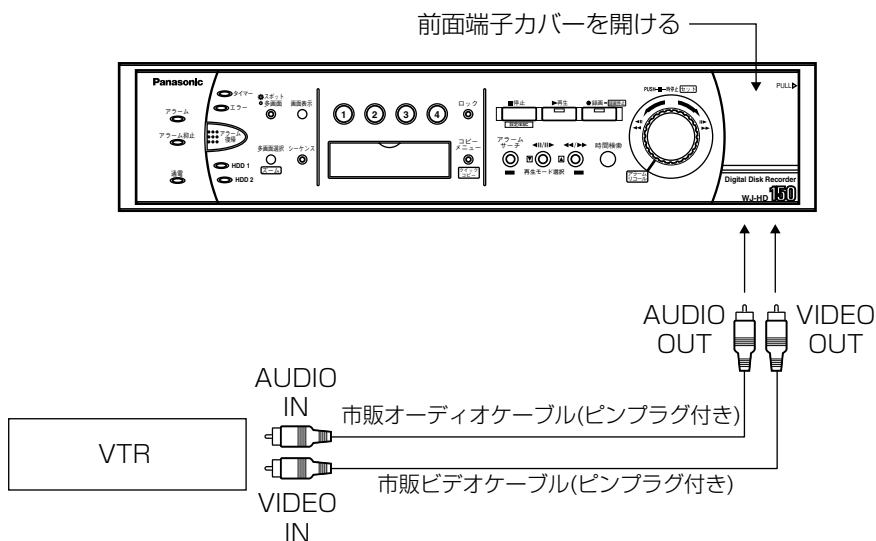
外部メディアをフォーマット（初期化）する

外部メディアをフォーマット（初期化）します。

外部メディアをフォーマット（初期化）すると、保存されていたデータはすべて消去されます。必要なデータはPCにコピーするなどしておいてください。

<table>
<tr><th>操作手順</th><th>多画面モニターの状態・設定範囲</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td>1　コピーメニューボタンを押す</td><td>COPY MENU画面が表示されます。

</td><td>コピーメニューのランプが緑点灯します。
緑点灯
</td></tr>
<tr><td>2　FORMAT→にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す</td><td>確認画面が表示されます。

</td><td></td></tr>
<tr><td>3　ジョグダイヤルを回してSD CARDまたはNON SDを選択し、ジョグダイヤルを押す</td><td>フォーマット（初期化）が開始されます。
フォーマット（初期化）中は「NOW FORMATTING MEDIA!」と表示されます。
フォーマット（初期化）が終了すると、COPY MENU画面に戻ります。</td><td>SDメモリーカードをフォーマット（初期化）する場合は、SD CARDを選択してください。その他のカードをフォーマット（初期化）する場合は、NON SDを選択してください。</td></tr>
</table>

録画画像をVTRにコピーする

前面パネルにあるVIDEO OUT/AUDIO OUT端子にVTRを接続して、本機に録画された画像をVTRにコピーできます。

多画面モニターに表示している画像（カメラ画像、再生画像）がVIDEO OUT端子から出力されます。設定中は、設定画面も出力されます。AUDIO OUT端子からは音声出力端子から出力されている音声が出力されます。

録画画像をコピーするときは以下の手順で操作してください。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　上図のようにVTRを接続し、VTRの電源をONにする		
2　VTRの録画ボタンを押し、録画状態にする		
3　VTRにコピーしたい画像を検索して再生する（→72ページ）	再生画像がVTRに録画されます。	VTRにコピーしている画像が表示されます。
4　終了するときは、本機およびVTRの停止ボタンを押す		

操作

録画画像をコピーする

コピーした画像を再生する

再生画像を外部メディアにコピーすると、画像データとビューワー（HTML）が1つの実行ファイル（拡張子exe）としてコピーされます。画像を確認するときは、以下の手順で操作してください。

1. コピーした実行ファイルをPCの任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする。
   実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルクリックすると、同じフォルダーに実行ファイルと同じ名前のフォルダーが作成されます。そのフォルダー内に画像ファイル（拡張子jpg）と画像表示用HTMLファイル（index.html）が作成されます。

   解凍された画像ファイルは、画像表示用HTML（index.html）で確認してください。

2. index.htmlをウェブブラウザーで表示する。
   以下の画面が表示されます。

<左側>

スキップ　：サムネイル画像の改ページ数を選択します。
先頭へ　：先頭ページに戻ります。
前へ　：前のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
次へ　：次のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
最後へ　：最終ページを表示します。

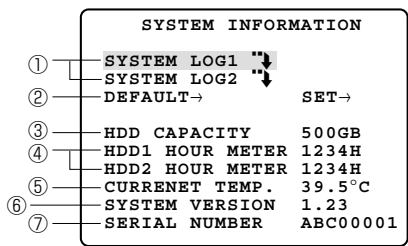
<右側>

No.　：表示している画像のフレームの番号です。
日時　：画像の録画時刻を表示します。
速度　：再生速度（-6〜6）を表示します。
先頭へ　：一番古い画像を表示し、停止します。
高速逆再生：クリックするたびに再生速度を変えて逆再生ができます。
逆再生　：逆再生を開始します。
再生　：再生を開始します。
高速再生　：クリックするたびに再生速度を変えて再生ができます。
終端へ　：最終（最新）画像を表示し、停止します。
逆コマ送り：１フレーム戻り、停止します。
停止　：停止します。
コマ送り　：１フレーム進み、停止します。

システム情報の確認

必要に応じて、設定画面からSYSTEM INFORMATION画面を呼び出し、ハードディスクの使用時間、ハードディスク容量、システムバージョン、システムログなどを確認できます。設定内容をお買い上げ時の状態に初期化することもできます。

表示のしかた

MAIN MENU画面から説明します。
MAIN MENUからSYSTEM INFORMATIONにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押します。MAIN MENU画面に戻るときは、停止ボタンを押してください。

設定・表示項目

①システムログ
②設定内容の初期化
③ハードディスクの総容量
（DUAL MODE運用時は（D）が表示されます）
④HDDの累積稼働時間
⑤本機の内部温度
⑥システムのバージョン
⑦本機のシリアル番号

システムログの表示（SYSTEM LOG1↴）（SYSTEM LOG2↴）

使用中に発生したエラーの一覧を表示できます。SYSTEM LOG1では、録画を継続できなくなる可能性のあるエラー、SYSTEM LOG2では、それ以外のエラーを表示します。

SYSTEM INFORMATION画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　SYSTEM LOG1↴または SYSTEM LOG2↴にカーソルを合わせる	SYSTEM LOG1 ↴ または SYSTEM LOG2 ↴	
2　ジョグダイヤルを押す	SYSTEM LOG画面が表示されます。 エラー発生日時がDATE TIMEに表示されます。原因がCAU欄に表示されます。	最新のエラーから順番に、SYS-TEM LOG1では最大100件まで、SYSTEM LOG2では最大500件まで確認できます。101件以上または501件以上になった場合は、古いエラーから順番に削除されます。 ジョグダイヤルを右に回すと次ページを表示できます。 ジョグダイヤルを左に回すと前ページを表示できます。
3　停止ボタンを押す	SYSTEM INFORMATION画面に戻ります。	
4　MAIN MENU画面に戻る		

```
     SYSTEM LOG1 ( 1/10)
NO.  DATE     TIME     CAU
100 051025  23:01:37  TML
 99 051025  11:00:00  POW
 98 051025  10:19:34  FLL
 97 051025  04:23:54  FAN
 96 051025  22:11:43  RV1
 95 051025  22:09:19  HD1
 94 051025  22:07:37  HD1
 93 051025  18:00:41  HD1
 92 051025  09:00:38  POW
 91 051025  01:00:00  POW
```

操作

システム情報の確認

CAU欄に、表示される記号の意味は以下のとおりです。
・TML：温度異常　・HD1/HD2：S.M.A.R.T.によるハードディスク異常検出
・WR1/WR2：HDD書き込みエラー　・RV1/RV2：HDDに異常を検出し自動切り離しを行った
・RD1/RD2：HDD読み込みエラー　・POW：電源異常　・ERR：その他
・VMn：自動動き検出機能が動作したが、録画できなかったことを示す
・FL%：残量警告　・FLL：ディスクエンド　・FAN：FAN異常
・TMn：アラーム入力端子にアラームが入力されたが、録画できなかったことを示す
・LSn：カメラ故障またはケーブル切断などでカメラ画像が入力されなかったことを示す（VIDEO LOSS）
注：n：カメラの番号（映像入力端子の番号）を表す。

設定内容の初期化（DEFAULT）

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
SYSTEM INFORMATION画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備　考
1　DEFAULTにカーソルを合わせる	DEFAULT→　SET→	
2　ジョグダイヤルを押す	カーソルがSETに移動します。 DEFAULT→　SET→	
3　ジョグダイヤルを再度押す	初期化するときはジョグダイヤルを回し、NOをYESに変更します。 DEFAULT→　YES→	
4　ジョグダイヤルを押す	YESを選択した場合： 初期化が始まります。初期化が終了するとSET DONEに変わります。 DEFAULT→　SET DONE	YESを選択した場合、SET DONEが表示されるまでしばらくお待ちください。
5　MAIN MENU画面に戻る		設定をやり直してください。

時計および解像度、ブラウザーのみで設定できる拡張設定メニューの設定は初期化されません。

ハードディスク総容量（HDD CAPACITY）

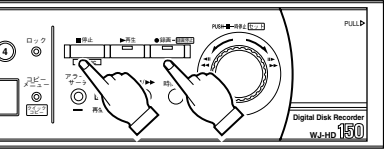
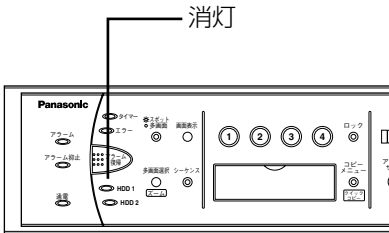
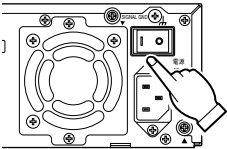
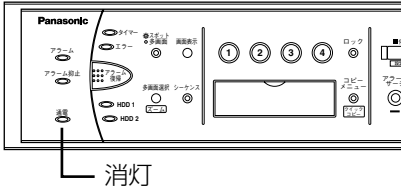
内蔵されているハードディスクの容量（単位：GB）が表示されます（DUAL MODE時は（D）を表示します）。

累積稼働時間（HDD HOUR METER）

本機のハードディスクの累積稼働時間が表示されます。ハードディスクの交換目安は、25 ˚Cの環境下で使用時18 000時間となっています（→16ページ）。

本機の内部温度（CURRENT TEMP.）

本機の内部温度を表示します。

システムバージョン（SYSTEM VERSION）

本機を制御しているファームウェアのバージョンが表示されます。

本機のシリアル番号（SERIAL NUMBER）

本機のシリアル番号が表示されます。

電源を切る

本機の電源を切る場合は、必ず以下の手順にしたがって操作してください。

操作手順	状　態	備　考
1　再生中は停止ボタンを押す。マニュアル録画中は録画停止ボタンを録画ランプが消えるまで押し続ける（約2秒） 	HDDランプが消灯します。 	HDDランプが消灯したことを確認してください。
2　電源スイッチを「○」にする 	通電ランプが消灯します。 	電源スイッチは、本機後面にあります。 電源スイッチを入れ直すときは、電源を切ってから5秒以上、間を空けてください。
3　長時間使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜く		本機の機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作させてください。

HDDランプが緑点灯または点滅している間は、絶対に電源を切らないでください。このようなときに電源を切ると、ハードディスクが破壊され、記録した画像を損失する恐れがあります。

ハードディスクのメンテナンス

HDDランプが橙色点滅したときの操作（ディスクエンド）

ハードディスクの空き容量が設定された値（%）より少なくなると、HDDランプが橙色に点滅します。また、残量が0 %になると録画できなくなり、HDDランプが橙色に点灯します。この状態をディスクエンドと呼びます。

ディスクエンドになったときは、以下の操作を行いディスクエンドを解除してください。

HDDランプの橙色は、SYSTEM SETUP画面→DISK END MODEで、STOPを選択したときに点灯します（→50ページ）。CONTINUEを選択した場合、古い画像から順番に上書きされるため、点灯しません。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒間）	多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。	WJ-HD150 MAIN MENU TIMER OFF REC SETUP ⤵ EXT REC SETUP ⤵ DISPLAY SETUP ⤵ SYSTEM SETUP ⤵ ALARM SETUP ⤵ NETWORK SETUP ⤵ SWITCHER SETUP ⤵ SYSTEM INFORMATION ⤵
2　SYSTEM SETUP⤵にカーソルを合わせる		SYSTEM SETUP⤵
3　ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP画面が表示されます。	SYSTEM SETUP (1/2) PASSWORD LOCK OFF ALL→ ***** OPERATION→ ***** KEYLOCK BUZZ ON SKIP ALM-RECALL 1PAGE SIMUL REC&PLAY ON ALTER DETECT OFF DISK END MODE CONTINUE DISK END BUZZ ON
4　DISK END MODEにカーソルを合わせる		DISK END MODE STOP
5　ジョグダイヤルを回して、CONTINUEに変更する	以下から選択できます。 STOP CONTINUE	
6　MAIN MENU画面に戻る		
7　MAIN MENU画面が消えるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒）	ディスクエンドが解除され、変更したモードで動作が始まります。	

エラーランプが点滅したときの操作

本機は、電源投入時ハードディスクの状態を確認します。確認時、ハードディスクに問題があるとき、本機は以下の動作を行います。以下の動作が行われたときは販売店にご相談ください。

・エラーランプを点滅する
　緑色点滅：ハードディスクに問題を発見したり、ハードディスク交換によってディスクメニューを表示しているとき
　黄色点滅：ハードディスク状態チェックで問題を発見したとき
　赤色点滅：ハードディスクが故障したとき、温度異常、システム異常が発生したとき
・後面パネルの機器異常検知出力をクローズにする

ハードディスクが故障しているときに、電源を入れ直すと本機は以下の動作を行います。

・DISK MENUを表示する（→102ページ）
・ブザーを5秒ごとに鳴らす（ブザーは前面パネルのボタンを押すと止まります）

エラーランプが点滅したときは、ハードディスクの交換が必要です。販売店にご相談ください。お客様自身で交換すると感電やけがの原因となりますので絶対にお止めください。

ハードディスクは消耗劣化する装置です。＋25 ℃の環境でご使用になる場合、18 000時間を目安に交換してください（→16ページ）。なお、ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。ハードディスクの累積稼働時間→97ページ

WJ-HD150/2にはハードディスクが2台内蔵されています。2台のハードディスクのうち1台が故障しても、残りの1台で運用を継続できるように設計されています（ただし、故障のモード、状況によっては、1台の故障でも運用が完全に停止することがあります）。

ハードディスクの初期化

以下の場合、ハードディスクの初期化を行います。ハードディスクの初期化はDISK MENU画面で行います（→106ページ）。

・録画画像をすべて消去する

・ハードディスクを交換、または追加した

・ハードディスクを初期化しても、設定内容は初期化されません。
　設定内容も初期化し、お買い上げ時の状態に戻す場合は設定内容をリセットしてください。→124ページ
・交換または追加したハードディスクは本機で初期化するまで使用できません。

操作

ハードディスクのメンテナンス

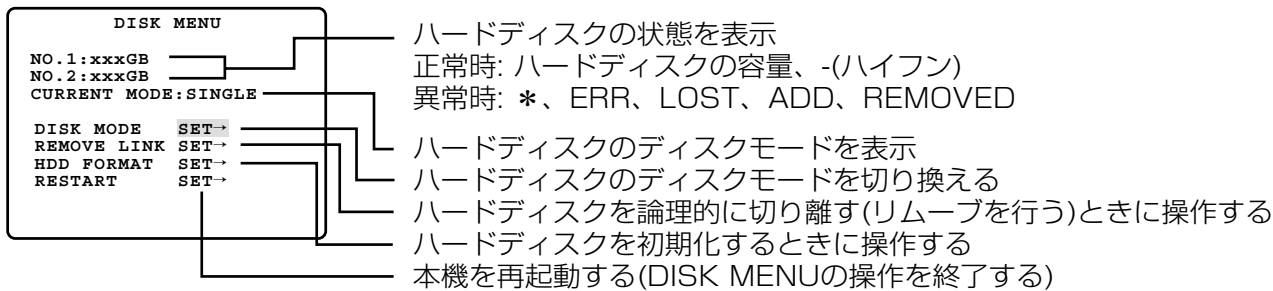
DISK MENU画面の操作

DISK MENU画面について

本機は電源を入れたとき、ハードディスクの状態をチェックします。このとき、ハードディスクの状態に異常があると、自動的にDISK MENU画面が表示されます（エラーランプ点滅、ブザーON（5秒に1回）、後面の機器異常検知出力端子クローズ）。

DISK MENU画面は、以下の操作を行って表示することもできます。DISK MENU画面を操作するためには、管理者（ALL）のパスワードが必要です。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　電源を入れ直す	通電ランプが点灯します。	「SYSTEM CHECK」メッセージ表示後、「SYSTEM CEHCK DONE! TO OPEN DISK MENU PUSH STOP KEY」メッセージが表示されます（約2秒間）。
2　停止ボタンを押して、DISK MENU画面を表示する		DISK MENU画面が表示されます。 DISK MENU NO.1:xxxGB NO.2:xxxGB CURRENT MODE:SINGLE DISK MODE SET→ REMOVE LINK SET→ HDD FORMAT SET→ RESTART SET→
3　通常運用に戻るときはリスタートしてください（→108ページ）		

DISK MENU画面には以下の情報が表示されます。ハードディスクの状態については次ページをお読みください。

ハードディスクの状態について

ハードディスクに容量が表示されないときは、下表の操作を行ってください。DISK MENU表示後、何も操作せずに1分以上経過すると、本機は自動的に通常運用を行います（状態が、 ERRに変わります）。

状態表示	意　　味	対　　策	備　　考
ERR	エラーが発生した。	初期化しても、ERRが表示されるときは、ハードディスク交換後、初期化してください。	エラーはシステムログで確認できます。ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。
REMOVED	運用不可能です。	ハードディスク交換後、初期化してください。	エラーはシステムログで確認できます。ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。

状態表示には、上記以外に以下の項目が表示されることがあります。

LOST：ハードディスクを論理的に切り離さずにハードディスクを本機から取り外した後、電源を入れると表示されます。ハードディスクを追加し、初期化してください。ハードディスク1台で運用を続けるときは、ハードディスクを論理的に切り離してください。

－：ハードディスクを論理的に切り離した後、前ページの操作を行うとDISK MENUに表示されます。

ADD：ハードディスクを追加した後、電源を入れると表示されます。ハードディスクを初期化してください。

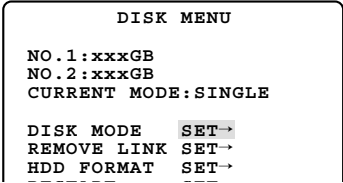
＊：他のデジタルディスクレコーダー（WJ-HD150）で使用していたハードディスクを取り付けると表示されます。ハードディスクの状態によっては、そのまま再生することができますが、初期化してから使用することをお勧めします。

ハードディスク故障時の対処方法（ERR状態）

ハードディスクが故障したときは、以下の手順で対処してください。

ハードディスクは消耗劣化する装置です。+25 ℃の環境でご使用になる場合、18 000時間を目安に交換してください（→16ページ）。なお、ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。ハードディスクの累積稼働時間→97ページ

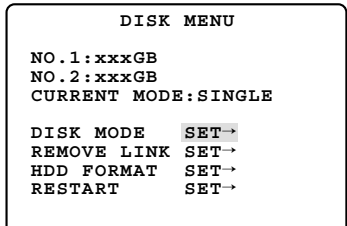
ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクの運用を切り換える（DISK MODE）

本機は、録画映像を1つのハードディスクに書き込む「SINGLE MODE」と、2つのハードディスクに同時に書き込む「DUAL MODE」の2種類を搭載しています（ハードディスク2台搭載モデルWJ-HD150/2のみ）。

- SINGLE MODE：ハードディスクを有効に使い、DUAL MODEに比べて約2倍長時間録画できます。ただし、ハードディスクが故障した場合、故障したハードディスクに録画された映像を再生することができなくなります。
- DUAL MODE：同じ映像を同時に2台のハードディスクに録画するため、SINGLE MODEに比べて約半分の録画時間しか録画できませんが、一方のハードディスクが故障した場合でも、もう一方のハードディスクから再生できるため、記録の信頼性を向上することができます（ハードディスクの切り換えは自動で行われます）。

・DUAL MODE運用中に一方のハードディスクを交換した場合、交換した時点からのDUAL MODE録画になります。それ以前の映像は交換したハードディスクには保存されません。
・DISK MODEを切り換えると自動的にハードディスクの初期化を実行します。必要な画像はすべて本機前面にあるカードスロットに挿入した外部メディアにコピー（→87ページ）またはネットワーク機能を使ってサーバーに転送するか、前面パネルにあるVIDEO OUT/AUDIO OUT端子にVTRを接続してコピー（→95ページ）してください。

操作

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　DISK MENU画面を表示する（→102ページ）		DISK MENU NO.1:xxxGB NO.2:xxxGB CURRENT MODE:SINGLE DISK MODE　SET→ REMOVE LINK SET→ HDD FORMAT　SET→
2　▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをDISK MODEに移動する		DISK MODE　SET→
3　ジョグダイヤルを押す	パスワードを入力できるようになります。	PASSWORD -----
4　ジョグダイヤルを回して、管理者用（ALL）パスワードを入力する ジョグダイヤルを押すと、カーソルを次のけたに移動できます。 カメラ選択ボタン1～4でパスワードを入力することもできます。	正しいパスワードを入力すると、DISK MODE選択に変わります。	PASSWORD ***** ↓ DISK MODE:SINGLE→

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
5　ジョグダイヤルを回してDISK MODEを選択する	以下から選択できます。 SINGLE：SINGLE MODEで運用 DUAL　：DUAL MODEで運用（2台のハードディスクが正常状態時のみDUALが選択できます） 操作を取り消すときは、停止ボタンを押してください。手順1に戻ります。	DISK MODE:SINGLE→
6　ジョグダイヤルを押す	DISK MODEが変更され、ハードディスクが初期化されます。	DISK MODE CHANGED! （変更終了） ↓ 約5秒後に自動的に再起動します。

ハードディスクを論理的に切り離す（REMOVE LINK）

論理的な切り離しとは、物理的にハードディスクを取り外すことなく、システムから認識できなくすることです。

この操作は、ハードディスクを交換するとき、または問題のあるハードディスクを一時的に切り離して運用を継続したいときにのみ行ってください。

・利用できるハードディスクが1台あるときにのみ、残りの1台を切り離すことができます。2台を同時に切り離すことはできません。

・REMOVE LINKを実行すると、以下の状態のハードディスクが切り離されます。
　＊、ERR、LOST、REMOVE

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　DISK MENU画面を表示する（→102ページ）		DISK MENU NO.1:xxxGB NO.2:xxxGB CURRENT MODE:SINGLE DISK MODE　SET→ REMOVE LINK SET→ HDD FORMAT　SET→ RESTART　SET→
2　▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをREMOVE LINKに移動する		REMOVE LINK SET→
3　ジョグダイヤルを押す		REMOVE LINK NO

つづく

操作

続き

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
4　ジョグダイヤルを回してYESを選択する	異常のあるハードディスクを切り離します。 操作を取り消すときは、停止ボタンを押してください。手順1に戻ります（通常運用に戻るにはリスタートしてください）。	**REMOVE LINK YES→**
5　ジョグダイヤルを押す	ハードディスクの切り離しを行い、SET DONE!を表示します。約5秒後に通常運用に戻ります。	**REMOVE LINK SET DONE!** （切り離し終了） ↓約5秒後 通常運用

切り離せるハードディスクがない、または切り離すと運用に使うハードディスクがなくなる場合、ERROR!を表示し、約5秒後に手順1の状態に戻ります。

初期化のしかた（FORMAT）

ハードディスクを初期化するときは以下の操作を行ってください。初期化は、以下の状態のときに行うことができます。

ERR（書き込みエラー時）、＊（ハードディスク交換後）、ADD（ハードディスク追加）、容量表示、REMOVED

ハードディスクを初期化すると、録画された画像はすべて消去されます。必要な画像はすべて本機前面にあるカードスロットに挿入した外部メディアにコピー（→87ページ）またはネットワーク機能を使ってサーバーに転送するか、前面パネルにあるVIDEO OUT/AUDIO OUT端子にVTRを接続してコピー（→95ページ）してください。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　DISK MENU画面を表示する（→102ページ）		DISK MENU NO.1:xxxGB NO.2:xxxGB CURRENT MODE:SINGLE DISK MODE　SET→ REMOVE LINK SET→ HDD FORMAT　SET→ RESTART　SET→
2　▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをHDD FORMATに移動する		**HDD FORMAT SET→**
3　ジョグダイヤルを押す	パスワードを入力できるようになります	**PASSWORD -----**

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
4　ジョグダイヤルを回して、管理者用（ALL）パスワードを入力する ジョグダイヤルを押すと、カーソルを次のけたに移動できます。 カメラ選択ボタン1〜4でパスワードを入力することもできます。	正しいパスワードを入力すると、HDD選択に変わります。	**PASSWORD ******* ↓ **DISK NO. 1→**
5　ジョグダイヤルを回して初期化する ハードディスクを選択する	以下から選択できます。 **1**：NO.1のHDDを初期化 **2**：NO.2のHDDを初期化 **ALL**：接続されている全HDDを初期化 （システムの状態によってはALLのみの選択になることがあります）	**DISK NO. ALL→**
6　ジョグダイヤルを押す	確認画面に換わります	**HDD FORMAT NO**
7　ジョグダイヤルを回す	ジョグダイヤルを回してYES（初期化する）を選択します。	**HDD FORMAT YES→**
8　ジョグダイヤルを押す	初期化が完了するまでそのままお待ちください。	**NOW FORMATTING**（初期化中） ↓ **HDD FORMAT SET DONE!**（初期化終了）

操作

ハードディスクのメンテナンス

再起動のしかた（RESTART）

DISK MENU画面の操作を終了し、通常運用に戻る場合、リスタートを行います。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　DISK MENU画面を表示する (→102ページ)		DISK MENU NO.1:xxxGB NO.2:xxxGB CURRENT MODE:SINGLE DISK MODE　SET→ REMOVE LINK　SET→ HDD FORMAT　SET→ RESTART　SET→
2　▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをRESTARTに移動する		RESTART SET→
3　ジョグダイヤルを押す		RESTART NO
4　ジョグダイヤルを回してYESを選択する	以下の2種類のモードが選択できます。 YES：通常運用モード PLAY ONLY：再生専用モード	RESTART YES→
5　ジョグダイヤルを押す	再起動します。	RESTART YES→ ↓ 再起動（ハードディスクの状態に変更があるとき、再度DISK MENU画面を表示します）

・再生専用モードは本機の故障などにより、通常運用ができなくなった場合に、画像を再生するために使用します（故障の内容によっては再生できないこともあります）。故障の際は販売店にご相談ください。
誤って再生専用モードにしてしまった場合は、再度DISK MENU画面を表示し、RESTARTでYES（通常運用モード）を選択してください。

・再生専用モードで使用する場合、カメラ画像表示中は“STOP（PO）”を表示します。

・ハードディスクの状態がREMOVEDの時は、再起動せずに通常運用に戻ります。

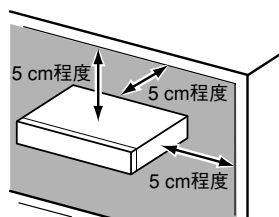
・再生専用モードでは録画できません。

設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

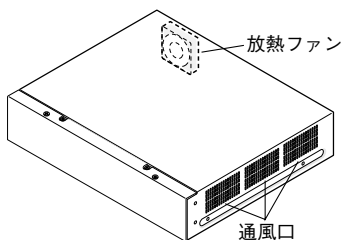
①直射日光の当たる場所
②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
⑥傾斜のある場所

横置き（水平）に設置してください

縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。

放熱について

内部に熱がこもると、火災や故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。

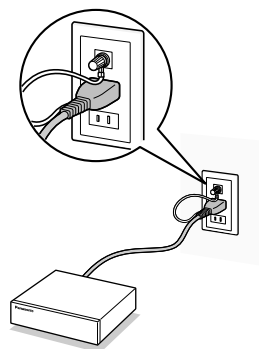
- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。交換は販売店にご依頼ください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないようにしてください。

雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

ラックにマウントするときは

- 本機をラックマウントする場合は、必ずEIA規格相当のラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。
- ラック内の温度が45 ℃以上にならないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）を確認してください。

電源について

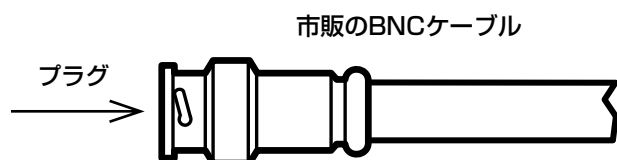
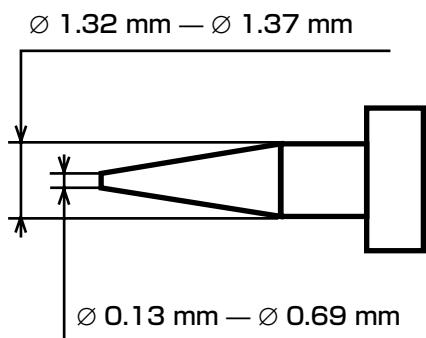
アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

（1） 電源制御ユニットを介して接続する。
（2） 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
（3） 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

設置上のお願い

BNCケーブル接続時

機器の設置時、本機後面のBNC端子に市販のBNCケーブルを使って接続する場合、指定の規格合格品を使用してください。
適合プラグ　JIS：C5412
※規格番号末尾は改定されている場合があります。

推奨適合プラグのピン形状

・カメラと本機間の最大延長距離は500 mです（同軸ケーブル5C-2V使用時、抵抗値20 Ω以下）。

工事説明

ハードディスクセーフティモードについて

本機の電源を切れない状況で、設置作業を行わなければならないときは、HDD SAFETY MODEを「ON」にして作業を行ってください。HDD SAFETY MODEは、MAIN MENU - SYSTEM SETUPで設定できます。

・電源「|」時に、HDD SAFETY MODEが「OFF」の状態で作業を行った場合、振動や衝撃により、ハードディスクが故障する恐れがあります。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになる場合は、以下の手順で本機をセットアップしてください。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　背面の電源スイッチを「|」にする	通電ランプが点灯し、ハードディスクの状態を自動的に確認します。	ハードディスクの状態確認中、モニターにメッセージが数秒表示されます。
	システムチェック後、HDD SAFETY MODE画面が表示され、ハードディスク停止制御を行います。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1～4のランプが緑色に点滅します。約30秒間そのままお待ちください。	*** HDD SAFETY MODE *** DO NOT MOVE HDD! WAIT UNTIL ALL HDD MOTORS STOP. -STILL IN PROCESS FOR STOP-
	すべてのハードディスクの動作停止制御を終え、モーターが停止すると、右の画面が表示されます。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1～4のランプが2秒間緑色点灯→2秒間橙色点灯を繰り返します。作業は右の画面を確認してから行ってください。	*** HDD SAFETY MODE *** ALL HDD MOTORS STOPPED NOW YOU CAN MOVE UNIT SELECT OFF AND PUSH JOG TO RESTART. HDD SAFETY MODE ON
2　ジョグダイヤルを回してOFFに変更する		HDD SAFETY MODE OFF
3　ジョグダイヤルを押す	自動的に再起動し、通常運用モードに移行します。	HDD SAFETY MODE SET DONE

設置工事について

メンテナンス（ハードディスクの交換や設置作業など）を行うときは

運用開始後に、ハードディスクの交換や設置作業（ラックへの取り付け、取り外し）などメンテナンスを行う際、以下の操作を行ってください。

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
1　MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒間）	多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。	（下記 MAIN MENU 画面）
2　SYSTEM SETUP⤵にカーソルを合わせる		**SYSTEM SETUP ⤵**
3　ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP（1/2）画面が表示されます。カーソルをDISK END BUZZに合わせ、▼ボタンを押すと、SYSTEM SETUP（2/2）画面を表示できます。	（下記 SYSTEM SETUP 画面）
4　HDD SAFETY MODEにカーソルを合わせる		**HDD SAFETY MODE OFF**
5　ジョグダイヤルを回してONに変更する		**HDD SAFETY MODE ON**
6　停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。	
7　MAIN MENU画面が消えるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒間）	自動的に再起動し、HDD SAFETY MODEに入ります。	

```
WJ-HD150 MAIN MENU

TIMER           OFF
REC SETUP ⤵
EXT REC SETUP ⤵
DISPLAY SETUP ⤵
SYSTEM SETUP ⤵
ALARM SETUP ⤵
NETWORK SETUP ⤵
SWITCHER SETUP ⤵
SYSTEM INFORMATION ⤵
```

```
SYSTEM SETUP   (1/2)

PASSWORD LOCK       OFF
  ALL→              *****
  OPERATION→        *****
KEYLOCK BUZZ        ON
SKIP ALM-RECALL     1PAGE
SIMUL REC&PLAY      ON
ALTER DETECT        OFF
DISK END MODE       CONTINUE
DISK END BUZZ       ON
```

```
SYSTEM SETUP   (2/2)

PLAY PRIORITY     LOCAL
TIME ADJUST SETUP ⤵


CARD COPY LOCK    OFF
 PASSWORD→        *****

RESOLUTION→       NORMAL→

HDD SAFETY MODE   ON
```

つづく

工事説明

続き

操作手順	状　態	多画面モニターの状態
	HDD SAFETY MODE画面が表示され、ハードディスク停止制御を行います。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1～4のランプが緑色に点滅します。約30秒間そのままお待ちください。	*** HDD SAFETY MODE *** DO NOT MOVE HDD! WAIT UNTIL ALL HDD MOTORS STOP. -STILL IN PROCESS FOR STOP-
	すべてのハードディスクの動作停止制御を終えモーターが停止されると、右の画面が表示されます。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1～4のランプが2秒間緑色点灯→2秒間橙色点灯を繰り返します。作業は右の画面を確認してから行ってください。	*** HDD SAFETY MODE *** ALL HDD MOTORS STOPPED NOW YOU CAN MOVE UNIT SELECT OFF AND PUSH JOG TO RESTART. HDD SAFETY MODE ON
8　ジョグダイヤルを回してOFFに変更する		**HDD SAFETY MODE OFF**
9　ジョグダイヤルを押す	自動的に再起動し、通常運用モードに移行します。	**HDD SAFETY MODE SET DONE**

工事説明

各部のなまえ（後面パネル部）

スポット出力(BNC)

モニターを接続します。この端子に接続したモニターをスポットモニターと呼びます。

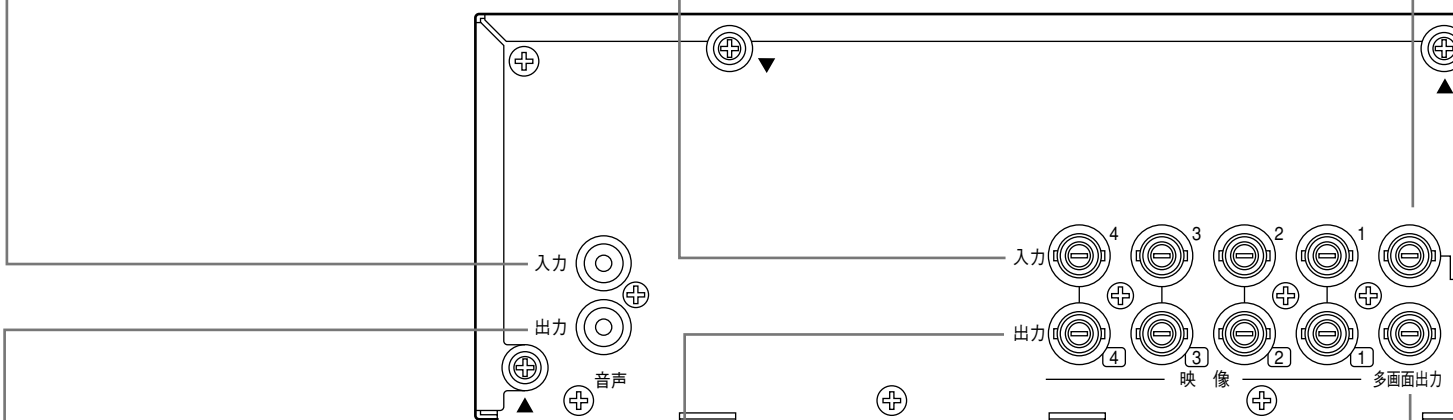
スポットモニターにはカメラ画像のみ表示できます。多画面、再生画像、設定メニューは表示できません。

音声入力(ピンプラグ)

LINE入力です。マイクアンプなどからの音声を入力します。

入力した音声は音声出力端子から出力されます(再生時は録音された音声が出力されます)。

映像入力1～4(BNC,75Ω自動終端付)

カメラやレシーバーなどの映像出力機器を接続します。

音声出力(ピンプラグ)

音声を出力する端子です。音声入力に入力した音声が出力されます。再生時は、録音されている音声が出力されます。

映像出力1～4(BNC,ループスルー)

映像入力1～4端子に入力した映像が出力されます。

多画面出力(BNC)

モニターを接続します。この端子に接続したモニターを多画面モニターと呼びます。

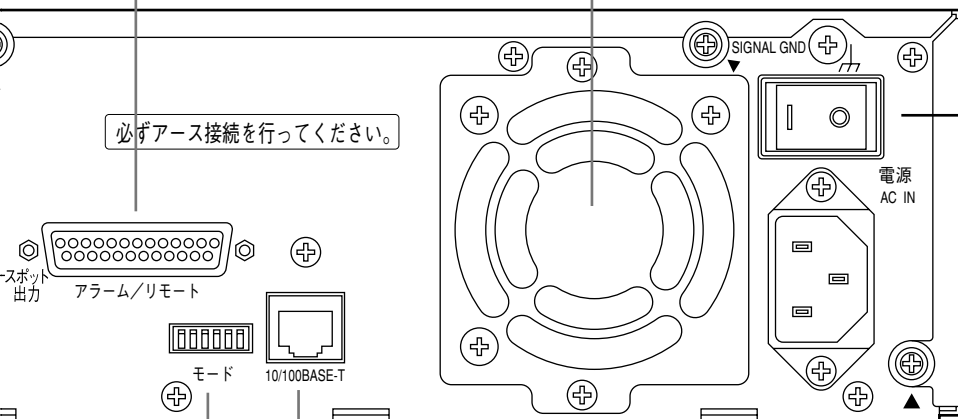
多画面モニターには、以下の画像を表示できます。
・カメラ画像
・再生画像
・設定メニュー

工事説明

アラーム/リモート端子(D-SUB25ピン)

センサーなどを接続します。または、外部機器で本機を操作する場合、本機を操作するための制御スイッチなどを接続します。

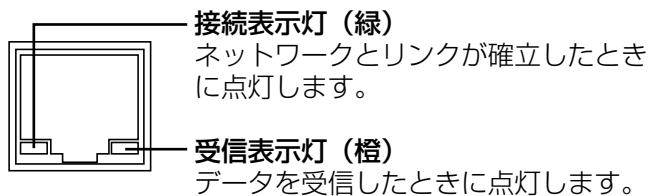
放熱ファン

放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません)。放熱ファンの交換は、当社サービスマンまたは販売店にご相談ください。

電源スイッチ

モードスイッチ

本機の動作モードを設定します。

ネットワークポート

本機を10BASE-Tまたは100BASE-TXネットワークに接続します。ネットワーク接続されたPCから本機を操作する場合に使用します。

接続表示灯（緑）
ネットワークとリンクが確立したときに点灯します。

受信表示灯（橙）
データを受信したときに点灯します。

接続のしかた

基本的な接続例

本機単体で使用する場合の接続例を紹介します。

接続上の注意

・電源プラグは最後に接続してください。

・外部スイッチまたはセンサーを使用する場合→118ページ

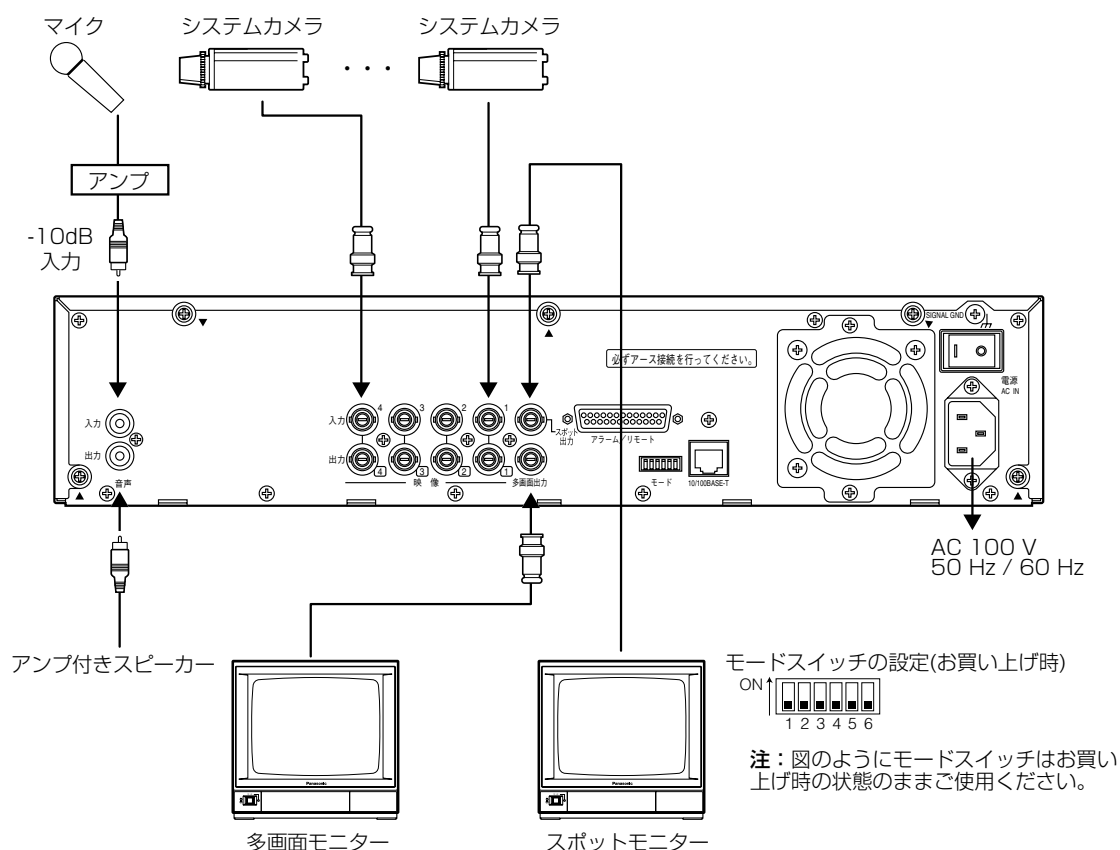
関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
REC SETUP	REC MODE	音声を録音する場合、録画モードをSF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aから選択すること。

接続例

注：図のようにモードスイッチはお買い上げ時の状態のままご使用ください。

工事説明

ネットワークへの接続例（遠隔操作）

本機をネットワークに接続すると、ネットワークに接続されたPC（ウェブブラウザー）で本機を操作できます。

接続上の注意

・電源プラグは最後に接続してください。

・本機とPCを1対1で接続する（HUB/ルーターを使用しない）場合、LANケーブルはクロスケーブルをご使用ください。

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容は必ず確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
NETWORK SETUP		ネットワークに関する各種アドレスを設定すること。→59ページ

PCのネットワーク環境の設定方法は→128ページ

接続例

LANケーブル
(市販品: 10BASE-T/100BASE-TX
カテゴリ5以上、ストレート)

AC 100 V
50 Hz / 60Hz

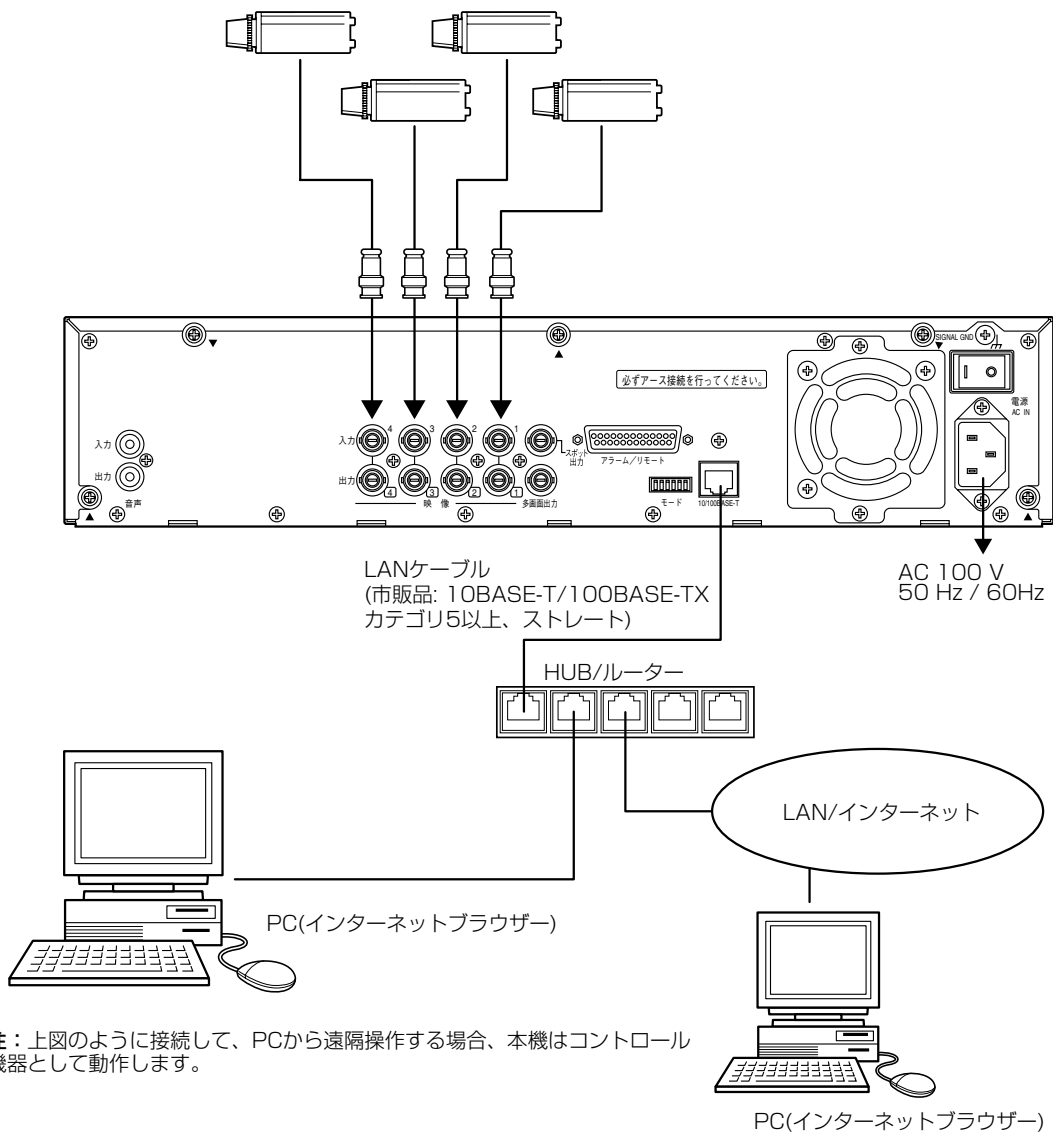
HUB/ルーター

LAN/インターネット

PC(インターネットブラウザー)

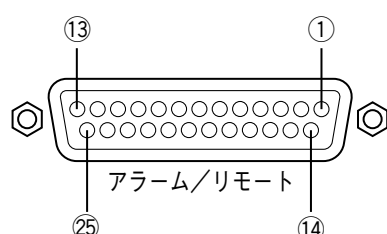
PC(インターネットブラウザー)

注：上図のように接続して、PCから遠隔操作する場合、本機はコントロール機器として動作します。

工事説明

接続のしかた

アラーム/リモート端子の使いかた

ピン配列

アラーム/リモート端子のピン配列は以下のとおりです。

ピン番号	I/O	信号名	定格
1	IN	アラーム復帰入力	無電圧メイク接点　パルス幅100 ms以上
2	IN	アラーム1入力	同上
3	IN	アラーム2入力	同上
4	OUT	アラーム復帰出力1	DC5 V　220 Ω　正極性（※1・※3）
5	OUT	アラーム復帰出力2	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA（※2・※3）
6	OUT	アラーム出力1	DC12 V　4.7 kΩ　正極性（※4）
7	OUT	アラーム出力2	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA（※4）
8	OUT	ディスクエンド出力	同上
9	OUT	機器異常検知出力	同上
10	IN	アラーム3入力	無電圧メイク接点　パルス幅100 ms以上
11	IN	アラーム4入力	同上
12	OUT	録画中出力	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA
13	IN	時刻合わせ入力	無電圧メイク接点　パルス幅100 ms以上
14	OUT	時刻合わせ出力	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA
15		未使用	
16		未使用	
17		未使用	
18		未使用	
19, 20		シグナルグランド	
21	OUT	再生中出力	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA
22	IN	外部録画入力	無電圧メイク接点　パルス幅100 ms以上
23		未使用	
24	IN	シーケンス入力	無電圧メイク接点　パルス幅100 ms以上
25	OUT	シーケンス出力	オープンコレクタ　DC24 V 最大100 mA

※1：通常5 V、アラーム動作時0 V、アラーム復帰後5 V

※2：通常クローズ、アラーム動作時オープン、アラーム復帰後クローズ

※3：アラーム復帰出力1/2は連動して動作します。

※4：アラーム出力1/2は連動して動作します。

アラームの接続

・センサーは、アラーム入力1～4に接続できます。センサーが動作すると、設定内容に従って動作します。

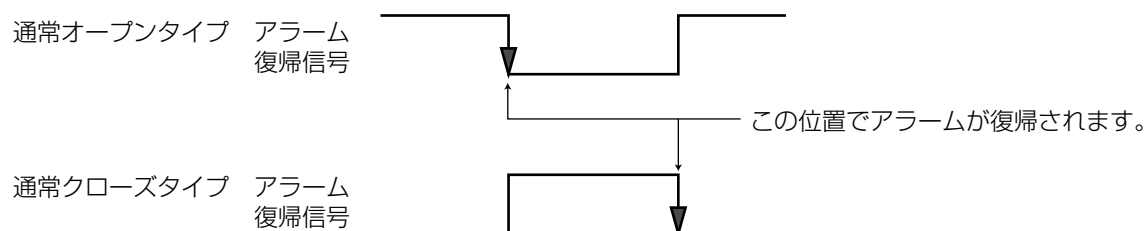
・アラーム復帰ボタンの代わりにアラーム復帰スイッチを接続することができます（アラーム復帰スイッチで、アラームを復帰すると、アラームランプは点滅から点灯に変わります）。

・アラーム出力に、ブザーや警報装置などを接続することができます。

接続上の注意

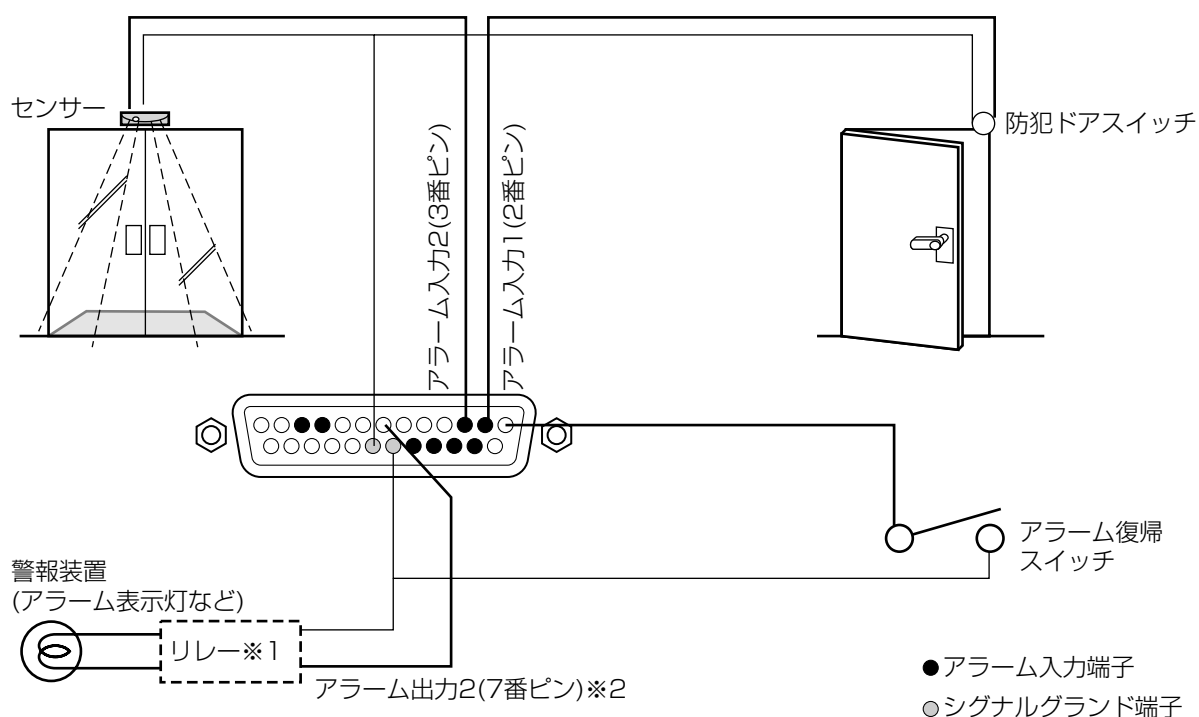
・センサーは本機の定格に適合する機器を接続してください。

・アラーム出力およびアラーム復帰出力に接続する機器の定格を確認し、適合するピンに接続してください。

・アラーム復帰入力に接続するスイッチの種類によって、復帰するタイミングが下図のように異なります。

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
ALARM SETUP	全項目（VMDは除く）	音声を録音する場合、録画モードをSF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aから選択すること。→28～38ページ

接続例

※1: リレーは必要に応じて取り付けること。
※2: DC 12 V タイプの機器を接続する場合は、アラーム出力1(6番ピン)に接続すること。

アラーム復帰出力1（4番ピン）または2（5番ピン）で、他の機器にアラーム復帰を通知することができます。アラーム復帰出力1と2では定格が異なりますので、接続する機器の定格にあったピンに接続してください。

接続のしかた

自動時刻補正を行う場合

時刻合わせ入力（13番ピン）または時刻合わせ出力（14番ピン）を使えば、他の機器（例えば親時計）の時刻で、本機の時刻を補正したり、本機の時刻で他の機器の時刻を補正することができます。

本機の時刻で他の機器の時刻を合わせる

本機に設定されている時刻を基に、他の機器の時刻を合わせます。時刻合わせ出力端子から1秒間パルスを出力します。

本機の時刻を他の機器の時刻に合わせる

時刻合わせ入力端子にパルスが入力されると、時刻を00分に合わせます。毎時±15分の範囲で補正できます。
例：7：45〜8：15→8：00、8：45〜9：15→9：00

接続上の注意

・本機の定格に適合する機器を接続してください。

・時刻合わせ入力と時刻合わせ出力を同時に使用することはできません。

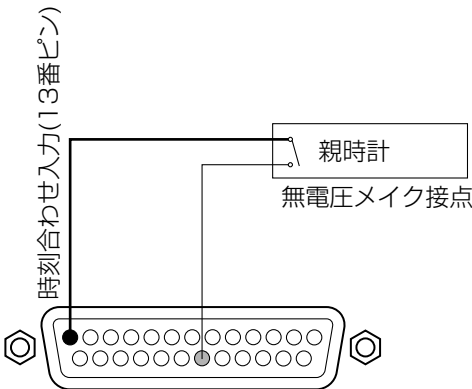
関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SYSTEM SETUP（2/2）	TIME ADJUST SETUP	本機の時刻で他の機器の時刻を合わせる場合：MASTERに設定する。 本機の時刻を他の機器の時刻に合わせる場合：SLAVEに設定する。

接続例

下図は親時計で本機の時刻を補正する場合の例です。この場合、TIME ADJSUST SETUPはSLAVEに設定します。

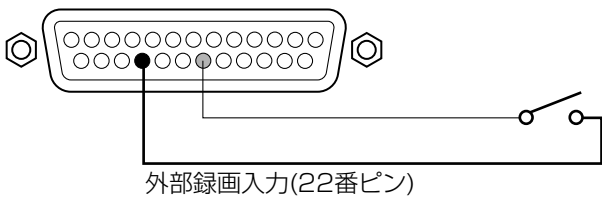
工事説明

外部スイッチで録画する

外部録画入力（22番ピン）にスイッチを接続すれば、スイッチをONにしている間、録画モードを切り換えて録画することができます。なお、外部スイッチで録画を開始することはできません。

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
EXT REC SETUP	REC MODE	外部スイッチをONにしている間の録画モードを設定する。

接続例

その他の端子

その他のピンの働きは以下のとおりです。

ピン番号	信号名	働き
8	ディスクエンド出力	ハードディスクの残量が設定値に達したとき2秒間クローズになり、ハードディスクの空きがなくなったときクローズになり続けます。
9	機器異常検知出力	温度異常など本機に異常が発生したとき、クローズになります。
12	録画中出力	録画中オープンになります。
21	再生中出力	再生中オープンになります。
24	シーケンス入力	シーケンスの切り換えタイミングを入力したいときクローズにします。クローズにするとシーケンスを1ステップ実行し停止します（シーケンスの開始はできません）。
25	シーケンス出力	多画面モニターでシーケンスを実行中、画像が切り換えられるたびにパルスが出力されます。

関連設定項目

シーケンス入力（24番ピン）を使用するときは、以下の設定を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SEQUENCE SETUP	SEQUENCE TIMING	EXTに設定してください。

接続のしかた

ラックに取り付ける

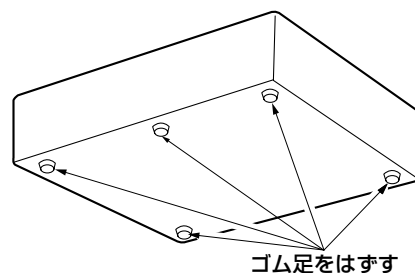
本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

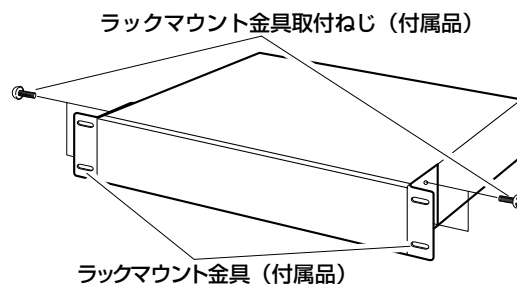
- ●スタンダードラック　：WU-RS71（当社製、収納ユニット数29U）
- ●ロングラック　：WU-RL76（当社製、収納ユニット数41U）
- ●EIA規格相当品（他社製）　：EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

・ラック内の温度は、＋45 ℃以上にならないようにしてください。
・ラック取り付け時は、1 U（44 mm）以上の間隔をあけて、本機を下側に取り付けてください。
・組み込むラックの前面に扉をつけるなどして、ふさがないでください。
・ラック設置時は、ラック内温度が＋30 ℃以下におさまるよう、ファンなどの取り付けをおすすめします。

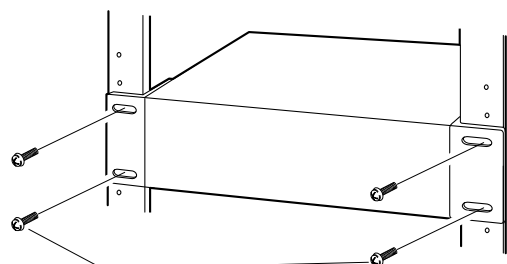
・他社製ラックに取り付ける場合は、別売りのラック取付ねじ　W2-MSS／5008、またはM5×12ねじ（4本）が必要です。付属のラック取付ねじ（呼び径5タッピング）を使用すると、ラック取付部のねじ山を壊す恐れがあります。

1. 底面のゴム足（5個）を外します。

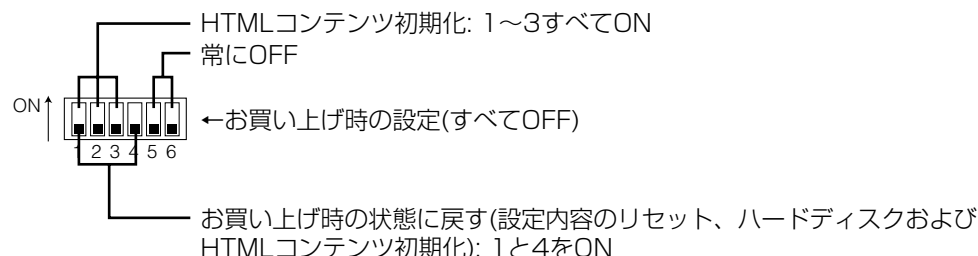
   マイナスドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。

2. 本機の両側面に、ラックマウント金具を取り付けます。

   ラックマウント金具取付ねじ （4本）で確実に固定してください。

3. 本機をラックに取り付けます。

   ラック取付ねじ（呼び径5タッピング）（4本）で確実に固定してください。

工事説明

モードスイッチについて

モードスイッチで以下の設定を行います。

・HTMLコンテンツの初期化
・ネットワーク設定メニューの初期化
・お買い上げ時の状態に戻す

HTMLコンテンツの初期化

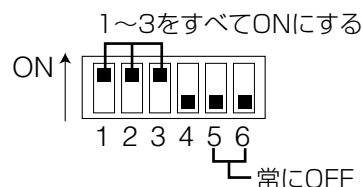
本機に搭載されているHTMLに不具合があった場合、初期化することによってお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1　録画、再生を停止し、本機の電源を切る。

2　モードスイッチを右図のように変更する。

3　電源を入れる。

　　HTMLコンテンツを初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
　　初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。

4　モードスイッチを元の状態に戻し、停止ボタンを押す。

ネットワーク設定メニューの初期化

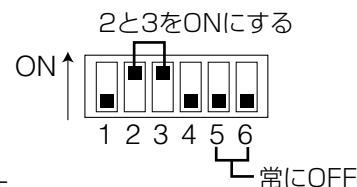
本機のネットワーク設定（156ページ～160ページ）をお買い上げ時の状態に戻すときは以下の操作を行ってください。

1　録画、再生を停止し、本機の電源を切る。

2　モードスイッチを右図のように変更する。

3　電源を入れる。

　　ネットワーク設定値を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
　　初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。

4　モードスイッチを元の状態に戻し、停止ボタンを押す。

モードスイッチについて

お買い上げ時の状態に戻す

本機をお買い上げ時の状態に戻すときは以下の操作を行ってください。

この操作を行うと、設定内容のリセット、HTMLおよびハードディスクの初期化が同時に行われます。本操作を行う前に、必要な画像をVTRにコピーする、またはPCにダウンロードしてください。HTMLおよびハードディスクの初期化は個別に行うこともできます。

・HTMLの初期化→123ページ
・ハードディスクの初期化→106ページ

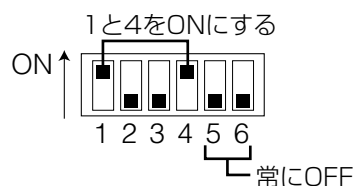
1　録画、再生を停止し、本機の電源を切る

2　モードスイッチを右図のように変更する

1と4をONにする
ON
1 2 3 4 5 6
常にOFF

3　電源を入れる

設定内容のリセット、HTMLおよびハードディスクの初期化が開始されます。
初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。

4　電源を切り、モードスイッチを必ず元の状態に戻す
元の状態に戻さずに、電源を入れると再度初期化が開始されますので注意してください。

アワーメーター、時刻は初期化されません。

HTML操作編

本機をネットワークに接続すると、PCにインストールされているウェブブラウザーで、本機を操作したり設定したりすることができます。

機能概要

ネットワークから最大4人まで同時に操作できます。

・カメラ画像の表示・録画・再生

本機単体で使用する場合と同等の操作を行うことができます。

・画像の保存・送信

ウェブブラウザーに表示している画像をPCのハードディスクにJPEG形式で保存できます。FTPクライアントを設定すれば、指定したFTPサーバーに定期的に画像を送信できます。

・アラーム・障害通知機能

アラーム・障害が発生したとき、指定したメールアドレスにメールを送信して通知することができます。メールを送信する際、アラーム発生時の画像を添付して送信することもできます。

・ユーザー認証機能

利用者のレベルを3段階に分けて登録できます。

管理者（アクセスレベル1）：セットアップを含むすべての機能を使用できます。一人以上登録してください。

ライブ画表示＆画像再生（アクセスレベル2）：カメラ画像表示、再生、検索を行うことができます。録画、セットアップは行うことはできません。

ライブ画表示（アクセスレベル3）：カメラ画像の表示を行うことができます。再生、録画、セットアップを行うことはできません。

・ホスト認証機能

登録されていないIPアドレスからは本機に接続できないように設定できます。

・リモート操作を行うと、最大録画レートが7.5 IPS～30 IPSの間で変動します。

・使用する回線速度または回線状態によっては、画像が表示または更新されるまで時間がかかる場合があります。

・再生優先順位（→51ページ）の設定内容により、ネットワークからの操作が解除されることがあります（BUSYが表示されます）。

保存または転送した画像を画像処理ソフトウェアで表示すると横長の画像が表示されることがあります。正常なサイズで確認したい場合は、高さが2倍になるよう画像解像度を変更してください。

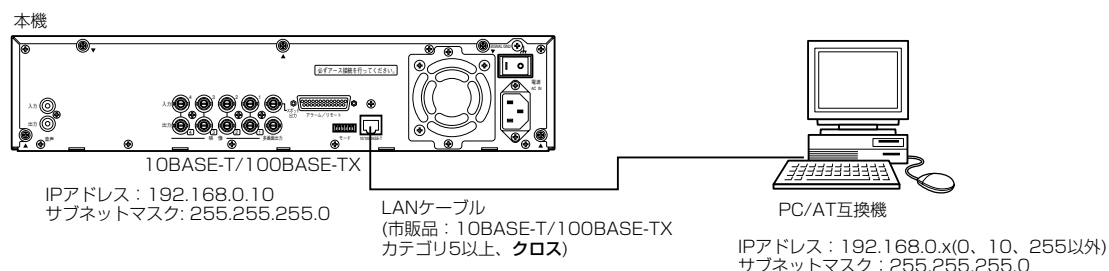
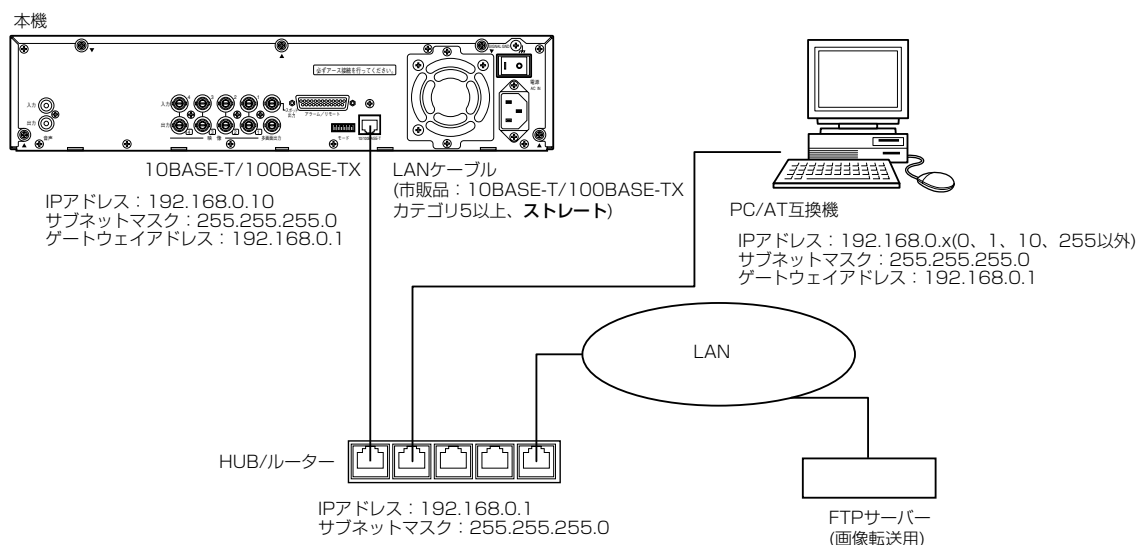
使用前の準備

PCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCが必要です。

OS	Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはHome Edition SP2日本語版
コンピューター	IBM PC/AT互換機
CPU	Celeron 700 MHz以上
メモリ	128 MB以上
画面	1024×768ピクセル以上の解像度、HIGH color 16ビット以上
インターフェース	10/100 MbpsのEthernetカードが内蔵されていること
対応しているネットワークプロトコル	
	TCP/IP、HTTP、SMTP、FTP、DHCP、SNMP、DNS/DDNS
推奨ウェブブラウザー	Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1以降
	上記以外のウェブブラウザーをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

接続のしかた

本機を直接PCに接続する場合

既存のネットワークに本機を組み込む場合

使用前の準備

ネットワーク環境の設定

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不用です。接続完了後、ウェブブラウザーから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス：192.168.0.2～192.168.0.9、192.168.0.11～192.168.0.254
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス：192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機の設定

本機をPCの環境に合わせる場合は、NETWORK SETUP画面で設定します。→59～62ページ

PCの設定

PCを本機の環境に合わせる場合は、以下の手順で操作してください（本機を直接PCに接続する場合で、Windows XPの標準設定を例に説明します）。その他のOSをご使用の場合の設定方法は、ご使用になるOSの説明書をお読みください。

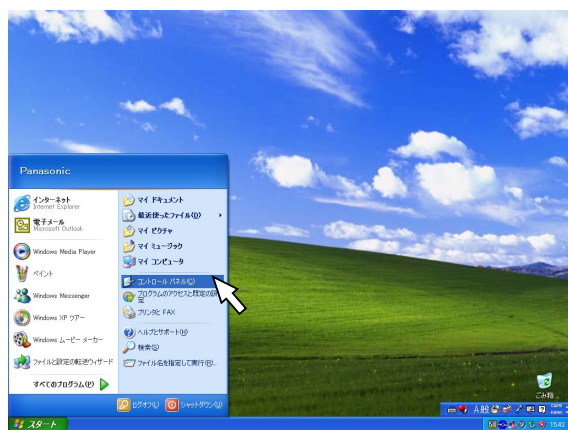
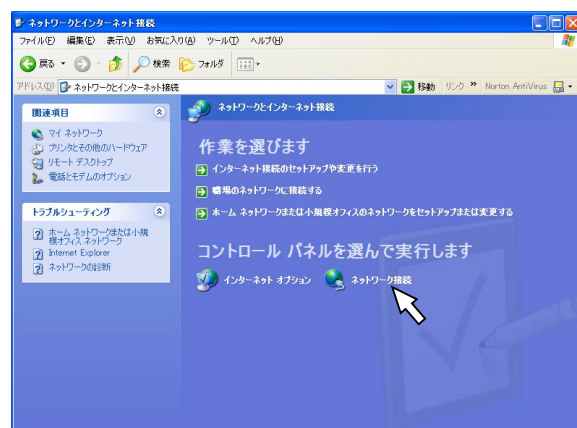
1. PCを起動する。

   「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインします。

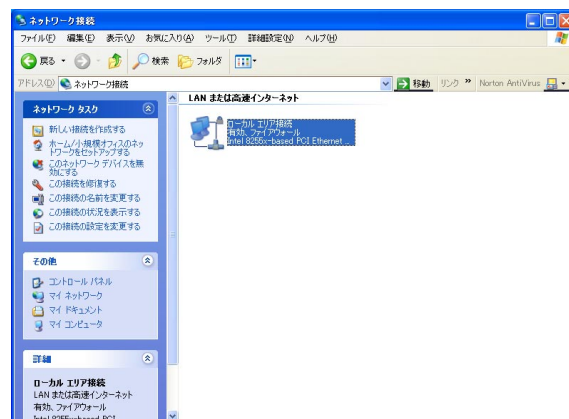
2. スタート画面からコントロールパネルを選択する。

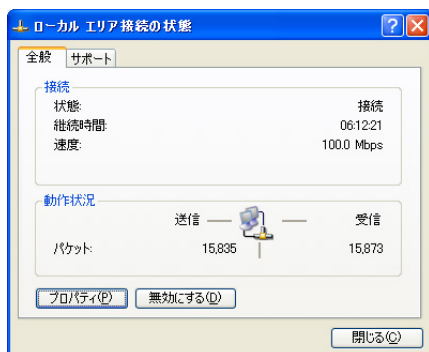
コントロールパネルが表示されます。

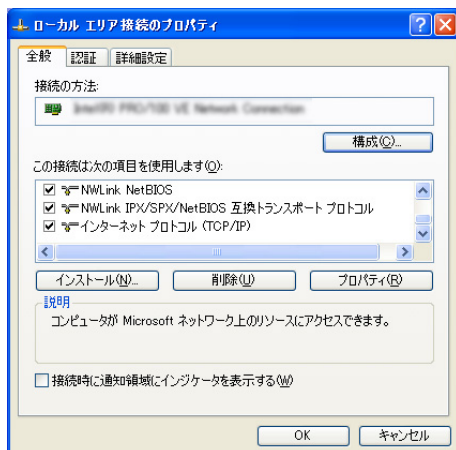
3. ネットワークとインターネット接続をクリックする。

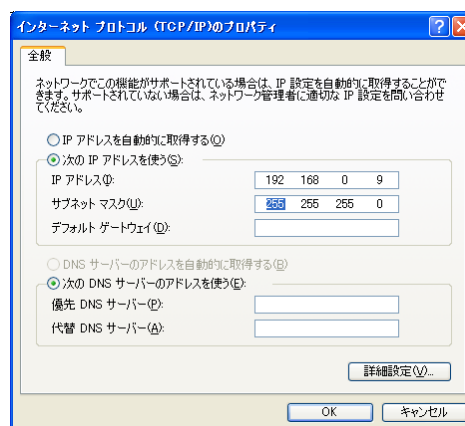
   ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。

4. ネットワーク接続をクリックする。

   ネットワーク接続画面が表示されます。

HTML操作

5. ローカルエリア接続をダブルクリックする。

ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

6. [プロパティ]をクリックする。

ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

7. インターネットプロトコル（TCP/IP）をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ画面が表示されます。

8. ［次のIPアドレスを使う］をクリックし、［IPアドレス］と［サブネットマスク］を以下のように設定します。
・IPアドレス：192.168.0.9
・サブネットマスク：255.255.255.0

9. [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じる。

10. ローカルエリア接続のプロパティ画面を表示し、接続を有効にする。

11. 「操作のしかた」（➞131ページ）を参照し、操作画面を表示する。

12. 基本操作パネルから[設定メニュー]ボタンをクリックし、メイン設定メニュー（ネットワーク設定メニュー）を表示する。

必要に応じて以下の項目を設定してください。
・ユーザー設定➞156ページ
・ホスト設定➞157ページ
・FTPクライアント設定➞158ページ
・メール設定➞159ページ
・ブラウザー表示設定➞160ページ

上記5項目は、ウェブブラウザー上からのみ設定できます。

・本機でセットアップ中（セットアップ画面表示中）、HTMLの設定メニューで設定の変更はできません。
・入力項目には、HTMLタグとして有効な文字列を入力しないでください。以降の正常な設定ができなくなる場合があります。万一、そのような場合には、設定内容の初期化を行ってください。➞123ページ

HTMLページを更新するたびに出す音が気になるときは、コントロールパネルから「サウンドとオーディオデバイス」を開き、以下のいずれかの設定を行ってください。

・サウンドタブをクリックしプログラムイベントからエクスプローラーの「ナビゲーションの開始」のサウンドを「(なし)」にする。

・音量タブをクリックし、音量を最小（またはミュート）にする。

本機のネットワークセキュリティ

本機に装備されているセキュリティ機能

①ホスト認証・ユーザー認証によるアクセスの制限

ホスト認証・ユーザー認証の設定をONにすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。

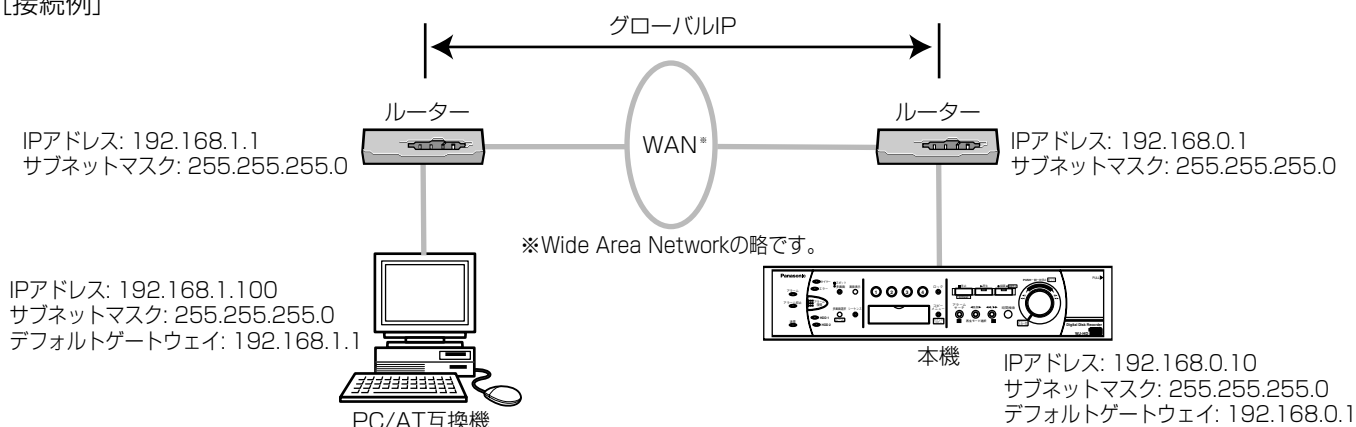
“admin”のパスワードは必ず変更してください。→156ページ

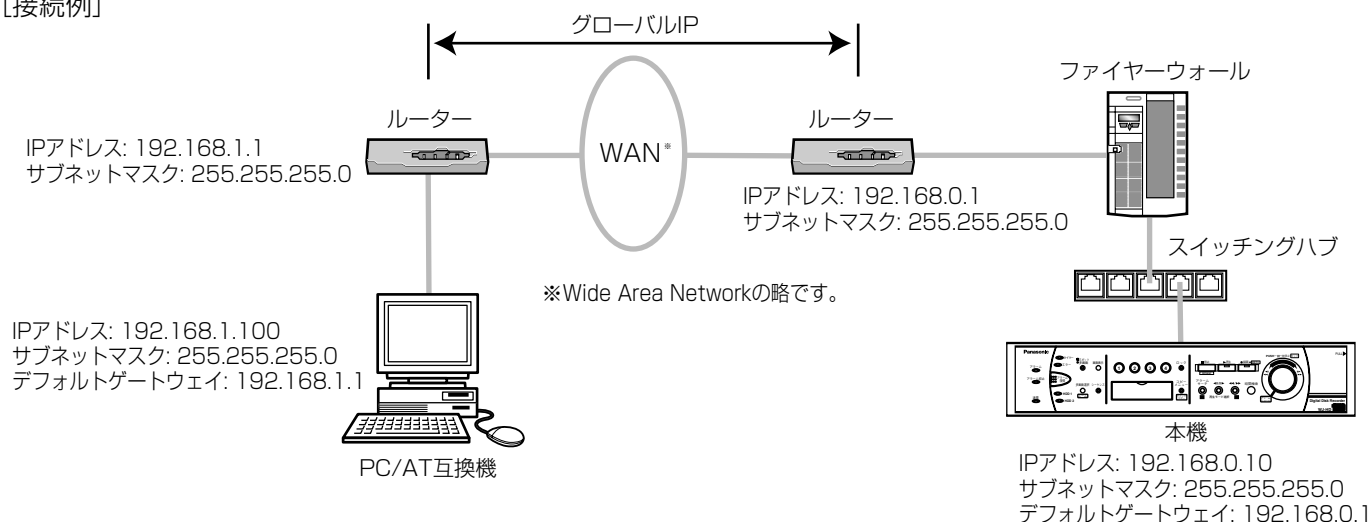
②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

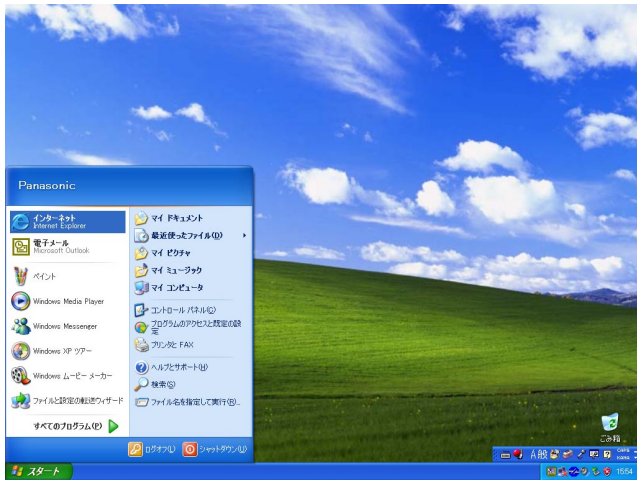
HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンニング等の不正アクセスを防止することができます。
→149ページ

セキュリティ強化のために

ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。

［接続例］

さらにファイヤーウォール等を使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

［接続例］

操作のしかた

操作画面の表示方法

ウェブブラウザー起動

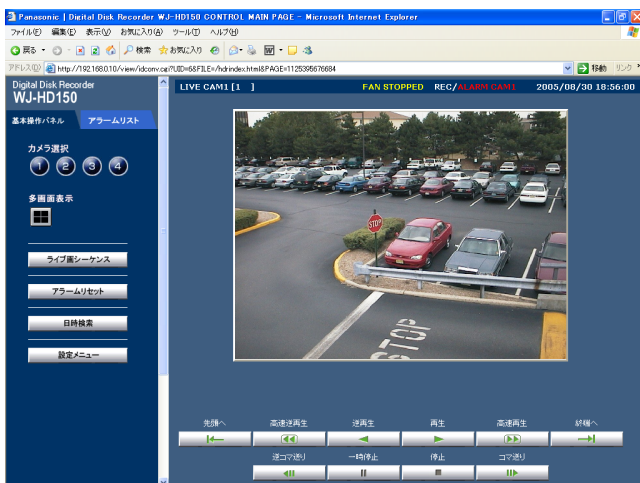
1. パソコンを立ち上げウェブブラウザーを起動する。

2. アドレス欄に本機のIPアドレス（192.168.0.10）を入力（DDNS使用時はURLを入力）し、Enterキーを押す。

   ・トップページが表示されます。

   注：「このユーザーIDはすでに無効です。ブラウザーを再起動してください。」と表示されるときは、ネットワーク管理者に確認したIPアドレス（DDNS使用時はURL）以外の文字をすべて削除してください。

お気に入りに追加することで簡単にトップページを表示することができます。

トップページ

3. ボタンをクリックして本機を操作します。

Windows XPをお使いの場合、ボタンの線の太さが異なることがあります。

操作のしかた

操作画面について

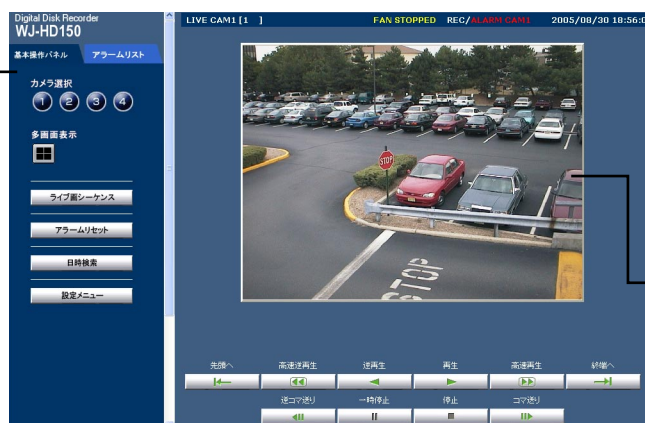
操作画面は、以下のように構成されています。ボタンをマウスでクリックして操作します。

1画面表示（起動時）

メニューエリア

基本操作パネル、アラームリスト、設定メニューを表示します。

制御エリア

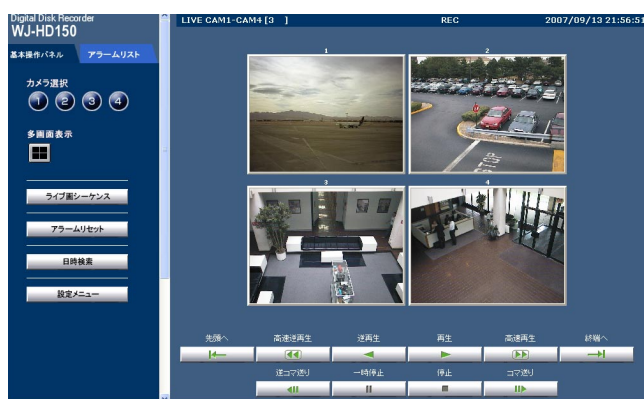
本機を操作するためのパネル（レコーダー制御パネル）を表示します。

状態表示

画像の配信時刻、動作状態、カメラの番号を表示します。

画像表示エリア

本機から配信された画像（カメラ画像または再生画像）を表示します。

画像内をクリックすると4画面表示になります。

4画面表示

画像内をクリックするとその画像を1画面で表示します。

再生中（1画面表示のときだけ、始点・終点・ダウンロードボタンを表示します）

始点

クリックすると、現在表示している画像の日時を表示します。直接入力することもできます。

ダウンロード

クリックすると、始点から終点までの画像とビューワー（HTML）を実行ファイル形式でPCにダウンロードします。

終点

ダウンロードしたい画像まで再生しクリックすると、表示されている画像の日時が表示されます。直接入力することもできます。一度にダウンロードできる録画データの時間は、最大30分です。→161ページ

基本操作パネル

①基本操作パネルタブ

基本操作パネルを表示します。

②アラームリストタブ

メニューエリアにアラームリストを表示します。番号をクリックすると、該当する画像を画像表示エリアで再生できます。→134ページ

③カメラ選択（1〜4）

選択したカメラの画像を表示します。カメラが接続されていない番号を選択すると、ブルー画像が表示されます。

④多画面表示

4台までのカメラの画像を同時に表示します。カメラが接続されていない番号の画像はブルー画像が表示されます。

⑤ライブ画シーケンス

カメラを自動的に切り換えて表示します。このボタンは、ブラウザー表示設定ページのライブシーケンス設定で「シーケンスの使用」を「ON」に設定したときのみ使用できます。→160ページ

シーケンス中にこのボタンをクリックすると、シーケンスを一時停止します。

⑥アラームリセット

アラーム動作を解除します。アラーム復帰ボタンと同じ動作を行います。

⑦日時検索

このボタンをクリックすると、日時検索画面（右図）が表示されます。

再生したい日時を入力し、OKボタンをクリックすると、画像表示エリアに再生画像が表示されます。

⑧設定メニュー

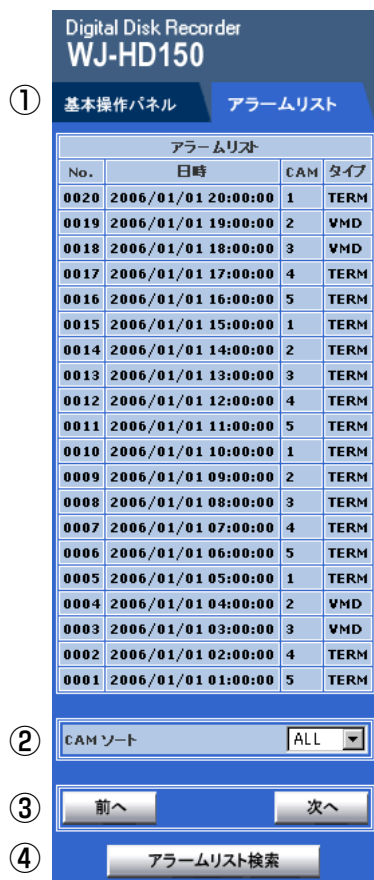
画面表示エリアに設定画面を表示します。

⑨お気に入りに追加

接続中のIPアドレス（DDNS使用時はURL）をウェブブラウザーの「お気に入り」に追加できます。

⑩録画/録画停止

[録画]ボタンをクリックすると、マニュアル録画を開始します。[録画停止]ボタンをクリックすると、マニュアル録画を停止します。

アラームリストタブ

①アラームリスト

アラームの発生日時、カメラ番号（CAM）、アラーム種別（タイプ）が一覧表示されます。番号をクリックすると、該当するアラームの録画画像を再生できます。モニターの表示（1画または4画）は、優先録画の設定（OFF/ALARM-MULTI）によって異なります。→140ページ

アラーム種別について

TERM：アラーム/リモート端子にアラームが入力されました。数字はアラーム入力の番号です。

VMD：動き検出機能が動きを検出しました。数字は、動き検出したカメラの番号です。

②CAMソート

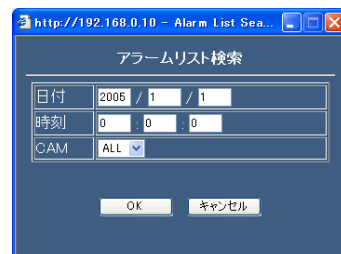
カメラ番号を選択するとリスト内のアラームをカメラ番号で絞り込むことができます。ALLを選択するとソートを解除します。

③前へ/次へ

改ページします。

④アラームリスト検索

このボタンをクリックすると、アラームリスト検索画面（右図）が表示されます。

日時を入力し、OKボタンをクリックすると、一番近い日時のページが表示されます。カメラ番号を指定すると、指定したカメラ番号のリストのみ表示されます。

基本操作パネルタブをクリックすると、基本操作パネルに戻ります。

レコーダー操作ボタン

①先頭へ

ハードディスクに録画されている画像から一番古い画像を表示し、一時停止します。再生中にのみ操作できます。

②高速逆再生

逆再生を高速で行います。クリックするたびに再生速度を切り換えることができます。再生速度は状態表示欄で確認できます。再生中にのみ操作できます。→136ページ

③逆再生

逆再生を行います。

④再生

再生を行います。

⑤高速再生

再生を高速で行います。クリックするたびに再生速度を切り換えることができます。再生速度は状態表示欄で確認できます。再生中にのみ操作できます。→136ページ

⑥終端へ

再生画像の最終画像（最新）を表示し、一時停止します。再生中にのみ操作できます。

⑦逆コマ送り

1コマ前の画像を表示し、一時停止状態にします。一時停止中にのみ操作できます。

⑧一時停止

再生を一時停止します。

⑨停止

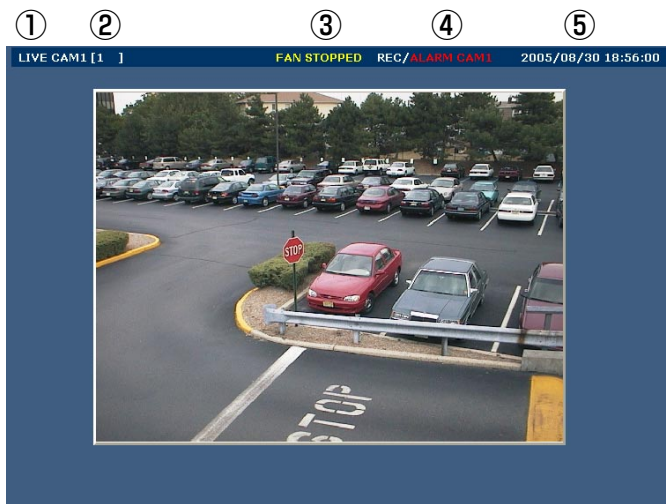
再生を停止します。

⑩コマ送り

1コマ先の画像を表示し、一時停止状態にします。一時停止中にのみ操作できます。

画面詳細

状態表示

動作状態は、画像表示エリアの上部に表示されています。回線状況などによって、表示される状態は現在の状態と異なる場合があります。

①リモート操作状態/映像入力

表示しているカメラが接続されている映像入力の番号と動作状態が表示されます。動作状態には以下の情報が表示されます。

LIVE：選択したカメラの画像を表示しています。

PLAY：再生中です。 録画レートが変動した画像を再生すると、＊PLAYと表示されます。

REV PLAY：逆再生中です。

CAMn[カメラタイトル]：再生しているカメラの番号とタイトルを表示しています。「n」は映像入力番号を表しています。

<<X5, <<X10, <<X15, <<X30, <<X50, <<X100, <<X200, >>X5, >>X10, >>X15, >>X30, >>X50, >>X100, >>X200：高速再生または高速逆再生中です。

PAUSE：一時停止中

PLAY CAMn [タイトル] AL：アラーム画像を再生しています。「n」は映像入力番号を表しています。

LIVE SEQ：カメラ画像シーケンス中

LIVE SEQ-PAUSE：カメラ画像シーケンス一時停止中

Simultaneous Rec/Playback Mode OFF：同時録再機能がOFFに設定されているため、録画中は再生できません。画像表示エリアにはBUSYが表示されます。

Local Playback in progress：再生優先順位が本機側操作に設定されているため、本機側で再生中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

Local Copy in progress：本機から外部メディアに録画画像をコピー中のため、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

FTP Download in progress：別売りのFTPソフト（WV-AS20）で録画画像をダウンロード中です。ダウンロード中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

Other Client Playback or HTTP Download：他のPCで再生中または画像をダウンロードしています。他のPCで再生中または画像をダウンロード中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

HTTP Download in progress：HTMLページから再生画像をダウンロード中です。

HTTP Download Error!!：HTMLページから再生画像ダウンロード中にエラーが発生しました。停止ボタンをクリックした後で再度カメラを選択するか、または再生操作を行ってください。

②カメラタイトル

画像表示エリアに表示しているカメラタイトルを表示します。カメラタイトルに矢印（↑↓←→）が含まれている場合、ブラウザー設定画面にはそれぞれ、u, d, l, rと置き換えて表示されます。

③異常表示

本機に、以下の異常が発生している場合、メッセージが表示されます。

THERMAL：本機の内部温度異常

HDD REMOVED：ハードディスクに障害によるハードディスク自動切り離し

HDD FULL：ハードディスク残量なし

HDD NR FULL：ハードディスク残容量警告

FAN STOPPED：FAN異常

④録画状態/アラーム発生状態

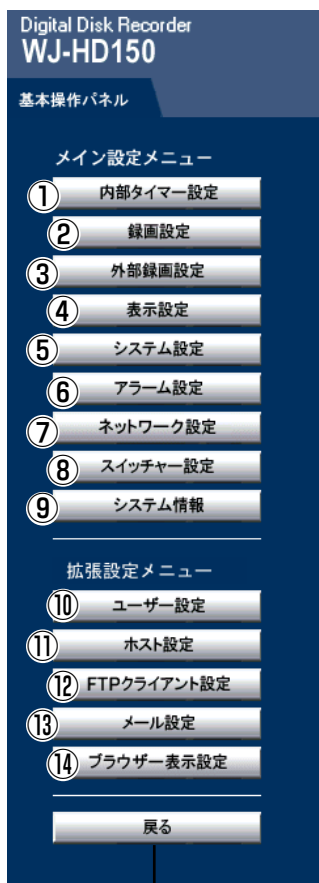
REC：本機が録画しているとき表示されます。

ALARM CAMn：アラームが発生すると表示されます。「n」はアラーム発生チャンネル番号を表しています。

⑤日時

カメラ画像を表示しているときは、現在日時が表示されます。再生中は、録画日時が表示されます。

設定メニュー

設定メニューは、基本操作パネルから設定メニューボタンをクリックして表示します。本機のセットアップメニューと同じ項目をHTML上で設定できます。拡張設定メニューは、ネットワークを利用した固有の機能を設定できます。メニュー上のボタンをクリックすると、メニューの右フレームに設定ページが表示されます。

基本操作パネルに戻ります。

・メイン設定メニュー

①内部タイマー設定

録画の開始方法を選択します。タイマー録画を選択した場合、プログラムを作成し、割り当てます。→138ページ

②録画設定

録画ボタンで録画するときの録画モードを設定します。→142ページ

③外部録画設定

本機に外部スイッチを接続して、外部スイッチで録画する際の録画モードを設定します。
→143ページ

④表示設定

本機の時刻、多画面モニターに表示する情報などを設定します。→144ページ

⑤システム設定

本機の基本的な動作を設定します。
→145ページ

⑥アラーム設定

アラーム発生時の動作および動き自動検知機能での検出エリアなどを設定します。
→147ページ

⑦ネットワーク設定

ネットワークポートに関する設定を行います。→149ページ

⑧スイッチャー設定

スポットシーケンスまたは多画面シーケンスに関する設定などを設定します。
→151 ページ

⑨システム情報

ハードディスクの累積稼働時間、システムバージョンなどを確認できます。
→153ページ

・拡張設定メニュー

⑩ユーザー設定

ネットワークから本機にアクセスするためのユーザー情報を登録します。
→156ページ

⑪ホスト設定

本機にアクセスするPCを設定します。
→157ページ

⑫FTPクライアント設定

本機に録画されている画像をFTPサーバーに送信するとき設定します。
→158ページ

⑬メール設定

アラーム発生時設定したメールアドレスにメールを送信するよう設定します。また、アラーム発生時画像を添付して送信することもできます。
→159ページ

⑭ブラウザー表示設定

画像の更新速度、ライブシーケンス時の切換順序などを設定します。
→160ページ

- 設定変更後は、各設定ページにある設定ボタンをクリックして、本機に設定内容を登録してください。
- 多画面モニターに設定画面を表示しているときや外部メディアへコピーしているときは、ウェブブラウザーから設定を変更することはできません。

内部タイマー設定ページ

本機の電源を入れたときの録画モードを設定します。

内部タイマー設定（マニュアル録画で録画する）

①タイマーモード

マニュアル録画で録画する場合、タイマーモードをOFFにします。

内部タイマー設定（連続録画で録画する）

①タイマーモード

連続録画で録画する場合、タイマーモードをEXTにします。

内部タイマー設定ページ（タイマー録画で録画する）

・タイマー録画

①タイマーモード

タイマー録画で録画する場合、タイマーモードをINTにします。

②曜日（日曜日～土曜日、毎日）

③プログラム

実行するプログラムを選択します。日曜日～土曜日のプログラムで「OFF」を選択すると、「毎日」に設定したプログラムで動作します。「毎日」も「OFF」を選択すると、その曜日ではタイマー録画は行われません。

・プログラム設定

⑥または⑦、⑧を変更したら、忘れずに⑩[設定]ボタンをクリックし、変更内容を本機に登録してください。

④PROG（プログラム番号）

⑤No.（イベント番号）

⑥ON/OFF

OFF：イベントを無効にします。

ON：イベントを有効にします。開始・終了時間の間、詳細設定で設定した録画モードで録画します。

⑦、⑧開始/終了

イベントの開始時間および終了時間を24時間制で入力します。同一プログラム内で重複する時間は設定できません。

⑨モード

クリックすると、PROGn NO.m 設定ページ（nはプログラム番号、mはイベント番号）を表示し、録画モードが表示されます。PROGn NO.m 設定ページで、イベント実行時の録画モードを設定できます。
→次ページ

⑩設定

プログラム設定の変更内容を本機に登録します。

プログラム設定ページ

①録画モード

タイマー録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間を選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP（録音しない）」または「SP-A（録音する）」を選択します。

②SPモード録画レート

タイマー録画時の録画レートを選択します。
録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

③SPモード録画画質

タイマー録画時の画質（JPEG画像の画質）を選択します。
録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

④アラーム録画モード

アラーム録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間を選択します。アラーム録画モードの録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP（録音しない）」または「SP-A（録音する）」を選択します。

⑤アラーム録画時のSPモード録画レート

録画レートを選択します。
アラーム録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

⑥アラーム録画時のSPモード録画画質

アラーム録画時の画質（JPEG画像の画質）を選択します。
アラーム録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

⑦プレアラーム録画時間

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。プレアラーム録画を行わないときは、「0 SEC」を選択します。

⑧ポストアラーム録画時間

アラームモードの継続時間（録画時間と自動復帰する時間）を選択します。

⑨優先録画

アラーム発生時、録画するカメラを選択します。
「ALARM-MULTI」にすると、アラーム番号に対応したカメラの画像のみを録画します。「OFF」にすると、全カメラの画像を録画します。

⑩設定

変更内容を本機に登録します。

⑪トリガー動作設定

トリガー動作設定ページを表示します。→次ページ

⑫録画カメラ設定

録画カメラ設定ページを表示します。→次ページ

⑬戻る

前のページに戻ります。

トリガー動作設定ページ

カメラごとにアラーム発生時の録画動作を設定します。イベントごとに設定できます。録画設定ページからこのページを表示したときは、PROGn No.m（nはプログラム番号、mはイベント番号）は表示されません。

①モード

以下から選択します。

OFF：アラーム録画とアラーム動作は行いません。

REC&ALARM：アラーム録画とアラーム動作を行います。

REC：録画のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

録画カメラ設定ページ

カメラごとに、録画動作を設定できます。録画設定ページからこのページを表示したときは、PROGn No.m（nはプログラム番号、mはイベント番号）は表示されません。

①モード

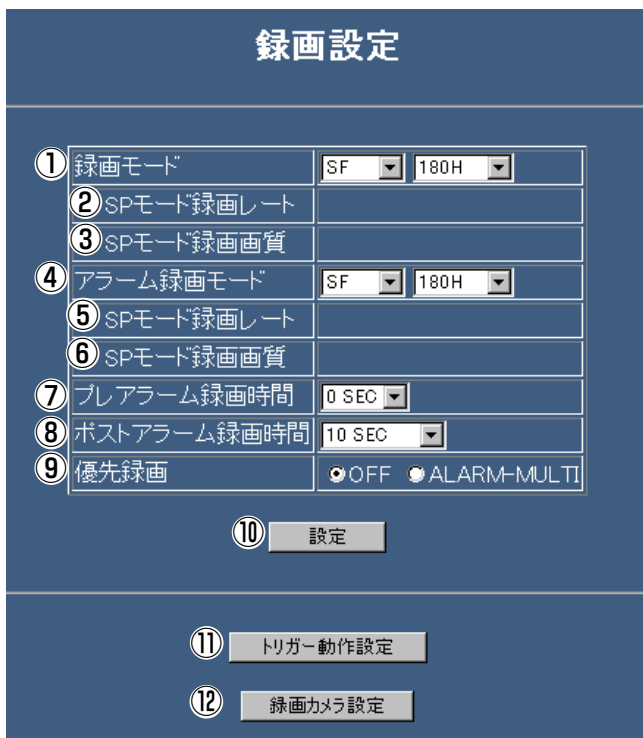
以下から選択します。

ALARM-ONLY：アラームでのみ録画を行います。マニュアルやタイマーでは録画は行いません。

REC：マニュアル、タイマー、アラーム、すべての録画動作で録画します。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

録画設定ページ

マニュアル録画/連続録画の録画モードとアラーム録画の録画モードを設定します。このページで設定したアラーム録画時の録画モードは、タイマー録画が停止しているとき（録画していないとき）に適用されます。

録画設定

項目	設定
①録画モード	SF ▼ 180H ▼
②SPモード録画レート	
③SPモード録画画質	
④アラーム録画モード	SF ▼ 180H ▼
⑤SPモード録画レート	
⑥SPモード録画画質	
⑦プレアラーム録画時間	0 SEC ▼
⑧ポストアラーム録画時間	10 SEC ▼
⑨優先録画	◉OFF ○ALARM-MULTI

⑩ 設定

⑪ トリガー動作設定

⑫ 録画カメラ設定

①マニュアル録画/連続録画時の録画モード

マニュアル録画/連続録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP（録音しない）」または「SP-A（録音する）」を選択します。

②SPモード録画レート

マニュアル録画/連続録画時の録画レートを選択します。
録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

③SPモード録画画質

マニュアル録画/連続録画時の画質（JPEG画像の画質）を選択します。
録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

④アラーム録画モード

マニュアル録画/連続録画時の録画モード、タイマー録画の録画時間範囲外に発生したアラーム録画の画質を選択します。左側で画質を、右側で録画時間を選択します。アラーム録画モードの録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP（録音しない）」または「SP-A（録音する）」を選択します。

⑤SPモード録画レート

アラーム録画レートを選択します。
アラーム録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

⑥アラーム録画時のSPモード録画画質

アラーム録画時の画質（JPEG画像の画質）を選択します。
アラーム録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

⑦プレアラーム録画時間

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。プレアラーム録画を行わないときは、「0 SEC」を選択します。

⑧ポストアラーム録画時間

アラームモードの継続時間（録画時間と自動復帰する時間）を選択します。

⑨優先録画

アラーム発生時、録画するカメラを選択します。「ALARM-MULTI」にすると、アラーム番号に対応したカメラの画像のみを録画します。「OFF」にすると、全カメラの画像を録画します。

⑩設定

変更内容を本機に登録します。

⑪トリガー動作設定

トリガー動作設定ページを表示します。→次ページ

⑫録画カメラ設定

録画カメラ設定ページを表示します。→141ページ

トリガー動作設定ページ

カメラごとにアラーム発生時の録画動作を設定します。

①モード

以下から選択します。

OFF：アラーム動作は行いません。

REC&ALARM：アラーム録画とアラーム動作を行います。

REC：録画のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

外部録画設定ページ

外部録画で変更する録画モードを設定します。アラーム録画の録画モードは、通常録画設定ページで設定した録画モードになります。

①外部録画時の録画モード

外部録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間を選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP（録音しない）」または「SP-A（録音する）」を選択します。

②SPモード録画レート

外部録画時の録画レートを選択します。
外部録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

③SPモード録画画質

外部録画時の画質（JPEG画像の画質）を選択します。
外部録画モードで「SP／SP-A」を選択したときのみ表示されます。

④設定

変更内容を本機に登録します。

表示設定ページ

モニターに表示する情報と各種ランプの点灯の有無を設定します。

①時刻設定

日時を入力します。入力した日時は、設定ボタンをクリック後、表示されたポップアップで「OK」をクリックしたとき、本機に設定されます。

②設定

設定した時刻を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③時刻表示形式（12時間／24時間）

時刻表示形式を選択します。

④時刻表示位置

表示位置を選択します。

⑤時刻埋め込み

時計表示も合わせて録画する（ON）/しない（OFF）を選択します。

時計表示も合わせて録画する設定にし、時刻表示形式で「表示しない」を選択している場合、時計表示形式はTYPE1 24Hで埋め込まれます。

⑥状態表示

多画面モニターに本機の状態表示する（ON）/しない（OFF）を選択します。

⑦状態表示位置

状態の表示位置を選択します。

⑧ハードディスク残量警告

入力した値以下になると警告します。

⑨ハードディスク障害チェック

定期的にハードディスクの自己管理報告機能（S.M.A.R.T.）を使用しハードディスクの状態を確認する場合、確認時刻を選択します。

⑩設定

「時刻設定」以外の項目の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑪カメラタイトル設定

カメラタイトル設定ページを表示します。
→次ページ

カメラタイトル設定ページ

カメラごとに名前を付けて識別しやすくします。

①タイトル

タイトルを半角文字で入力します。入力したタイトルをモニターに表示させるときは「ON」をクリックします。「OFF」にすると、タイトルを入力してもモニターには表示されません。

②表示位置

表示位置を選択します。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。

システム設定ページ

本機の基本的な動作に関する設定を変更できます。

設定メニュー

①自動キーロック

「ON」にするとパスワードを入力するまで、本機前面のボタン操作を無効にできます。本機前面からの操作をパスワードで保護するときは、「ON」にします。「ON」にすると、電源を入れ直したとき、またはロック解除後ボタン操作を5分以上行わなかったとき自動的に前面ボタンがロックされ、パスワードを入力するまで操作できません。

②ALL用パスワード

管理者用パスワードを0～9までの数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。

③OPERATION用パスワード

オペレーター用パスワードを0～9までの数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。

④キーロックブザー

パスワード保護中に本機前面のボタンを操作したとき、ブザーを鳴らす（ON)、鳴らさない（OFF）を選択します。

⑤アラーム履歴スキップページ数

本機モニターにアラーム履歴を表示しているとき、本機前面のジョグダイヤルを回して改ページするページ数を選択します。

⑥同時録再

録画をしながら再生したいとき「ON」にします。
→49ページ（「重要」を合わせてお読みください）

⑦改ざん検出

録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込むときは「ON」にします。ただし、「ON」にすると、ネットワーク配信速度が若干遅くなります。
→49ページ（「重要」を合わせてお読みください）

⑧ディスク終端動作

本機内蔵のハードディスクに録画された画像を常に上書きして使用するときは「CONTINUE」にします。上書きしないときは「STOP」にします。
→50ページ

⑨ディスク終端警告ブザー

本機内蔵のハードディスクの容量を使い切ったときに、ブザーを鳴らすときは「ON」にします。「ディスク終端動作」を「STOP」に設定した場合に有効です。

⑩優先再生

再生操作の優先順位を選択します。→51ページ

⑪自動時刻合わせ

本機で他の機器の時刻を補正する場合、「MASTER」を選択します。本機に接続されている親時計で時刻を補正するときは「SLAVE」を選択します。

補正動作をする時刻は「動作時刻」で選択します。

⑫カードコピーロック

外部メディアへ録画画像をコピーできないようにロックします。設定するときは「ON」にし、カードコピー用パスワードを設定します。

⑬カードコピー用パスワード

カードコピー用パスワードを0～9までの数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。

⑭設定

変更内容を本機に登録します。

アラーム設定ページ

アラーム発生時の動作を設定します。

①アラームブザー

アラーム発生時ブザーを鳴らすときは「ON」にします。「OFF」にするとブザーを鳴らしません。

②ビデオロス

カメラ故障またはケーブル断線などにより、カメラからの映像が途切れことを検出する（ON）または検出しない（OFF）を選択できます。ONにすると、映像が途切れたとき本機に接続されたモニターにメッセージ（VIDEO LOSS）を表示します。

③モニターモード（多画面）

アラーム発生時の多画面モニターの画像表示方法を選択します。「SPOT」にすると、アラーム発生地点の画像を1画面で表示します。「OFF」にすると、アラームが発生しても現在表示しているカメラの画像を表示し続けます。

④モニターモード（スポット）

アラーム発生時のスポットモニターの画像表示方法を選択します。

⑤設定

変更内容を本機に登録します。

⑥動き検出設定

動き検出設定ページを表示します。→次ページ

設定メニュー

動き検出設定ページ

本機の動き検出機能を使用するときに設定します。

①感度

動きを検出する感度を選択します。感度を選択すると、[詳細設定]ボタンが表示されます。

動き検出機能を使用しないときは「OFF」を選択します。

②エリア（[詳細設定]ボタン）

感度を選択すると、[詳細設定]ボタンが表示されます。[詳細設定]ボタンをクリックすると、動き検出エリア設定ページを表示します。エリアを設定してください。

③戻る

前のページに戻ります。

動き検出エリア設定ページ

動き検出エリアを設定します。

①設定領域

エリアは、エリアの始端から終端へ対角線上でドラッグすることで設定できます。4か所まで設定できます。エリアを設定後、[設定]ボタンをクリックしてください。
設定する際は、58ページの「重要」に記載されている内容も合わせてお読みください。

②削除

選択したエリアを削除します。削除するときは、削除したい領域をクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。その後、[設定]ボタンをクリックしてください。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。

重要

設定できない場合、以下のサイトからJavaソフトウェアをダウンロードしてください（2005年11月現在）。

http://java.com/ja/index.jsp

ネットワーク設定ページ

本機をLANなどのネットワークに接続するための環境を設定します。設定するときは、接続するネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）に設定内容を確認してください。

①通信速度

通信速度を選択します。通常は「AUTO」に設定してください。

②HTTPポート番号

本機に接続するためのHTTPポートの番号を入力します。ネットワーク管理者またはISPのから指定がない限り、80のままお使いください。

③DHCP設定

IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから取得する場合、「使用する」にします。これらのアドレスを直接入力するときは「使用しない」にします。

④IPアドレス

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、IPアドレスを入力します。本機は、0～255までの10進数を「.（ドット）」で4つに区切って入力します。

⑤ネットマスク

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを入力します。

⑥デフォルトゲートウェイ

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

⑦DNS設定

DNSを使用して、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにするときは、「手動」または「自動」を選択します。DHCPサーバーを使用しない場合（DHCP設定：使用しない）、「手動」を選択し、ドメイン名とDNSサーバーアドレスを入力してください。DHCPサーバーを使用する場合のみ（DHCP設定：使用する）、「自動」を選択できます（ドメイン名とDNSサーバーアドレスはDHCPサーバーから取得します）。

⑧ドメイン名

本機をネットワークに参加させる際に使用するドメイン名を入力します。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字（大文字、小文字区別なし）
・記号（ハイフン（-）、ピリオド（.））

⑨DNSサーバーアドレス

本機をネットワークに接続する際使用するDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

⑩DDNS設定

DDNS（Dynamic Domain Name Server）を使用するときは「ON」にします。この設定は、DNS設定を「手動」または「自動」に設定したとき「ON」にできます。

⑪DDNSホスト名

DDNSに登録したホスト名を入力します。当社が提供しているDDNSサービスをご使用になる場合、本機にアクセスする際のURLは、以下のようになります。
http：//（DDNSホスト名）.nmdns.net

DDNSホスト名の入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字（大文字、小文字区別なし）
・記号（ハイフン（-）、ピリオド（.））

⑫DDNSユーザー名

DDNSに登録されているユーザー名を入力します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき入力できます。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字（大文字、小文字区別なし）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+-¥）

⑬DDNSパスワード

DDNSユーザー名に入力したユーザー名のパスワードを入力します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき入力できます。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字（大文字、小文字区別なし）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+¥）

⑭DDNSアクセス間隔

DNSを更新する間隔を選択します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき選択できます。

⑮設定&再起動

①〜⑭いずれかの項目を変更したら、このボタンをクリックし、設定内容を本機に登録し再起動します。このボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑯FTPサーバー設定

FTPサーバー機能を使用する場合「使用する」にします。それ以外の場合は、「使用しない」にしてください。WV-AS20と接続して使用する場合は、「使用する」にしてください。「使用しない」にすると画像の取得ができません。

⑰SNMP設定

SNMP機能を使用する場合「使用する」にします。それ以外の場合は「使用しない」にしてください。

⑱SNMPコミュニティー

SNMP認証に使用する名前を英数字で入力します。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字32文字（大文字、小文字区別あり）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+-¥）

⑲SNMPコンタクト（SysContact）

本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+-¥）

⑳SNMPシステム名（SysName）

本機をSNMPシステムで管理するための名前を英数字で入力します（例：No1）。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+-¥）

㉑SNMPシステムロケーション（SysLocation）

本機の設置場所を英数字で入力します（例：2F）。入力規則は以下のとおりです。
・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり）
・記号（!#$%'（ ）=~|`{}<>?_^[]/@*,.：;+-¥）

㉒設定

⑯〜㉑のいずれかの項目を変更した場合、このボタンをクリックして、変更内容を本機に登録します。このボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、[設定&再起動]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

スイッチャー設定ページ

①初期画面（多画面）

本機に電源を入れたときに多画面モニターに表示するカメラを選択します。

②初期画面（スポット）

本機に電源を入れたときにスポットモニターに表示するカメラを選択します。

③多画面シーケンス（[詳細設定]）

[詳細設定]ボタンをクリックすると、多画面シーケンス設定ページを表示します。→次ページ

④シーケンスタイミング

画像を切り換えるタイミングを選択します。

内部タイマー：「多画面シーケンス設定ページ」で設定した間隔で画像を切り換えます。→次ページ

外部信号入力：外部機器からの信号で画像を切り換えます（切り換え信号を出力する機器が本機に接続されている場合のみ）。

⑤オートスキップ

カメラが接続されていないチャンネルを自動的にスキップする（ON）または黒画を表示する（OFF）を選択します。

⑥スポットシーケンス（[詳細設定]）

[詳細設定]ボタンをクリックすると、スポットシーケンス設定ページを表示します。→次ページ

⑦シーケンスタイミング

画像を切り換えるタイミングを選択します。

内部タイマー：「スポットシーケンス設定ページ」で設定した間隔で画像を切り換えます。→次ページ

外部信号入力：外部機器からの信号で画像を切り換えます（切り換え信号を出力する機器が本機に接続されている場合のみ）。

⑧カメラ表示設定（[詳細設定]）

カメラ表示設定ページを表示します。→153ページ

⑨シークレットビュー

シークレットビュー機能を使用する場合は「ON」を選択します。→67ページ

⑩設定

変更内容を本機に登録します。

- このページは、本機の前面ボタンによるシーケンスの順番を定義するもので、ウェブブラウザーのライブ画シーケンスボタンで画像を切り換える順番を定義するものではありません。ウェブブラウザーでのライブ画シーケンスで自動切り換えする順序は、ブラウザー表示設定ページで設定します。→160ページ
- 本機側でシーケンスを開始する。→79ページ

設定メニュー

多画面シーケンス設定ページ、スポットシーケンス設定ページ

多画面シーケンス設定ページでは、多画面モニターでシーケンスを行うときのカメラの切り換え順序を設定します。
スポットシーケンス設定ページでは、スポットモニターでシーケンスを行うときのカメラの切り換え順序を設定します。

①カメラ番号

該当ステップで表示するカメラ番号を選択します。
多画面シーケンス設定ページはカメラ番号の他に4画面表示（QUAD）を選択できます。
OFFを選択すると、そのSTEPは実行しません。

②時間

表示時間を2～30秒までの間で入力します。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。

カメラ表示設定ページ

このページで、「OFF」を選択したカメラの画像は本機に接続されたモニターに表示されません。

①表示

モニター（多画面およびスポット）に表示しないカメラを「OFF」にします。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

システム情報ページ

①システム情報表示

ハードディスクの累積稼働時間、総容量、設定されているネットワークアドレスを確認できます。
DUAL MODE運用時は「ハードディスク容量（DUAL）」を表示します。

②障害情報

障害情報ページを表示します。

③サーバー接続エラー情報

サーバー接続エラー情報ページを表示します。

障害情報ページ

このページで、本機使用中に発生した障害情報を確認できます。エラーログ1では100件、エラーログ2では500件まで確認できます。最大件数を超えた場合、古いログから順に上書きされます。

①戻る

前のページに戻ります。

サーバー接続エラー情報ページ

このページで、FTP、SMTP、DDNSの各サーバー接続で発生した障害の情報を100件まで確認できます。最大件数を超えた場合、古いログから順に上書きされます。

①戻る

前のページに戻ります。

ユーザー設定ページ

・セキュリティ確保のため、ユーザー認証を「使用する」に設定し、ユーザーを登録することを推奨します。
・お買い上げ時に登録されている「admin」のパスワードは変更してください。

ユーザー認証を「使用する」にすると、PCからアクセスするときユーザー認証画面が表示されます。登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。正しければトップページが表示されます。

①ユーザー認証

PCのウェブブラウザーで本機を操作するとき、ユーザー認証を行うとき、「使用する」にします。お買い上げ時、以下のユーザー名とパスワードが管理者として登録されています。

ユーザー名：admin
パスワード：admin

②設定

ユーザー認証の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③ユーザー名

認証に使用するユーザー名を16文字までの半角英数字で入力します。ユーザー名は16個登録できます。

④パスワード

パスワードを16文字までの半角英数字で入力します。再入力欄に同じ文字を入力します（誤入力防止のため）。

⑤アクセスレベル

アクセスレベルを選択します。

[1]管理者：HTML操作で、すべての操作を行うことができます。必ず1人は登録してください。

[2]ライブ画表示＆画像再生：HTML操作でカメラ選択したり、録画画像を再生することができます。

[3]ライブ画表示：HTML操作でカメラ選択のみ行うことができます。

⑥設定

「ユーザーの登録/更新（パスワード、アクセスレベル）」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の［設定］ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑦、⑧削除するユーザー/削除

登録ユーザーを削除します。削除するユーザー名を選択後、［削除］ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは［OK］ボタンをクリックします。削除を中止するときは［キャンセル］ボタンをクリックします。

ホスト設定ページ

ホスト認証を使用すると、登録されているIPアドレスのPCからのみネットワーク操作を許可することができます（簡易ファイヤーウォールとして使用できます）。ユーザー認証と組み合わせて使用すれば、ネットワークセキュリティを強化できます。

①ホスト認証

PCのウェブブラウザーで本機を操作するとき、PCのIPアドレスで認証するときは「使用する」にします。

②設定

ホスト認証の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③ホストアドレス

本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。IPアドレスは8つまで登録できます。IPアドレスを入力する場合、0～255までの10進数を「.（ドット)」で4つに区切って入力します。

④設定

ホストアドレスに入力したIPアドレスを本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、入力内容は本機に登録されません。

⑤削除するホストアドレス/削除

登録ホストを削除します。削除するホスト名を選択後、[削除］ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは[OK]ボタンをクリックします。削除を中止するときは[キャンセル]をクリックします。

FTPクライアント設定ページ

本機に接続されたカメラの画像を定期的に、指定したFTPサーバーに転送するよう設定できます。

①サーバーアドレス

画像送信先となるFTPサーバーのIPアドレスまたはFTPサーバー名を入力します。FTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときのみ使用できます。

②ログインユーザー名

FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。

③ログインパスワード

FTPサーバーにアクセスするためのパスワードを選択します。

④モード

FTPサーバーに画像を送信するときのモードを選択します。「シーケンシャル」で送信できないときは「パッシブ」に変更してください。

⑤設定

FTPクライアント基本設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑥FTP送信

録画画像を定期的に送信するとき、「使用する」を選択します。

⑦サーバーディレクトリー

送信先のディレクトリーを入力します。大文字・小文字を間違えずに入力してください。

⑧ファイル名

画像送信時のファイル名の規則を選択します。

注 「番号を名前にする」を選択した場合、送信枚数が設定された最大値をこえると、ファイル名が再度1から割り付けられます。このとき古い画像は上書きされてしまいます。

⑨送信間隔

定期送信する間隔を入力します。単位は「秒」または「分」を選択できます。

⑩カメラ番号

定期的に送信するカメラの画像を選択します。ONを選択したカメラの画像が設定した送信間隔でFTPサーバーへ 送信されます。

⑪設定

「定期画像送信の設定」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

メール設定ページ

メール通知を使用すると、アラームや障害発生時にメールを送信してお知らせすることができます。送信先のメールアドレスなどを設定します。メールの送信先は、4アドレス登録できます。

メール設定

アラーム･障害メール送信設定

① メール通知	使用しない 使用する
② 画像添付	しない する
③ SMTPサーバーアドレス	
④ 送信元メールアドレス	
⑤ POP3認証	使用しない 使用する
⑥ POP3サーバーアドレス	
⑦ ユーザー名	
⑧ パスワード	

⑨ 設定

通知先メールアドレスの登録

⑩ メールアドレス

⑩ 設定

通知先メールアドレスの削除

⑪ 削除するメールアドレス

⑪ 削除

①メール通知

メールでアラームや障害の発生を通知するとき「使用する」にします。

②画像添付

アラームや障害発生時の画像をメールに添付するとき「する」にします。

③SMTPサーバーアドレス

メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときのみ使用できます。

④送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom（差出人）欄に表示されます。

⑤POP3認証

POP before SMTPで認証を行うとき「使用する」にします。

⑥POP3サーバーアドレス

POP3認証で「使用する」を選択した場合、POP3サーバーのIPアドレスまたはPOP3サーバー名を入力します。POP3サーバー名は、DNS設定を「手動」または、「自動」にしたときのみ使用できます。

⑦ユーザー名

送信元のアカウントのユーザー名を入力します。

⑧パスワード

送信元のアカウントのパスワードを入力します。

⑨設定

「アラームや障害による送信の設定」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑩メールアドレス/[設定]

メールアドレス欄に、送信先のメールアドレスを入力します。入力後、⑩[設定]ボタンをクリックします。

複数メールアドレスをまとめて登録することはできません。1メールアドレスごとに⑩[設定]ボタンをクリックしてください。⑩[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑪削除するメールアドレス/[削除]

通知先メールアドレスを削除します。「削除するメールアドレス」から削除したいメールアドレスを選択後、[削除]ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは[OK]ボタンをクリックします。削除を中止するときは[キャンセル]をクリックします。

ブラウザー表示設定ページ

本機からPCのウェブブラウザーに画像を配信するときの画像更新速度と、ウェブブラウザーでカメラを自動的に切り換えて表示するとき（ライブシーケンス）の切り換え順序、切り換え時間を設定します。

①画像更新速度

画像更新速度を選択します。

通信回線の状況によっては、配信画像が途中までしか表示されないことがあります。このような現象が発生するときは、現在設定されている更新速度より、遅い画像更新速度に変更してください。

②設定

画像更新速度設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③シーケンスの使用

ウェブブラウザー上でライブシーケンスを使用するとき、「ON」にします。

④オートスキップ

カメラが接続されていないチャンネルをスキップするとき、「ON」にします。

⑤カメラ番号

表示する順番にカメラ番号を選択します。
OFFを選択したSTEPは実行しません。

⑥時間

表示時間を選択します。「画像更新速度」に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間は「SLOW」または「VERY SLOW」を選択してください。

「画像更新速度」に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間に「FAST」または「MIDDLE」を選択すると、画像が完全に表示される前に次の画像が表示されることがあります。

⑦設定

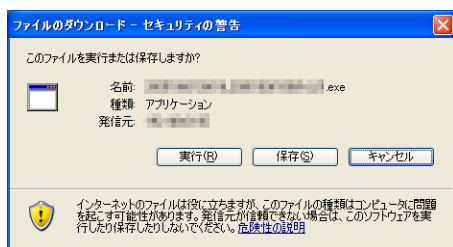
ライブシーケンス設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

録画画像のダウンロード

録画画像をダウンロードするときは、以下の手順で操作してください。

1. 再生ボタンをクリックし、ダウンロードする先頭の画像を表示する。
2. 再生画像を確認しながら、[始点]ボタン、[終点]ボタンをクリックしてダウンロードする時間を入力する。

   始点または終点の日時は、キーボードから入力することもできます。なお、一度にダウンロードできる録画時間は、最大30分です。
3. ダウンロードボタンをクリックする。

   以下の画面が表示されます。

4. [保存]ボタンをクリックする。

   任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、保存してください（自己解凍形式の実行ファイルがダウンロードされます）。ダウンロード中はBUSYが表示されます。停止ボタンをクリックすると、カメラ画像を表示できます。

   ダウンロードを中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。その後、停止ボタンをクリックして、カメラ画像を表示してください。

キャンセルすると、約2分間、ダウンロードを再開することはできないことがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	−
画面に、HDD ERRORが表示される	●使用可能なハードディスクが1台もありません。 販売店にご相談ください。	−
エラーLEDが赤色点灯する		
画面に、CAMn LOSS（nはカメラ番号）が表示される	●カメラは正しく接続されていますか？ 接続がゆるんでいないか、確認してください。 接続に問題がないときは、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので販売店にご相談ください。	114
画面に、THERMAL ERROR nn.n℃が表示される（nn.nは温度）	●周囲温度は+5 ℃〜+45 ℃の範囲内ですか？。 範囲内でも、本機の内部温度が上昇するとTHERMAL ERRORが表示されることがあります。 THERMAL ERRORが頻発するときは、本機の故障が考えられますので販売店にご相談ください。	−
管理者用パスワードを忘れた	●本機をお買い上げ時の状態に戻してください。	124
電源を入れるとDISK MENU画面が表示される	●ハードディスクの故障またはハードディスクの状態が変更されています。 DISK MENU画面でハードディスクの状態を確認し、必要な操作を行ってください。 ハードディスクが故障しているときは販売店にご相談ください。	102〜108
カメラ画像が表示されない	●カメラのレンズキャップは外しましたか？ ●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ ●モニターの輝度およびコントラストは正しく調節されていますか？	接続機器の取扱説明書
	●特定のカメラの画像を表示しないように設定していませんか?	67

つづく

続き

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
録画画像に真っ黒な画像がある	●アラーム録画時、本機は録画画像の前また後ろに黒画像を挿入します。本機の仕様によるもので、故障ではありません。	–
マトリクススイッチャーやシステム機器の設定画面が録画できない	●ノンインターレース信号で表示される設定画面は録画できません（マトリクススイッチャーの設定画面はノンインターレース信号です）。	–
アラーム履歴画面から検索して再生すると、再びアラーム履歴画面に戻ってくる	●時刻補正や時刻の変更を行った際に、アラームデータの時刻順序が前後した場合は、一度で検索を行えない場合があります。 再度、再生ボタンを押すことで見たい画像を再生できます。 ●選択したアラーム画像が上書きなどで消去された場合は再生できません。	–
再生速度が遅い 一定時間に画像が更新されない 音が途切れる	●録画画像の状態や録音の有無によっては、画像の更新が遅くなることがあります。また、録画レートによっては、一定間隔で画像を更新できないことがあります。 ●ネットワークアクセス中、音が途切れることがあります。また、一定間隔で画像を更新できないときも音が途切れることがあります。 上記は、本機の仕様によるもので故障ではありません。更新間隔は、低画質で録画することによって改善することがあります。	–
日時検索結果から再生すると表示されない画像がある	●本機の仕様であり、故障ではありません。検索時間を数秒前に設定してください。または、録画レートを大きくすると改善することがあります。	–
クイックコピーを実行したら、時計が数秒間止まった	●本機の仕様であり、故障ではありません。内部の時計は正しく進んでいますので、録画には影響ありません。	93
コピーした画像を表示したら、縦が1/2につぶれた画像が表示された	●解像度を「NORMAL」で録画したときの本機の仕様であり、故障ではありません。 同時にコピーされた画像表示用HTMLファイル（index.html）を使用するか、縦を2倍に拡大することで正しく表示されます。	96

故障かな!?

続き

症　　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ダウンロードした画像を表示したら、縦が1/2につぶれた画像が表示された	●コピーのときと同様、本機の仕様です。故障ではありません。 同時にダウンロードされた画像表示用HTMLファイル（index.html）を使用するか、縦を2倍に拡大することで正しく表示されます。	168

HTML操作・ダウンロード画像

症　　状	原　因　・　対　策	参照ページ
BUSYが表示されて操作できない	●本機で再生を行っていませんか? ●外部メディアにコピー中ではありませんか？ ●他のユーザーがHTMLで再生を行っていませんか? ●本機でFTP/HTTPで画像をダウンロードしていませんか? 停止キーを押してライブ画に戻ると左記の症状を解消できます。	−
画像更新速度が遅い、レスポンスが遅い	●ネットワークが混雑している場合や複数の人（最大4人）が同時にアクセスしていると、左記の症状が発生します。ネットワーク環境を改善するか、同時にアクセスする人数を減らすことで改善できます。	−
保存した画像が縦に縮んで表示される	●ダウンロードした再生画像やFTPで送信したJPEG画像を表示すると縦1/2サイズで表示されることがあります。録画時、フィールド単位で録画しているためで故障ではありません。	−
配信された画像にノイズが入る	●配信画像によっては、カメラ画像または再生画像の右下が欠けることがあります。	−
FTPの定期送信で、画像のファイル名（番号）に抜けがある	●送信先サーバーが停止していませんでしたか?	−

その他

症　状	原　因　・　対　策	
アラーム履歴からアラームサーチができない	●再生したい日時より前の時刻で検索後、再生してください。 ●DISK END MODE（ディスク終端動作）がCONTINUEに設定されていませんか? CONTINUEに設定されている場合、上書きされた画像は検索できません。 ●アラームサーチボタンを操作して検索できるのは、アラーム履歴に記録されている画像のみです（最大9 999件、9 999件を超えた場合、古い履歴から順に上書きされます）。	
アラームメールに画像が添付されていない	●本機での録画とメール送信のタイミングにより、アラームメールに画像が添付されない場合があります。故障ではありません。	−

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症　状	原　因　・　対　策
電源コードの被ふくが傷んでいる	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

故障かな!?

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

症　状	対応方法
下記メッセージのポップアップウィンドウが表示される（設定により表示されない場合もあります)。 「情報バーにお気づきですか？　ポップアップウィンドウや安全でない可能性のあるファイルのダウンロードがInternet Explorerでブロックされると、情報バーで警告します。Webページが正しく表示されない場合、ブラウザ上の部分に表示される情報バーをご覧ください。」	● [OK] ボタンをクリックしてください。
下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorerで制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください…」	● 情報バーをクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可(A)...」を選択してください。
ダウンロードしたファイルを実行しようとすると、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「スクリプトやActive Xコントロールなどのアクティブコンテンツは役に立ちますが、コンピュータに問題を起こすものもあります。このファイルでアクティブコンテンツを実行しますか？」	● [はい] ボタンをクリックしてください。

ダウンロード画像について

ウェブブラウザーから本機にアクセスし、再生画像をダウンロードすると、画像データとビューワー（HTML）が1つの実行ファイル（拡張子exe）としてダウンロードされます。画像を確認するときは、以下の手順で操作してください。

1. ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする。
   実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルクリックすると、同じフォルダーに実行ファイルと同じ名前のフォルダーが作成されます。そのフォルダー内に画像ファイル（拡張子jpg）と画像表示用HTMLファイル（index.html）が作成されます。

   解凍された画像ファイルは、画像表示用HTML（index.html）で確認してください。

2. index.htmlをウェブブラウザーで表示する。
   以下の画面が表示されます。

＜左側＞

スキップ　：サムネイル画像の改ページ数を選択します。
先頭へ　：先頭ページに戻ります。
前へ　：前のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
次へ　：次のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
最後へ　：最終ページを表示します。

＜右側＞

No.　：表示している画像のフレームの番号です。
日時　：画像の録画時刻を表示します。
速度　：再生速度（-6～6）を表示します。
先頭へ　：一番古い画像を表示し、停止します。
高速逆再生　：クリックするたびに再生速度を変えて逆再生ができます。
逆再生　：逆再生を開始します。
再生　：再生を開始します。
高速再生　：クリックするたびに再生速度を変えて再生ができます。
終端へ　：最終（最新）画像を表示し、停止します。
逆コマ送り　：１フレーム戻り、停止します。
停止　：停止します。
コマ送り　：１フレーム進み、停止します。

メール通知の内容

アラームメール通知の内容

メール設定ページでメール通知を行うように設定した場合、指定したアドレスに以下のメールが送信されます。
画像添付ありの場合は、画像表示用HTMLファイルと画像ファイル（拡張子jpg）が添付されます。

```
WJ-HD150（送信元IPアドレス） STATUS REPORT
    DATE              ： 年.月.日 時：分：秒
    PORT              ： CAMn（nはカメラ番号）
    URL               ： http：//送信元IPアドレス：ポート番号
                        （DDNS使用時はURL）
```

ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

障害メール通知の内容

メール設定ページでメール通知を行うように設定した場合、指定したアドレスに以下のメールが送信されます。

```
WJ-HD150（送信元IPアドレス） STATUS REPORT
    DATE              ： 年.月.日 時：分：秒
    STATUS            ： 要因（下記参照）
    URL               ： http：//送信元IPアドレス：ポート番号
                        （DDNS使用時はURL）
```

ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

要因	意味
THERMAL ERROR	温度異常
DISK WARNING OF ディスク種別	S.M.A.R.T.によるハードディスク異常検出。 ディスク種別 HDD1：HDD1に異常があります。 HDD2：HDD2に異常があります。
HDD CAPACITY REMAINS **%	残量警告（**%：ハードディスクの空き容量)。HDD FULL（→43ページ）で設定した値以下になるとメールを送信します。以後、ディスクエンドを解除するまで1 %減るごとにメールが送信されます（解除のしかたは→100ページ)。1 %未満のときは1 %としてメールが送信されます。
HDD IS FULL	ハードディスクの残容量が無いため、録画できません。ディスクエンドを解除してください（→100ページ)。
NO VMD TRIGGERED RECORD DUE TO FULL DISK	VMDによるアラームを検出したが、ディスクエンドのため、録画できませんでした。
NO TERMINAL TRIGGERD RECORD DUE TO FULL DISK	端子アラームを検出したが、ディスクエンドのため録画できませんでした。

つづく

メール通知の内容

続き

要因	意味
ディスク種別 IS LOGICALLY REMOVED	ディスク種別に示すハードディスクの異常を検出したため、ディスク種別に示すハードディスクを論理的に切り離しました。 ディスク種別 HDD1：HDD1に異常があります。 HDD2：HDD2に異常があります。
VIDEO LOSS CAMn	CAMn（nはカメラ番号）に接続されているカメラからの映像が途切れました。カメラの故障たまはケーブルの断線が発生していないか確認してください。
FAN STOPPED	ファンに異常が発生しました（このまま使用を続けると、本機の内部温度が上昇し、THERMAL ERRORの原因になります）。
UNDEFINED ERROR	未知のエラーが発生しました（動き自動検知機能が動作したが、何らかの原因で録画できなかった、停電などにより本機の電源が切断されたなど）。

TRIGGER ACTION SETUP画面（トリガー動作設定ページ）で、REC&ALMに設定されているカメラに対してアラームが発生したときのみ、メールを送信します。

サーバー接続エラー情報の内容

SMTPに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	・ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定かMailサーバーアドレスが間違っている可能性があります。設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	MAIL FROMコマンドエラー	・送信者メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	RCPT TOコマンドエラー	・送信先メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	・メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関する障害情報

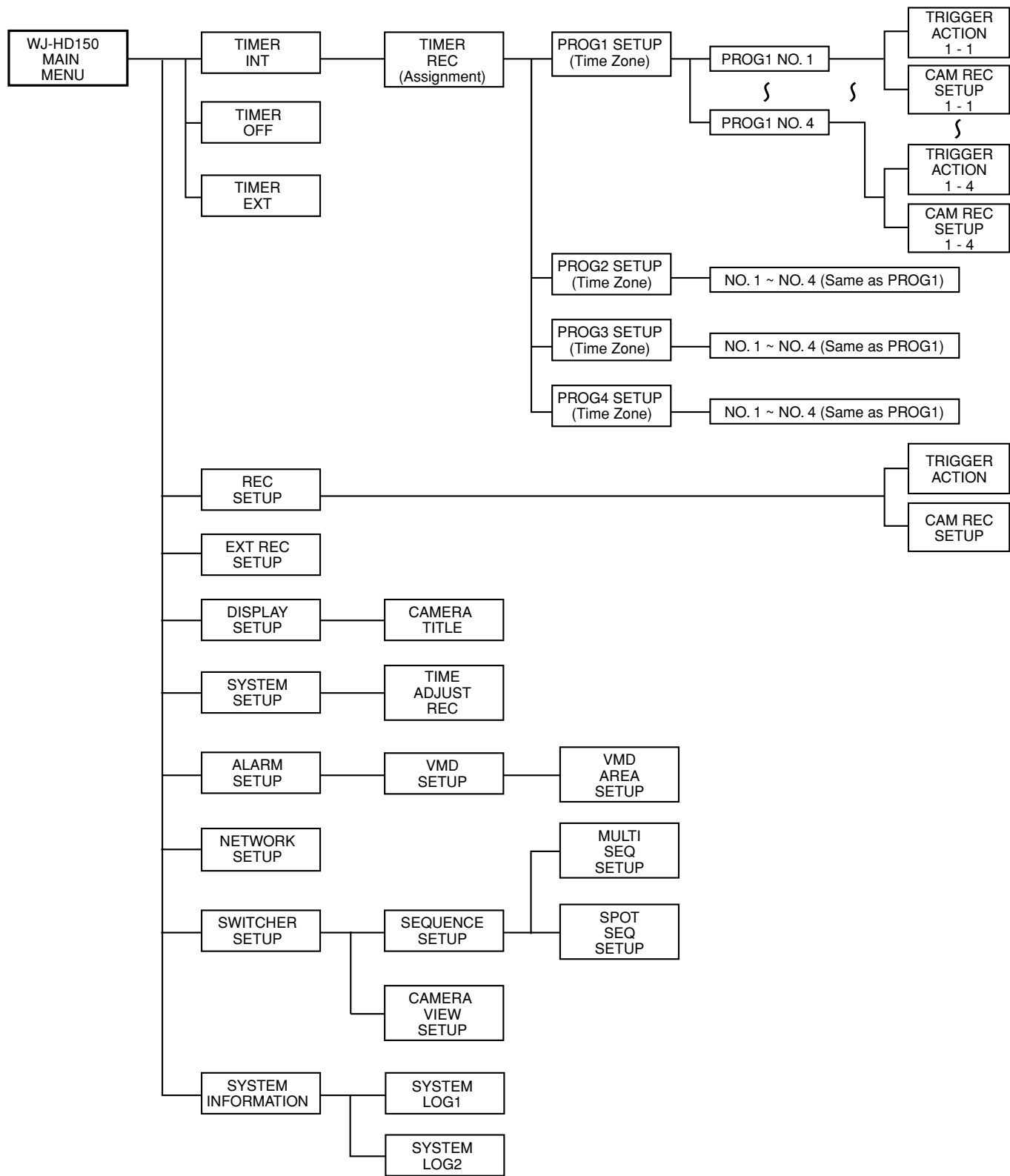
分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定かFTPサーバーのアドレスが間違っている可能性があります。設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	FTPサーバー見つからず	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。FTPサーバーアドレスの設定を再確認してください。 ・FTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	転送エラー	・ファイル転送が失敗した可能性があります。ネットワーク接続状況を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	・FTP転送でエラーが発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ログアウト失敗	・サーバーとの接続でエラーが発生しています。ネットワーク管理者にご相談ください。
	ディレクトリー変更に失敗	・ファイルのディレクトリー設定が間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ユーザー名パスワードエラー	・ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
内部エラー	その他のコマンドエラー	・サーバーとの接続でコマンドエラーが発生しています。ネットワーク管理者にご相談ください。
	その他のエラー	・FTP機能で問題が発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。

サーバー接続エラー情報の内容

DDNSに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
DNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	DDNSサーバー応答なし	・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にご相談ください。
	ユーザー名パスワードエラー	・ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	・DDNS設定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	・DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

設定画面構成

設定画面は以下の構成になっています。

索引

1画面で表示する …………………… 76
4画 ………………………………… 77

<A>

ALARM BUZZ…………………… 55
ALARM RECALL ……………… 73
ALARM SETUP ………………… 55
ALTER DETECT ………………… 49
AUTO SKIP ……………………… 65

<C>

CAM REC SETUP ………………35
CAMERA TITLE …………………44
CAMERA VIEW SETUP ………67
CARD COPY LOCK ……………53
CURRENT TEMP. ………………98

<D>

DEFAULT …………………………98
DHCP ………………………………61
DISK END BUZZ ……………… 50
DISK END MODE ………………50
DISK MENU画面 ………………102
DISK MODE ……………………104
DISPLAY SETUP ………………40
DYNAMIC REC …………………33
DUAL MODE ……………………104

<F>

FORMAT …………………………106
FTP GET ………………………… 51
FTPクライアント設定ページ …158

<H>

HD1/HD2………………………… 98
HDD CAPACITY………………… 98
HDD FULL ……………………… 43
HDD HOUR METER …………… 98
HDD SAFETY MODE …………54
HDDランプ ………………………100
HDDランプの橙色点滅条件 …… 43
HTMLコンテンツの初期化 ……123
HTML操作編 ……………………125
HTTP PORT……………………… 60
HTTPポート番号 …………………60

<I>

IP(Internet Protocol)アドレス 59
IPアドレス …………………… 61, 62

<K・L>

KEYLOCK BUZZ ………………48
LOCAL …………………………… 51

<M・N>

MONITOR MODE ……………… 56
NET PLAY ……………………… 51
NETWORK SETUP ……………59
NONE ………………………………51

<P>

PASSWORD LOCK ……………46
PCの環境 …………………………127
PLAY PRIORITY …………………51
POST ALM REC …………………33
PRE ALM REC ……………………32
PROG ………………………………37

<R>

REC QUALITY ……………………30
REC RATE …………………………30
REMOVE LINK …………………105
RESOLUTION ……………………54
RESTART …………………………108

<S>

S.M.A.R.T ………………………… 43
SECRET VIEW ……………………67
SEQUENCE SETUP ……………64
SERIAL NUMBER ………………98
SIMUL REC&PLAY ……………49
SKIP ALM-RECALL ……………48
SINGLE MODE …………………104
SPOT SEQ SETUP ………………65
STATUS DISP. ……………………42
STATUS POSI. ……………………42
SWITCHER SETUP ………………63
SYSTEM SETUP …………………46
SYSTEM VERSION ………………98
SYSTEMLOG1、SYSTEMLOG2 …97

<T>

TIME ADJUST SETUP …………52
TIME&DATE DISP. ………………40
TIME&DATE EMB. ………………41
TIME&DATE POSI. ………………41
TIMER REC …………………………36
TML …………………………………98
TRIGGER ACTION SETUP ……34

<V>

VIDEO LOSS ………………………56
VMD SETUP ………………………57
VTRにコピーする …………………95

<あ>

アラーム/リモート端子 …………118
アラーム画像検索 …………………72
アラーム出力 ………………………118
アラーム設定ページ ……………147
アラーム動作の解除 ………………86
アラーム動作を抑止する …………86
アラーム入力 ………………………118
アラームの種類 ……………………84
アラーム発生時の画像 ……………56
アラーム発生時の動作（設定） …55
アラーム発生時の動作 ……………84
アラーム発生時のブザー音 ………55
アラームブザー ……………………85
アラームメール通知 ……………169
アラームランプ ……………………84
アラームリスト …………………134
アラーム履歴 ………………………73
アラーム録画 ……………………17, 85
アラーム録画時の録画モード ……31
安全上のご注意 ……………………13
動き検出エリア設定ページ ……148
動き検出設定ページ ……………148
動き自動検出機能 …………………57
上書き機能 …………………………50
エラーランプ ………………………101
遠隔操作 ……………………………117
お買い上げ時の状態に戻す ……124

<か>

カードコピーロック ………………53
改ざんチェック機能 ………………49
外部スイッチ ………………………121
外部メディアにコピーする ………87
外部録画時の録画モード …………39
外部録画設定ページ ……………143
外部録画入力 ………………………118
改ページ数の選択 …………………48
書き込みエラー ……………………18
拡大する ……………………………77
画像自動切り換え …………………64
カメラタイトル設定ページ ……145
カメラタイトルの表示 ……………44
カメラに名前を付ける ……………44
カメラの画像を表示しない ………67
カメラ表示設定ページ …………153
画面詳細 ……………………………133
画面操作 ……………………………76
画面操作の設定 ……………………63
画面表示 ……………………………22
画面表示ボタン ……………………81
機器異常検知出力 ……………… 118
機能概要（HTML操作）………… 126
基本操作パネル …………………133
切り離す ……………………………105
クイックコピー …………………… 92
ゲートウェイ ……………………… 59
ケーブル断線検出機能 ……………56
検索再生 ……………………………72
後面パネル部 ………………………114

故障かな!? ……………………………162
個人情報の保護について ……………4
コマ送り ………………………………75

<さ>

サーバー接続エラー情報の内容　171, 172
サーバー接続エラー情報ページ　155
再起動 ………………………………108
再生する ………………………………71
再生中出力 …………………………118
再生優先順位 …………………………51
サブネットマスク ……………………59
シークレットビュー …………………151
シーケンス ……………………………79
シーケンス出力 ……………………118
シーケンス入力 ……………………118
時間指定コピー ………………………88
自己管理報告機能 ……………………43
時刻補正 ………………………………52
システム情報の確認 …………………97
システム情報ページ ………………153
システム設定ページ ………………145
システムの動作 ………………………46
システムバージョン …………………98
システムログの表示 …………………97
自動時刻補正 ………………………120
自動的にコピーする …………………92
仕様 …………………………………176
障害情報ページ ……………………154
障害メール通知 ……………………169
状態表示 ……………………42, 136
状態表示位置 …………………………42
商品概要 …………………………………2
初期化 ………98, 101, 106, 123
初期画面 ……………………………… 63
シリアル番号 ……………………… 98
スイッチャー設定ページ …………151
ズーム …………………………………77
スポットシーケンス設定ページ　152
スポットモニター ……………………22
スポットモニターのシーケンス … 80
接続のしかた ………………………116
接続例 ………………………………116
設置工事について …………………111
設置上のお願い ……………………109
設定画面（表示のしかた） …………25
設定画面構成 ………………………173
設定画面の基本操作 …………………25
設定メニュー ………………………137
前面パネル部 …………………………20
操作画面 ……………………………132

<た>

タイマー録画 …………………………18
ダウンロード ………………………161
多画面シーケンス設定ページ …152
多画面選択ボタン ……………………77
多画面で表示する ……………………77
多画面モニター ………………………22
多画面モニターのシーケンス ……79
通常再生 ………………………………71
通信速度 ………………………………59
定格（アラーム／リモート端子）118
ディスクエンド ……………………100
ディスクエンド出力 ………………118
ディスクモードについて ……………17
電源を入れる …………………………24
電源を切る ……………………………99
同時録再機能 …………………………49
時計の表示形式 ………………………40
時計表示位置 …………………………41
時計を合わせる ………………………27
取り扱い上のお願い …………………16
トリガー動作設定ページ　141, 143

<な>

内部温度 ………………………………98
内部タイマー設定ページ …………138
日時で検索 ……………………………72
ネットワーク（接続例） …………117
ネットワーク環境の設定 …………128
ネットワークセキュリティ …… 130
ネットワーク設定ページ …………149
ネットワークの設定 …………………59

<は>

ハードディスク故障時の対処方法　103
ハードディスク終了時のブザー音　50
ハードディスク状態チェック ……43
ハードディスクセーフティモード　111
ハードディスク総容量 ………………98
ハードディスクの状態 ……………103
ハードディスクの運用を切り換える　104
ハードディスクの初期化 …………101
ハードディスクのメンテナンス　100
ハードディスク録画 …………………19
早送り …………………………………75
早戻し …………………………………75
表示設定ページ ……………………144
不正コピーを防止する ………………92
不正操作を防止する …………………82
付属品 ……………………………………3
ブラウザー表示設定ページ ……160
プログラム設定ページ ……………140
プログラムを作成する ………………37
保証とアフターサービス …………177
ホスト設定ページ …………………157
ホスト名 ……………………………150
ボタン操作時のブザー音 ……………48

<ま>

枚数指定コピー ………………………90
マニュアル録画 ………………………17
メール設定ページ …………………159
メール通知の内容 …………………170
免責 ………………………………………4
メンテナンス ………………………100
モードスイッチ ……………………123
モニター表示情報 ……………………40

<や>

ユーザー設定ページ ………………156
用語・記号 ………………………………5

<ら>

ラック ………………………………122
ランプに関する設定 …………………40
累積稼働時間 …………………………98
レコーダー操作ボタン ……………135
連続録画 ………………………………17
録画画像をコピーする ………………87
録画カメラ設定ページ ……………141
録画する ………………………………70
録画するカメラを選択する …………35
録画設定ページ ……………………142
録画中出力 …………………………118
録画の仕組み …………………………17
録画の種類 ………………………… 17
録画方法を選択する …………………28
録画モード ……………………………17
ロックする ……………………………82
ロックを解除する ……………………82

その他

仕様

・基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	約32 W
使用温度範囲	+5 ℃ ～ +45 ℃
使用湿度範囲	5 %～90 %（結露なきこと）
寸法	幅 420 mm　高さ 88 mm　奥行き 350 mm （ゴム足除く）
質量	WJ-HD150/1：7.5 kg WJ-HD150/2：8.5 kg
仕上げ	前面パネル：樹脂部（ソリッドメタリック塗装、エフェクトブルーメタリック塗装） 　　　　　　金属部（ソリッドシルバー塗装） 後面パネル：メッキ処理鋼板 上カバー　：ソリッドメタリック表面印刷鋼板

・入力

映像入力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、自動終端、BNC、4入力
音声入力	−10 dBV 10 kΩ、不平衡、RCAピン、1入力
アラーム入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、D-Sub 25ピン、4入力
アラーム復帰入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、D-Sub 25ピン、1入力
外部録画入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、D-Sub 25ピン、1入力
時刻合わせ入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、D-Sub 25ピン、1入力
シーケンス入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、D-Sub 25ピン、1入力

・出力

映像出力	映像入力のループスルー、BNC、4出力
多画面出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、BNC、1出力
スポット出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、BNC、1出力
音声出力	−10 dBV 600 Ω、不平衡、RCAピン、1出力
前面ビデオ出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、RCAピン、1出力
前面音声出力	−10 dBV 600 Ω、不平衡、RCAピン、1出力
アラーム復帰出力1	DC 5 V　220 Ω、正極性※1、D-Sub 25ピン、1出力
アラーム復帰出力2	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）※2、D-Sub 25ピン、1出力
アラーム出力−1	DC 12 V 4.7 kΩ、正極性、D-Sub 25ピン、1出力
アラーム出力−2	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
ディスクエンド出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
時刻合わせ出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
機器異常検知出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
録画中出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
再生中出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力
シーケンス出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA（max.）、D-Sub 25ピン、1出力

※1：通常5 V、アラーム動作時0 V、アラーム復帰後5 V

※2：通常クローズ、アラーム動作時オープン、アラーム復帰後クローズ

・ネットワークインターフェース

ネットワーク	10BASE-T/100BASE-TX、RJ-45
サポートプロトコル	TCP/IP、HTTP、SMTP、FTP、DHCP、SNMP、DNS/DDNS
セキュリティ保護	ユーザー認証、ホスト認証

・機能

画像圧縮方式	JPEG
最大リフレッシュレート	30枚/s
画素数	720×240ピクセル（有効画素数672 × 224 ピクセル）
同時録再	録画中、ローカル再生およびネットワーク再生可能※3

※3：同時録再を行う場合、録画レートは最大15枚/sとなります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

162ページ～166ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	デジタルディスクレコーダー
品　番	WJ-HD150
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音※が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

※：音声対応していないモデルもあります。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り、**必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

その他

本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	WJ-HD150シリーズ
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

3TR004003JDA
Nd0811-1033
Printed in China